

文部科学省

多様性への対応に関する調査研究事業

# 令和2年度研究成果報告

## 徳島県教育委員会

研究拠点校	徳島県立徳島中央高等学校
協力校	徳島県立徳島科学技術高等学校
協力校	徳島県立富岡東高等学校
協力校	徳島県立鳴門高等学校
協力校	徳島県立名西高等学校
協力校	徳島県立池田高等学校

# 研究成果報告書目次

## 【1】 事業計画

- 1) 研究指定期間3年間の調査研究のねらい ..... 1
- 2) 研究指定期間3年間の調査研究の概要 ..... 1
- 3) 研究指定期間3年間の調査研究の目標 ..... 2
- 4) 調査研究の具体的内容等 ..... 2
- 5) 調査研究の効果測定について ..... 4

## 【2】 令和2年度各学校における調査研究の概要

- 1) 就労指導 ..... 5
- 2) ソーシャルスキル向上指導 ..... 40
- 3) 学力向上指導 ..... 85
- 4) 特別な支援を必要とする生徒への指導 ..... 94

## 【3】 令和2年度までの成果と課題 ..... 97

## **【1】事業計画**

### **1) 研究指定期間3年間の調査研究のねらい**

平成27年度から平成29年度まで指定を受けた「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」において、支援・相談体制の構築、特別な支援において相談支援員・関係機関と連携した就労移行支援、それに伴う生徒の学習意欲向上・自己有用感の上昇を調査研究課題として取組を行い、一定の成果を得ることができた。しかしながら、本県独自調査「生徒の意識等に関わる調査」によれば、全日制課程と定時制課程の生徒数の割合(%)を比較すると、「自分にはよいところがある」という問いでは、16ポイント程度低く、「将来の夢や目標を持っている」という問いでは、10ポイント程度低い。全日制課程生徒と比較すると、まだ開きがあることから、「自分にはよいところがある」等の自己肯定・有用感を持つことは、「将来の夢や目標」へと繋がり、社会性の育成の第一歩となり得る。そこで、前事業の多様な生徒に対応できる支援・相談体制を充実させ、その上で生徒の学習ニーズに応じた学力やソーシャルスキル向上の指導方法等を確立し、生徒の自己肯定・有用感を上昇させることで、目標を持ち自ら将来を切り拓いていこうとする力を持った生徒の育成につなげたい。また、前事業において多くの指導方法が実施されたが、それらの汎用化の可能性についての検証は、まだ不十分である。その検証を引き続き行い、汎用化可能な教科・取組の評価については、パフォーマンス評価、ルーブリック評価等を研究し評価規準を作成することで、指導方法を確立し、定時制・通信制課程を有する他の全ての高等学校で活用可能にする。また、事業の成果を定時制・通信制課程の高等学校だけでなく、全日制課程の高等学校や特別支援学校へと、拡大普及に取り組む。

### **2) 研究指定期間3年間の調査研究の概要**

徳島県内の定時制・通信制課程で学ぶ全ての生徒を対象とする。徳島中央高等学校を研究拠点校、県内の定時制・通信制課程を有する他の全ての高等学校を研究協力校に指定し、前事業の多様な生徒に対応できる支援・相談体制を活用し、取組内容を充実・深化させ、指導方法を確立する。前事業での取組成果を生かし、有効性・有用性の整理、客観的な検証を更に進め、定時制・通信制課程生徒の抱える共通の課題及び対応策として汎用化の可能性について検討し、汎用化可能な教科等の評価についてはパフォーマンス評価、ルーブリック評価、ポートフォリオ評価等の研究・検証を行い、これまで成果のあった取組、教科の指導方法を確立する。また、各学校での支援・相談体制の充実・深化策の検証を行う。

### 3) 研究指定期間3年間の調査研究の目標

調査研究の有効性有用性を整理，客観的に検証し，定時制通信制課程生徒の抱える共通の課題及び対応策として汎用化の可能性について検討する。数値化して評価することが適切でないソーシャルスキルトレーニング等ではパフォーマンス評価，ルーブリック評価等の手法を用いながら，各学校での支援・相談体制の充実・深化策の検証を行う。

目標を次のとおり設定する。

- (1) 就労・ソーシャルスキル向上・学力向上について指導方法の確立  
(各指導を受けた生徒対象)  
アンケート「役に立った」割合(研究当初から5ポイント上昇)
- (2) 本県独自調査「生徒の意識等に関わる調査」  
「自分にはよいところがある」 割合65%(H30は55%)  
「将来の夢や目標を持っている」割合65%(H30は60%)

### 4) 調査研究の具体的内容等

前事業「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」での取組成果を生かし，本事業では，次の3項目を実施する。

- (1) 就労・ソーシャルスキル向上・学力向上等の指導方法の確立  
それぞれの学校の特性を生かし，それぞれの生徒の状況に応じた就労，ソーシャルスキル向上，学力向上の指導方法，また，その評価について整理・検証する。
  - a 徳島中央高等学校定時制課程夜間部では，学校設定教科「職業」を開設し，生徒全員に対して就業体験を課し，インターンシップや就労を実務代替・学校外の学修の単位として認定する制度を導入しており，その評価に際して，更にパフォーマンス評価，ルーブリック評価，ポートフォリオ評価等の研究・検証を行う。
  - b 徳島中央高等学校定時制課程昼間部では，総合的な学習の時間，国語科等において「とくしま中央一座」，「絵本の読み聞かせ」等の活動により，自己の役割の理解や前向きに考える力といった自己理解・自己管理能力育成を図る。活動のねらいを明確にし，前事業での蓄積データから生徒の変容を分析・検証し，活動内容を深めていく。



- c 徳島中央高等学校通信制課程では、「学び直し」教材のデジタルコンテンツ化に取り組み、多様な学習ニーズに対応できる指導方法について研究を検討する。
- d 各研究協力校では、地域や人と関わる活動、職場見学会や外部講師による講演等を実施し、就労に対する意欲向上や離職率の低下及びソーシャルスキル向上を目的とした指導方法について検証する。特に、離職率が高いことについては、知事部局とも連携し、離職率を下げる対策を研究する。
- e 徳島科学技術高等学校、富岡東高等学校では、各種検定の資格取得に向けた効果的な書籍や出前講座の活用について研究・検証する。

## (2) 特別な支援を必要とする生徒への指導方法の確立

### a 支援相談員の活用

調査研究校では、特に発達障がい等何らかの支援を必要とする生徒に対し、支援相談員の助言を受け、個別の指導計画作成のほか、教科学習、総合的な学習の時間、特別活動、放課後支援等を総合的に組み合わせた社会への移行支援を目的とした指導方法は一応の確立をみた。近隣地域にある協力校（徳島科学技術高等学校定時制、名西高等学校定時制）への、支援相談員派遣の結果も踏まえ、3校が連携して指導方法について更に検討する。

### b ケース会議の開催

事案に応じて県立特別支援学校の巡回相談員、就労移行支援事業所ワークステーション未来の専門員等も参加し、生徒の実態に即した指導方法の検討を実施する。

## (3) 支援・相談体制の充実

### a 定時制・通信制課程支援・相談検討会議

キャリア教育専門家（鳴門教育大学大学院教授・准教授）、関係機関の職員からなる委員と管理機関担当（定通教育担当、キャリア教育担当等）、研究指定校教職員等からなる検討会議を開催。委員の指導を受け、本事業の計画検討及び実施評価を行う。

### b 定時制・通信制連絡会

県内の定時制通信制課程の教頭による連絡会で情報交換。個別の検証が必要な事案については、支援相談運営委員会と連携を図る。必要に応じてテレビ会議システムを活用する。

## 5) 調査研究の効果測定について

就労支援の指導方法については、インターンシップ参加者の割合、卒業時の就職率等を把握し、その推移により効果の分析を行う。また、就職先での定着率・離職率についても、知事部局と連携し把握・分析を行う。ソーシャルスキル向上・学力向上の指導方法については、各指導を受けた生徒の自己評価に加え、各教科等の評価（パフォーマンス評価、ルーブリック評価等）により、生徒の学習意欲の伸長を把握し、その推移により効果の分析を行う。特別な支援を必要とする生徒への指導方法についても、各指導を受けた生徒の自己評価、アンケートにより、効果の分析を行う。支援・相談体制については、相談生徒人数により実績把握を行う。自己肯定・有用感については、就労・ソーシャルスキル向上・学力向上の指導による複合的効果が考えられるため、各支援を受けた生徒の自己評価に加え、本県独自調査「生徒の意識等に関する調査」（毎年7～8月実施 2月結果公表）により把握、分析・検証を行う。

### 多様な学習ニーズの応えるための指導方法の確立

徳島県教育委員会

#### 現状と課題

- 人口減少の中で全日制と同じ生徒数は減少しているが、特別な支援を必要とする生徒の割合は増加している。
- 企業からの求人数は増えつつあるが、全日制と比較すると求人が少ない。
- 「生徒の意識等に関する調査」によれば、全日制と定時制の生徒数の割合を比較すると、「自分にはよいところがある」という問いでは、16%程度低く、「将来の夢や目標を持っている」という問いでは、10%程度低い。
- 徳島中央高校(定時制(夜・昼)、通信制)ではこれまでも研究指定を受ける等、多様な教育実践に取り組んでいる。
- 周辺の定時制課程で、地元と連携した取組等を行っている。(夜間進路訓練 地元書道家の作品製作支援 など)
- 研究指定校を除くと小規模の定時制課程夜間部5校となり、教員数が少ない。

**仮説** 多様な生徒に対応できる支援・相談体制を充実させ、その上で生徒の学習ニーズに応じた学力やソーシャルスキル向上の指導方法を確立し、生徒の自己肯定・有用感を向上させることで、目標を持ち自ら将来を切り拓いていこうとする力を持った生徒の育成につながる。

#### 対応策

支援・相談体制の充実

就労  
ソーシャルスキル向上  
学力向上

特別な支援を必要とする生徒への指導

指導方法の確立

- 支援・相談会議の開催 ・学歴経験者、専門家による專業実施への助言・專業に対する検証・評価
- ワーキンググループ ・必要に応じて、指導方法や評価について、討議
- 成果の普及 ・定時制通信制高校を結ぶテレビ会議システムを活用し、成果と課題を報告、研究協議を実施  
・成果報告会を実施し、全日制課程の高等学校や特別支援学校へも拡大普及
- 就労に対する意欲向上や離職率の低下を目的とした指導方法の確立  
  - 職業等 バイク整備 ものづくり 養育体験 ビジスマナー
  - ・職場見学会や外部講師による講演等を実施し、他の課題への汎用化の可能性について検討
  - ・知事部局との連携し、離職率を下げる対策(指導方法)について研究
- 学校設定教科「職業」 ・評価に際して、パフォーマンス評価、ルーブリック評価等の研究・検証
- ソーシャルスキル向上の指導方法の確立  
  - ・「とくしま中央一産」「絵本の読み聞かせ」等の活動の効果の研究・検証
  - ・パフォーマンス評価、ルーブリック評価による検証
- 「学び直し」教材のデジタルコンテンツ化  
  - ・多様な学習ニーズに対応できる指導方法について研究を検討
- 大学との連携をもとにした支援策の拡充  
  - ・大学生・大学院生による学習支援、放課後支援を行い、指導方法の在り方について考える
- 各種検定の資格取得にむけた効果的な書籍や出前講座の活用
- 相談支援員の活用 ・拠点校に配置 ・協力校に巡回 ・活用校3校が連携して指導方法について検討する
- ケース会議の開催 ・專業に応じて外部支援機関と連携 ・教職員の共通認識

定時制・通信制高校生徒の自己肯定・有用感向上

夢や目標を持ち、自ら将来を切り拓いていく生徒

## 【2】令和2年度各学校における調査研究の概要

### 1) 就労指導

#### ① 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

○学校設定教科「職業」での取組

##### 1 目的・ねらい

職業に従事することを目標とし、各職種に必要とされる基礎的、基本的な知識と技術について理解させ、正しい勤労観、職業観を育成する。また、すでに就業している生徒も、他職種の体験を通して、より深い自己理解や将来設計について考えさせる。さらに、企業と学校との連携を強化し、生徒の就業の実現をはかる。

##### 2 内容

学校設定教科「職業」は、先に挙げた「マルチ基礎」と同様に各ホームルームに複数名の教員が関わり、1年次に「職業基礎A」（1単位）、2年次に「職業基礎B」（1単位）を学習している。2年間の学習により社会人・職業人としての基礎を身に付けられるよう指導している。「職業」を履修する生徒全員が「夜間部カフェ」での商品の販売や管理の当番を輪番制で担当している。生徒のコミュニケーションの向上を図り、商品の販売や管理をすることを体験する中でキャリア教育の一助となっている。

「職業基礎B」は、「職業基礎A」で学習した内容の定着を図るため、実践的な学習を中心とする。実習的な学習や、プレゼンテーション、外部講師を招いての全体学習、就業体験を通して、職場に必要なスキルやマナーを身につけさせる。また、「職業基礎B」の実践から「職業基礎A」の内容を見直し、修正を加える。

##### 3 取組

###### ① 就業体験に関する内容

企業研究・企業訪問の心得・勤務中の態度・就業体験・お礼状作成・体験発表

###### ② 職場で求められるスキルに関する内容

ビジネス文書作成の基礎（エクセル・ワード・パワーポイント）

###### ③ 就職活動に関する内容

進路ノートの活用（自己分析・高校生活の振り返り・履歴書作成・面接練習）





④ 外部講師招聘

中小企業家同友会に依頼し5人の社長（小売業2社，サービス業3社）と1名の社員計6名の講師を迎え，講演及び班別グループ討論会を行った。

講演では，それぞれの企業が求める社員像，仕事をする意義についての話があり，働く上で困難にどう立ち向かえるか指針を提案していただき，生徒にとって良い研修の機会となった。



グループ討論会では「趣味を仕事にできるか」「働く上でどのような満足感があるか」「お金が潤沢にあれば働くか」など，グループのメンバーによってそれぞれ違う角度から働くことを考察・討議し，その後発表を行った。グループごとに発表することで違った考えや別の角度で討論した内容に触れることができ，生徒たちは自分の考えをさらに深めることができた。

⑤ 令和2年度に実施したルーブリック評価

令和2年度 徳島中央高等学校 「マルチ基礎」及び「職業基礎」のルーブリック評価（全体）

※下の欄に年度当初（7月頃）と年度末（12月頃）の自分を評価1～5を記入してください

学年 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

項目	マルチ基礎				職業基礎		日頃の取り組み	
	国語(漢字)考え解く力	数学を考え解く力	マルチ基礎の取り組み方	相談支援員や大学院生とのコミュニケーション	職業基礎についての興味関心	職業基礎への取り組み方	他者との関わり	自分を知る
1	自分で解くことは20%未満	自分で解くことは20%未満	必要なことは取れない。	自分の方から話しかけることができない。	授業内容が社会に出て役立つから分らない。	自分の将来について展望が持てず熱心に取り組めない。	話しかけられても返事が十分できない。	気分によって取り組み方がある。
2	自分で解くことは40%未満	自分で解くことは40%未満	友達や先生が近寄りやすい。	相談支援員，大し学院生から話しかけられる。	仕事をする状況に興味関心が乏しい。	授業態度は受け身であり，授業内容理解できない。	話しやすい人はあてられる。	何をすべきかわからないが，行動に移せない。
3	自分で解くことは60%未満	自分で解くことは60%未満	積極的に友達や先生に質問する。	相談支援員，大し学院生から話しかけられる。	社会に出たらこの知識が役立つ。	知識を習得するために授業に取り組んでいる。	必要な場面では答えがでる。	先生や先輩からの指示を受けて行動している。
4	自分で解くことは80%未満	自分で解くことは80%未満	できるだけで書いておいて自分で書かない。	相談支援員，大し学院生，夜放課後話をしている。	マナーや一般常識を授業で学んでいる。	自分の進路に関して積極的に考えている。	校内の全生徒・先生と話をし，行事に参加している。	自分で学習活動の計画を立てて実行している。
5	自分で解くことは80%以上	自分で解くことは80%以上	テキストを復習し，やけどして復習している。	相談支援員，大し学院生と関係を築き，話しかけられる。	学習内容を汎用性のある生活に活用している。	授業内容を生活に活用している。	地域の人，社会の人と関係を築き，ボランティア活動に参加している。	新卒の計画を立てて，前向きに行動している。
当初	2.56	2.31	2.44	2.56	2.42	2.25	2.50	2.25
最終	3.38	3.19	3.00	3.31	2.92	2.77	3.00	2.63
備考								

社会人・職業人としての基礎を学ぶ学校設定教科「職業」への取組の高さは，「将来役に立つ」「自分のためになる」ということがわかっているからである。知らないことがわかるおもしろさ，一つ一つのマナーについての理由，知識が増えていく喜びも感じていると思われる。

「職業基礎についての興味関心」について年度当初2.42ポイントから2.92ポイントへ増加し、「職業基礎への取り組み方」についても年度当初2.25から2.77ポイントと伸びを示していることからこの授業が有意義であることがわかる。「他者との関わり」について年度当初から0.50ポイント上昇していることは、学年の枠を取り払い学校全体で、いろいろな行事等を実施し、発表する機会や班別に行動させていることが実を結んでいると考えている。

12月末に実施した生徒授業評価では、「そう思う」「だいたいそう思う」を選んだ生徒の割合は、「授業内容に満足している」が93%、「積極的な態度で授業に参加できた」が79%、「授業内容が理解できた」が93%となっている。

#### 4 成果

「職業基礎B」では、「職業基礎A」で学習した内容の実践・確認を通して、既習内容の定着を図ることができた。「職業基礎B」の中で実施している実習体験活動として、オープンキャンパス、企業見学、就業体験があるが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、参加率が20%（前年度100%）となった。しかし企業研究や進学先研究をすることで、就職や進学に対する具体的な準備をすることができ、進路の実現に向けて前進することができた。また、数々の講演を通して自分の適性にあった進路選択の大切さを実感し、次年度、新型コロナウイルス感染症の状況さえ改善すれば、すぐにも進路実現に向けて行動に移そうと考えている生徒も見られる。

これまでの「職業基礎」の授業を通して、生徒の就業意識が高まってきたところ、新型コロナウイルスのために職場の数も生徒の意識もそがれたことは残念である。昼間に仕事（アルバイト等を含む）を経験した生徒の割合は平成30年度は約80%、令和元年度は85%と増加していたところ、本年度は63%と落ち込んでいる。

#### 5 今後の課題

本年度は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、企業開拓や企業訪問に、学校全体で取り組むことができなかった。また、生徒が多様化する中で、それぞれに合った就業体験先を確保することが難しい現状もある。しかし、本校生徒の多くは地元徳島での就職を希望しており、中小企業家同友会からもぜひ企業見学にとの声もかけていただいている。今後、地元企業との連携をさらに深め、一人でも多くの生徒の就職につなげていきたい。

## ② 徳島科学技術高等学校定時制課程

### ○資格取得対策のための参考図書の活用について

#### 1 目的・ねらい

現在、我が国において、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化が進む中、生徒の職業人としての基本的な能力の低下や精神的・社会的な自立の遅れ等が指摘されている。このため、学校においては、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通して、「キャリア教育」の推進が求められているが、生徒の職業に対する理解不足、将来の夢に向かって努力する気持ちや自己肯定感の低下等の課題がある。

本校は、本県唯一の定時制課程工業科であり、ものづくりの基礎を学ぶ専門高校である。その中で「働くこと」の意義を理解し、将来就きたい仕事等を考え、意欲的に学習に取り組もうとする態度の育成が重要である。工業科の専門科目は社会生活に近い感覚があり生徒の興味関心は高く、進路指導で就職に重要とされる資格についての受験希望も高まっている。社会的・職業的自立に必要な知識技術・技能・態度を身につけた実践的な技術者を育成するために、各種資格・検定を重視し、取得の支援を行うため、各種資格・検定試験参考図書を購入し、これを用いた補習で資格の取得をさせ、就労意欲を高める。

#### 2 内容

資格・検定に関する次の15冊の図書を購入した。

乙種危険物取扱者（2種類）、情報技術検定（2種類）、日本語ワープロ検定（2種類）、情報処理技能試験表計算（2種類）、第2種電気工事士、2級建築施工管理技士、計算技術検定、基礎製図検定、ボイラー技士試験（2種類）、トレース技能検定

#### 3 取組

##### ①危険物取扱者試験

##### ・危険物取扱者とは

消防法では火災の危険性が高い物質を「危険物」として指定している。この資格を持つものはその取り扱いを行うことができる。一定数量以上の危険物を貯蔵し、または取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設には危険物を取り扱うために必ず危険物取扱者を置かなければならない。そのため就職後の実業務で用途が広い国家資格である。職種によっては取得が必須なものもあり、就職後に取得が義務の場合もある。したがって、在学中に有資格者となることは就職採用に有利となる。

##### ・受験の背景

本校は工業科でありものづくりの基礎を学ぶ専門高校であるが、生徒自身にその意識が希薄な場合がある。危険物取扱者試験は化学系の専門知識を必要とするが、国家

資格としては比較的容易で本校各工業類の生徒が取り組むには無理のない資格である。また、就職に繋がりやすい資格として、目的意識を持ちやすい利点もある。工業系専門高校で学んでいく上での意識付けとしても最適であることから、入学直後から全ての生徒に周知し、学習及び受験を勧めている。

## ②情報技術検定・ワープロ検定・情報処理技能検定試験

### ・情報技術検定とは

全国工業高等学校長協会主催、文部科学省後援の情報技術の基礎に関する検定である。目的としては、基礎的情報技術の知識と技能が習得されているかを検定することである。3級から1級まであり、3級は情報技術に関する初級の知識を問うもので、情報技術学習の入門というべきレベルであるが1級は国家試験の情報技術者試験に近いレベルで合格率は1割程度である。段階的に情報技術に関する知識を習得していくために適当である。

### ・日本語ワープロ検定試験とは

日本情報処理検定協会主催の民間検定試験であり、文部科学省が後援する日本語ワードプロセッサの文書処理能力向上を図るために実施している検定である。パソコンの日本語ワープロソフトの有効な利用を通じて、日本語の入力及び文書処理能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータの活用能力の向上を図ることを目的としている。

### ・情報処理技能検定試験とは

日本情報処理検定協会主催の民間検定試験であり、情報処理能力の向上及び情報社会の発展に寄与し、受験者の資質の向上を図るために実施している検定である。パソコンの表計算ソフトの有効な利用を通じて、情報処理能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータの活用能力の向上を図ることを目的としている。

### ・受験の背景

本校は教科「情報」の代替科目として工業科科目の「情報技術基礎」を履修している。情報技術基礎では、社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する知識と技術を習得させ、工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を育てることを目的としている。そのため、授業では教科書を基本として、情報処理を主体的実践的に活用するため演習や実習を積極的に取り入れている。情報技術検定の問題に取り組むことで情報技術の基礎についての理解を深めることができる。また、情報技術の問題解決に慣れることで理解の程度を客観的に証明できることと、就職採用試験や進学入学試験等の専門科目に対応することができる。また、検定であることから4級3級2級というように難易度の高い級を段階的に目指すこともできる。

## ③建築施工管理技士試験

### ・建築施工管理技士とは

建築施工管理技士技術検定制度は建設業法第27条に基づき、国土交通大臣指定機関が実施する国家試験である。高校生が受験可能な2級は一般建設業の許可を受

ける際に必要な「営業所ごとに配置する専任の技術者」及び「建設工事における就任技術者」として認められることに必要な施工管理に携わる場合に必要不可欠な資格である。

- ・受験の背景

本校の建築コースは建築に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。履修科目は建築施工の他に建築構造、建築構造設計、建築計画、建築法規等があり、建築系科目が多岐にわたるが建築施工技士試験の演習をすることでこれらを体系的に結び付け、合格を専門高校建築コースで学ぶ生徒の最終目標としている。建築施工の現場で非常に有用な資格であり、2級は17歳から受験可能で建築コース卒業までには是非取りたい資格である。

#### ④計算技術検定

- ・計算技術検定とは

全国工業高等学校長協会主催、文部科学省後援の計算技術の基礎に関する検定である。目的としては、数学の知識と電卓・ポケコンの技能と計算力が習得されているかを検定することである。4級から1級まであり、4級3級は電卓・ポケコンの初級の技能を問うもので、比較的合格率も高い。2級1級は高校数学全般の知識が問われ、難易度が高く合格率も低い。

- ・受験の背景

工業科の原則履修科目の一つである「工業技術基礎」では、工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野と倫理観をもって工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。その中で、計算技術の演習を行うことで工業技術への基礎学力を高めさせるとともに、数学の知識も深めることができる。また、実業務で必要な計算力を客観的に示すこともできる。

#### ⑤基礎製図検定

- ・基礎製図検定とは

全国工業高等学校長協会主催、文部科学省後援の製図の基礎に関する検定である。目的としては、製図の基礎知識をよく理解し、投影図法を確実に把握する能力を養い、製図教育の振興を図ることとされている。

- ・受験の背景

工業科の共通的な基礎科目の一つである「製図」では、製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図等を正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。工業系の生徒は製図が得意なものも多く、人気のある科目である。技能的な側面が高いため、その技量を図る手立てが少ないことから、基礎製図検定を受験することで、知識と技能を高めるとともに、客観的に技量を証明することができる。



## ⑥電気工事士試験

### ・電気工事士とは

電気工事士法によって、電気工事の欠陥による災害の発生を防止するために、一定範囲の電気工作物について電気工事士の作業に従事する者の資格が定められている。また、第一種電気工事士は自家用電気工作物と一般用電気工作物の作業に従事でき、第二種電気工事士は自家用電気工作物と一般用電気工作物の作業に従事できる。

### ・受験の背景

本校の電気コースは電気に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。履修科目は電気基礎の他に電気機器、電力技術等があり、広範囲の電気に関する知識を履修している。その中でそれらの基礎的な知識を第二種電気工事士の演習問題で定着させることができるとともに、実技を伴うことで電気の学習を体験を通して感じる良い機会となっている。また、社会においても非常に必要とされる資格であり、将来にわたって活用できる資格であり、生徒の達成感満足度も非常に高い。

## ⑦ボイラー技士試験

### ・ボイラー技士とは

労働安全衛生法に基づく国家資格で、空調・温水ボイラーの操作、点検を業務とできる。ボイラー技士はボイラーが正常に稼働し、建物内の空気や空気や温水の調整を管理できる状態を整える業務である。そのためにボイラーの運用・管理から定期的なメンテナンスや点検に携わり、その状態を常に確認・修正できる技能が求められる。事故発生時のリスクも大きいボイラーの管理を主な仕事とする。

### ・受験の背景

本校の機械コースは機械に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。履修科目は生産システム技術の他に機械工作、機械設計等があり、広範囲の機械に関する知識を履修している。その中の科目で「原動機」の一つの動力の実践的な例としてボイラーを取り上げている。ボイラー技士の演習問題を行うことでエネルギーについての学習の良い機会となっている。また、この資格は大型商業施設やオフィスビルは空調管理や温水の供給に必要であり、それらの施設の建設時もボイラー技士が立ち会う必要がある。ホテルや病院でもボイラー技士が必要であるなど、社会においても非常に有用とされる資格で将来にわたって活用できる資格であり、生徒の需要も非常に高い。

## ⑧トレース技能検定

### ・トレース技能検定とは

トレース技能審査基準に基づいてデザイナーなどの専門家が描いた図面を、正しく清書できるか判断する資格である。建築関係や土木関係、機械関係の企業において複雑な設計図、図面などをきれいにトレースできる人材は必要とされており、特に現場で生かすことのできる技能である。

・受験の背景

本校の建築コースは建築はもちろんデザインや製図，設計などに興味関心を持つ生徒が多い。就職の希望場所として建築・土木，デザイン事務所，住宅メーカー等に評価される資格であり，社会においても非常に有用とされる資格で将来にわたって活用できる資格であり，生徒の需要も非常に高い。

4 成果

①危険物取扱者試験

工業系専門高校としての意識づけとしての目的が大きい。受験について生徒全員に周知し，補習等に参加し根気強く勉強することを納得させ申込みをさせている。始業前1時間，放課後1時間の補習に参加させ合格を目指す，資格試験の取り組みなどの工業系専門高校生としての意識を持たせる機会としている。最初は乙種第四類から受験させるが合格率は2割程度である。合格者の成功体験の影響は大きく，乙種は全部で6類あるが去年度の2年次生は2名の生徒が乙種6類全部取得した。また，合格を逃した生徒も再度挑戦したり自分の興味のある資格に挑戦している。

平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度		平成26年度			平成27年度			平成28年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
危険物取扱者	乙種一類	2	2	100	3	2	67	1	1	100
	乙種二類	0	0	0	3	2	67	1	1	100
	乙種三類	1	1	100	3	3	100	1	1	100
	乙種四類	19	5	26	5	1	20	23	5	22
	乙種五類	1	1	100	3	2	67	1	1	100
	乙種六類	2	2	100	3	2	67	1	1	100
	合計	25	11	44	20	12	60	28	10	36

平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
危険物取扱者	乙種一類	6	6	100	1	1	100	4	4	100
	乙種二類	4	4	100	5	5	100	1	1	100
	乙種三類	3	2	67	7	7	100	2	1	50
	乙種四類	25	6	24	34	7	21	3	0	0
	乙種五類	3	3	100	4	4	100	3	3	100
	乙種六類	6	4	67	3	3	100	3	3	100
	合計	47	25	76	54	27	87	16	12	75

②情報技術検定・ワープロ検定・情報処理技能検定試験

情報技術検定は授業中に演習を行うため全員が受験している。合格率は3割程度である。初級の3級を受験するが、情報技術学習に興味があるものが多く、学習に積極的に取り組み易いとは言えない検定の合格を達成できている。合格に及ばなかった生徒も基本的な情報技術に関する知識を習得する機会になっている。

日本語ワープロ検定試験・情報処理技能検定試験も原則的に全員が受験している。両資格とも初級と言える3級であり、知識を問う筆記試験は易いことから技能練習をしっかりと行うことで合格率は7割から全員合格となっている。情報系の資格を取得することで、現在の情報化社会で働くことへの励みとなっている。また、事務処理でのパソコン技能として基本的なワープロと表計算の技能があることを客観的に証明でき、就職の助力となっている。

平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度		平成26年度			平成27年度			平成28年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
全国工業高等学校長協会	情報技術検定3級	9	3	33	11	2	18	10	6	60
日本語ワープロ検定試験 (ワープロ技能)	1級	4	0	0			####			####
	準2級			####	1	1	100			####
日本情報処理検定協会	3級	11	10	91	25	19	76	16	12	75
	4級	7	7	100	1	1	100			####
情報処理技能検定試験 (表計算)	準2級			####			####	1	1	100
	3級	18	18	100	18	17	94	12	11	92
日本情報処理検定協会	4級			####			####	1	1	100

平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
全国工業高等学校長協会	情報技術検定3級	16	8	50	15	5	33	10	4	40
日本語ワープロ検定試験 (ワープロ技能)	1級			####	1	1	100			####
	準2級			####	1	1	100	2	2	100
日本情報処理検定協会	3級	11	10	91	25	19	76	16	12	75
	4級	7	7	100	1	1	100			####
情報処理技能検定試験 (表計算)	準2級			####			####	1	1	100
	3級	18	18	100	18	17	94	12	11	92
日本情報処理検定協会	4級			####			####	1	1	100

### ③建築施工管理技士試験

本校の建築コースでは受験は最終学年で2級の受験を想定している。それを目標に各建築関係の科目で試験内容を演習として取り入れている。しかし、2級とはいえ非常に高度な資格であり、高校生にとっては難易度の高い資格で、試験勉強も授業の内容だけでは不足することから長期にわたる補習を必要とする。そのため受験に至る生徒は少数で合格者は少ない。しかし、建築現場では必須の資格であり、将来建築現場で働くものは受験の必要に駆られる。その時に受験準備の経験があることは大きい。将来の合格に可能性を残すことができる取り組みである。また、建築関係各科目の知識の定着に役立っている。

#### 平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
受験者合格者人数 合格率(%)									
建築施工管理技術検定2級			####	3	1	33	2	2	100

#### 平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
受験者合格者人数 合格率(%)									
建築施工管理技術検定2級	5	2	40			####			####

### ④計算技術検定

「工業技術基礎」での実習で取り組んでおり、内容が容易なことから生徒は無理なく演習を継続できている。小テストを繰り返すことで達成感もあり積極的に演習できている。合格率もほぼ100%であり、成功体験の一つとなっている。また、他の専門科目で必要となる数学的知識や電卓技能の習得として意義は大きい。

#### 平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度			
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
受験者合格者人数 合格率(%)										
全国工業高等学校長協会	計算技術検定3級	38	35	92	25	20	80	34	24	71
	計算技術検定4級	11	11	100	16	15	94	17	14	82

#### 平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度	平成29年度			平成30年度			令和元年度			
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
受験者合格者人数 合格率(%)										
全国工業高等学校長協会	計算技術検定3級	28	23	82	17	17	100	16	16	100
	計算技術検定4級	11	10	91	8	8	100	11	10	91

### ⑤基礎製図検定

「製図」では、どうしても製図の作品を書くことに集中し、理論の定着が後回しになることがあるが、この資格に取り組むことで知識の習得に役立っている。安易というわけではないので合格率は半数程度である。また、機械系事業所の就職にも有利となっている。

#### 平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度		平成26年度			平成27年度			平成28年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
全国工業高等学校長協会	基礎製図検定	9	2	22	20	8	40	8	6	75

#### 平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
全国工業高等学校長協会	基礎製図検定	17	10	59	16	7	44	11	0	0

### ⑥電気工事士試験

本校の電気コースでは専門分野でもあり、対策をしっかりとすることで合格が困難でないことから多数の生徒が受験している。合格率は50%以上である。電気工事には必ず必要な資格であり、電気関係の職場では取得が必須な場合も多く、就職に大変有利となる。また、家業が電気工事関係の生徒もおおり、積極的に取り組んでいる。そのため、1度合格しなくても粘り強く、継続して受験する生徒が多い。また、就職に有利なことから機械コース、建築コースからの受験希望者もおおり、そのような生徒は意識も高いため合格率が高くなっている。

#### 平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度		平成26年度			平成27年度			平成28年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
	第一種電気工事士			####			####			####
	第二種電気工事士	3	3	100	5	5	100	3	1	33

#### 平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
	第一種電気工事士	2	1	50			####			####
	第二種電気工事士			####	8	4	50	6	6	100

### ⑦ボイラー技士試験

本校の機械コースで学習を進めており、社会的に需要が多いため取得の意味は大きい。また、機械関係で高校生が受験できる資格は多くない中で貴重な資格でもあ

る。ただ、受験資格を得るための講習受講料や受験料が高額なため本校生徒にとって受験の妨げとなっている。

### ⑦トレース技能検定試験

トレース技能検定を取得するために勉強することで、複雑な設計図、図面などをきれいにトレースできるようになるだけでなく、製図に関する基本的事項や建築、機械等の基本的な知識が身につくため、建築コース、機械コースの生徒が受験するメリットは大きい。

#### 平成26年度から平成28年度までの合格状況

年度		平成26年度			平成27年度			平成28年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
トレース技能検定	2級			####	7	4	57	8	6	75
	3級	6	5	83	9	9	100	7	7	100
	4級	21	21	100	12	11	92	2	2	100

#### 平成29年度から令和元年度までの合格状況

年度		平成29年度			平成30年度			令和元年度		
受験者合格者人数 合格率(%)		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
トレース技能検定	2級	5	3	60	6	6	100	7	7	100
	3級	7	7	100	12	10	83			####
	4級	6	6	100			####	2	2	100

## 5 今後の課題

本校での学習が進むことで専門科目の理解も進んでくる。また、進路指導の中で就職に重要とされる資格についての意義が高まる。その中で社会的・職業的自立に必要な知識技術・技能・態度を身につけた実践的な技術者を育成するために、各種資格・検定を重視し、取得の支援を積極的に行っている。

各コースは、卒業までの各年次における資格・検定試験のスケジュールや指導計画を立てている。最初は比較的易しい検定を受験するという事で入学後「計算技術検定3級・4級（全国工業高等学校協会主催）」の1年次生全員受検に取り組んでいる。初めて触れる関数電卓でもあり、生徒は興味を示して、熱心に電卓の勉強に取り組んでいる。合格により自信を得て、その後の学習の励みとなっている。

本校指定資格（ワープロ・表計算・トレース・計算技術検定4・3級、情報技術検定3級等）で80%以上の合格を目標としているが、昨年度の合格率は71.8%であった。指定資格以外も含む全受検の合格率は73.5%であった。

一方難易度の高い資格を受験する意欲ある生徒も増えてきており、始業前、放課後、長期休業中にも熱心ほな取り組みが見られる。昨年度は、第2種電気工事士では電気コース3名、機械コース3名の計6名が合格した。また、危険物取扱者試験においても、乙種1類から6類まですべてに合格した生徒が3名出た。また、昨年・一昨年度は、全国工業高

等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度で資格・検定のポイントにより、シルバー3名、ブロンズ1名が称号を授与した。特に平成28年度には、徳島の高校生としては過去にほとんどいない危険物取扱者甲種に1名が見事合格した。

このように、本校では就労支援の一環として資格取得の推進を行ってきた。他にも学習活動として(1)基礎学力の確立(「学びなおし」のための基礎学力向上の補習等)(2)授業内容の定着(基礎学力が不足している生徒に対して習熟度別授業やチームティーチングを活用する)(3)補習授業の充実(大学入試や就職試験に向けた補習授業の開設)を行っている。教員側は生徒が充実した高校生活を送るため、学習活動の工夫を行っているとともに、特別活動や生徒指導、部活動指導に尽力している。そのため、現在の生徒は落ち着いて高校生活を送ることができており、学校や教員に対して肯定的な意見を持つ生徒が多い。

これから一層の学校生活向上のために、これらの目的の意識付けとしてキャリア教育の推進を中心に進めていきたいと考えている。進路指導をより強化し(1)早期からのキャリア意識向上の取り組み(キャリア教育全体計画に基づき、早期からのキャリア教育を計画的・系統的に実践する)(2)求人確保(積極的な企業訪問やハローワーク等外部機関の協力も得ながら、指定校求人拡大を目指す)(3)進学指導の充実(早期から生徒一人一人の目標に合わせた進学の意義を指導する)等の取り組みを進めていく予定である。

本校の生徒は工業系専門高校として工業の知識と技能を身につけ将来の就業に向け努力している。その一環として資格取得に積極的に取り組んでいるが、その目的は、直接就業につながり大変有益であることをキャリア教育を通して理解させていきたい。また、本校では就業指導の一步として、アルバイト等の奨励をしている。職業理解や適正理解にも役立っており、自己有用感も育っていると感じられる。その中で、悩みを抱える生徒もいるが担任をはじめ、教員が相談に乗っている。特に、支援相談人がアルバイトの悩み等に積極的に関わっていただいている。教員ではない、外部の方の視点からのアドバイスは生徒に大変参考になっているようである。昨今、新型コロナウイルスの影響でアルバイト先の都合で、時間を減らされたり、アルバイトそのものを失った生徒もいる中で心強い助言をいただいている。

また、放課後は部活動に取り組む生徒が多い。資格試験合格のためにはしっかり時間をかけられるだけ多くの演習問題に取り組む必要があるが、時間的制約が多く、教員側の工夫が求められている。資格試験補習担当者と担任、部活動顧問が相談し、計画的に補習時間等を設定している。

専門高校関係主催の検定は受験料が少額で受験しやすいが、社会的認知を問われると低いと言わざるを得ない。一般社会で求められる資格は受験料が高額な場合が多く、練習用の材料費がかかることも多い。生徒の経済的負担についても考慮しなければならない中で資料代を少しでも援助していただけたことはありがたい。



### ③ 富岡東高等学校定時制課程

#### ○生徒のスキルアップについて

##### 1 目的・ねらい

進路指導の一環として、

- 1) 進路関係の図書を購入し、進路指導の参考にするとともに、
- 2) 進路指導を通して、「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」の伸長を図る。

##### 2. 内容

- 1) 礼儀作法やマナー等の就職活動に係る参考となる下記図書を購入する。
  - ① 高校生 就職面接の受け方答え方'21年版（成美堂出版）
  - ② 最新最強の作文・小論文 '22年版（成美堂出版）
  - ③ マイナビ2020 オフィシャル就活 BOOK 内定獲得のメソッド 面接担当者の質問の意図 才木弓加著（マイナビ出版）
  - ④ 高校生の就職活動オールガイド'21年版 加藤敏明著（成美堂出版）
  - ⑤ 内定者が本当にやった究極の自己分析 '22年版 阪東恭一著（成美堂出版）
- 2) 1～4年生の全学年に就労指導を、4年生には卒業後の進路決定の指導を行う。
- 3) 「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」の伸長を図り、その伸長の度合いを確認し、さらなる指導につなげる。

##### 3. 取組

- 1) 「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」の定義を、「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（平成14年11月 国立教育政策研究所生徒指導研究センター）より引用し、本校定時制において使用する。（表2）
- 2) 購入図書を、就職指導・進学指導の際に利用する。
- 3) 1～4年生の全学年において、ハローワークと連携すること等を通じて就労指導を行う。
- 4) 4年生には、進学希望者に、オープンキャンパス参加を促し、就職希望者には、企業訪問や就労体験を促し、卒業後の進路決定の指導を行う。
- 5) 「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」の伸長を図るために、「ループリック評価」および「その項目に関連する記述調査」（シート1～6）を実施することにより、その成果を検証し、次年度の就職指導・進路指導に生かす。



領域	領域説明	能力説明
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	<p><b>【1. 自他の理解能力】</b> 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いを認め合うことを大切にして行動していく能力</p> <p><b>【2. コミュニケーション能力】</b> 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力</p>
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択を生かす。	<p><b>【3. 情報収集・探索能力】</b> 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力</p> <p><b>【4. 職業理解能力】</b> 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力</p>
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	<p><b>【5. 役割把握・認識能力】</b> 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力</p> <p><b>【6. 計画実行能力】</b> 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実行するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力</p>
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	<p><b>【7. 選択能力】</b> 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力</p> <p><b>【8. 課題解決能力】</b> 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力</p>

表2：「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」※

※ 「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」  
（平成14年11月 国立教育政策研究所生徒指導研究センター）より抜粋



## 就業体験・企業訪問・現在の就業先について（裏面）

能力	行動目標	具体的に考えてみよう！
1. 自他の理解能力	体験先・訪問先・(就業先)は、① <u>自己理解を深め</u> 、②他者の多様な個性を理解し、③互いを認め合うことを大切にして行動していく能力が発揮できる。	「 <u>自己理解を深め</u> 」について
2. コミュニケーション能力	体験先・訪問先・(就業先)は、コミュニケーションを通して、①豊かな人間関係を築くことにより、② <u>自己の成長</u> が期待できる。	「 <u>自己の成長</u> 」について
3. 情報収集・探索能力	体験先・訪問先・(就業先)の企業理念等は、 <u>自己の進路や生き方</u> に合っている。	「 <u>自己の進路や生き方</u> 」について
4. 職業理解能力	この体験・訪問・(就業)を通して、 <u>社会生活や職業生活</u> について理解できた。	「 <u>社会生活や職業生活</u> 」について
5. 役割把握・認識能力	<u>社会で自分の果たすべき役割</u> を、体験先・訪問先・(就業先)で見つけることができる。	「 <u>社会で自分の果たすべき役割</u> 」について
6. 計画実行能力	体験先・訪問先・(就業先)は、 <u>生き方の目標</u> を考え、その目標実現を手助けしてくれることが期待できる。	「 <u>生き方の目標</u> 」について
7. 選択能力	この体験先・訪問先・(就業先)を、 <u>進路候補</u> として考えるか。	「 <u>進路候補</u> 」について
8. 課題解決能力	進路実現のために、この体験・訪問・(就業)を通して <u>発見したやるべきこと</u> に取り組む。	「 <u>発見したやるべきこと</u> 」について

シート 2：就業体験・企業訪問・現在の就業先について（裏面）

## オープンキャンパス・入学試験について（表面）

1. 学年（        ） 氏 名（        ）
2. 学校名（        ）
3. 実施日時：令和    年    月    日
4. （    ） オープンキャンパス，（    ） 入学試験

能 力	行動目標	A	B	C	D
1. 自他の理解能力	受験先は、①自己理解を深め、②他者の多様な個性を理解し、③互いを認め合うことを大切にして行動していく能力が発揮できる。	①自己理解を深め、②他者の多様な個性を理解し、③互いを認め合うことを大切にして行動していく能力が発揮できる	①自己理解を深め、②他者の多様な個性を理解する能力までは高めることができる	①自己理解を深める能力を高めることができる	このような能力を高めることはできない
2. コミュニケーション能力	受験先は、コミュニケーションを通して、①豊かな人間関係を築くことにより、②自己の成長が期待できる。	①豊かな人間関係を築き、②自己の成長が期待できる	「ある程度」 ①豊かな人間関係を築き、 ②自己の成長が期待できる	①人間関係を築くことはできているが、②自己の成長は期待できない	①と②のどちらも期待できない
3. 情報収集・探索能力	受験先の教育理念等は、自己の進路や生き方に合っている。	合っている	ある程度合っている	あまり合っていない	合っていない
4. 職業理解能力	この受験先での学生生活を通し、社会生活や職業生活について理解することが期待できる。	期待できる	ある程度期待できる	あまり期待できない	期待できない
5. 役割把握・認識能力	社会で自分の果たすべき役割を、受験先で見つけることができる。	できる	ある程度できる	あまりできない	できない
6. 計画実行能力	受験先は、生き方の目標を考え、その目標実現を手助けしてくれることが期待できる。	期待できる	ある程度期待できる	あまり期待できない	期待できない
7. 選択能力	この受験先を、進路候補として考えるか。	第1志望である	進路候補の1つである	あまり候補と考えない	進路候補と考えない
8. 課題解決能力	進路実現のために、オープンキャンパスへの参加や受験を通して発見したやるべきことに取り組む。	取り組む	ある程度取り組む	あまり取り組まない	取り組まない

シート3：オープンキャンパス・入学試験について（表面）

## オープンキャンパス・入学試験について（裏面）

能 力	行動目標	具体的に考えてみよう！
1. 自他の理解能力	受験先は、 <b>①自己理解を深め</b> 、 <b>②</b> 他者の多様な個性を理解し、 <b>③互</b> いを認め合うことを大切にして行動していく能力が発揮できる。	「 <b>自己理解を深め</b> 」について
2. コミュニケーション能力	受験先は、コミュニケーションを通して、 <b>①豊かな人間関係を築く</b> ことにより、 <b>②自己の成長</b> が期待できる。	「 <b>自己の成長</b> 」について
3. 情報収集・探索能力	受験先の教育理念等は、 <b>③自己の進路や生き方</b> に合っている。	「 <b>自己の進路や生き方</b> 」について
4. 職業理解能力	この受験先での学生生活を通し、 <b>社会生活や職業生活</b> について理解することが期待できる。	「 <b>社会生活や職業生活</b> 」について
5. 役割把握・認識能力	<b>社会で自分の果たすべき役割</b> を、受験先で見つけることができる。	「 <b>社会で自分の果たすべき役割</b> 」について
6. 計画実行能力	受験先は、 <b>生き方の目標</b> を考え、その目標実現を手助けしてくれることが期待できる。	「 <b>生き方の目標</b> 」について
7. 選択能力	この受験先を、 <b>進路候補</b> として考えるか。	「 <b>進路候補</b> 」について
8. 課題解決能力	進路実現のために、オープンキャンパスへの参加や受験を通して <b>発見したやるべきこと</b> に取り組む。	「 <b>発見したやるべきこと</b> 」について

シート4：オープンキャンパス・入学試験について（裏面）



## 本校のキャリア教育について（裏面）

能力	行動目標	具体的に考えてみよう！
1. 自他の理解能力	私は、本校の教育を通じ、 <b>①自己理解を深め</b> 、②他者の多様な個性を理解し、③互いを認め合うことを大切にして行動していく能力を高めることができている。	「 <u>自己理解を深め</u> 」について
2. コミュニケーション能力	私は、本校の教育を通じ、コミュニケーションを通して、①豊かな人間関係を築くことにより、 <b>②自己の成長</b> ができている。	「 <u>自己の成長</u> 」について
3. 情報収集・探索能力	私は、本校の教育を通じ、①進路や職業等の情報を収集・探索する能力、②情報を選択・活用する能力、③ <b>自己の進路や生き方</b> を考えていく能力を高めることができている。	「 <u>自己の進路や生き方</u> 」について
4. 職業理解能力	私は、学生生活を通して、 <b>社会生活や職業生活</b> について理解することができるようになった。	「 <u>社会生活や職業生活</u> 」について
5. 役割把握・認識能力	私は、本校の教育を通じ、将来、 <b>社会で自分の果たすべき役割</b> を見つけることができている。	「 <u>社会で自分の果たすべき役割</u> 」について
6. 計画実行能力	私は、本校の教育を通じ、 <b>①目標とすべき将来の生き方や進路</b> を考える能力、②それを実行するための進路計画を立てる能力、③実際の選択行動等で実行していく能力を高めることができている。	「 <u>目標とすべき将来の生き方や進路</u> 」について
7. 選択能力	私は、本校の教育を通じ、①様々な職業を比較し、そのためにすべきことを実行する能力、②自分で判断し、 <b>自分らしい選択</b> をする能力を高めることができている。	様々な職業を比較し、自分で判断した「 <u>自分らしい選択</u> 」について
8. 課題解決能力	私は、本校の教育を通じ、①意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応する能力と、②希望する進路の実現に向け、自ら <b>課題</b> を設定してその解決に取り組む能力を高めることができている。	希望する進路の実現に向け設定した「 <u>課題</u> 」について

シート6：本校のキャリア教育について（裏面）

#### 4. 成果

##### 1) 就職者について

4年生在籍9名中7名が、就職希望で、2名が現在の就業先を卒業も継続する縁故就職、残り5名中1名が就職を内定している。その1名について、ループリック評価（シート1：就業体験・企業訪問・現在の就業先について（表面））は、全項目がAであった。

##### 2) 進学者について

4年生在籍9名中2名が、進学希望で、両名とも県内短期大学に合格した。その両名のループリック評価（シート3：オープンキャンパス・入学試験について（表面））は、オープンキャンパスの評価および入学試験時の評価においては、表3の通りである。

	オープンキャンパス	入学試験
1. 自他理解能力	B 2名	A 1名, B 1名
3. 情報収集・探索能力	A 1名, B 1名	A 1名, B 1名
他の項目	A 2名	A 2名

（表3：進学希望者の評価結果）

##### 3) 本校のキャリア教育について

シート5：本校のキャリア教育について（表面）およびシート6：本校のキャリア教育について（裏面）を令和3年1月に、1～4年生に実施した。

図7において、「4. 職業理解能力」を除く、すべての質問項目で、3・4年生が、1・2年生よりも、Aを選んだ割合が高い。このことは、生徒達の意識・自己評価として、学年が進むにつれて、「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」が高くなっていると、生徒が認識していると捉えることができる。

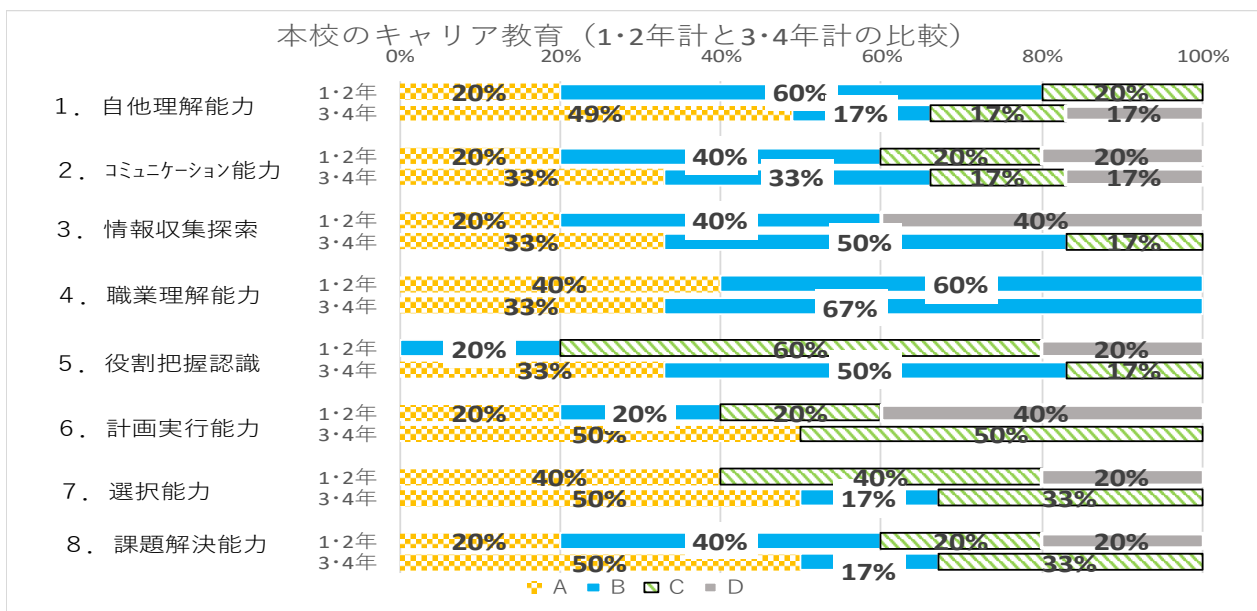


図7：本校のキャリア教育（1・2年計と3・4年計の比較）



図8において、  
「就業先」は1～4年生の就業者が、シート1・2を用いて「就業先」を評価したもの、  
「就業者」は1～4年生の就業者が、シート5・6を用いて「本校のキャリア教育」に関して評価したもの、  
「未就者」は1～4年生の就業していない者が、シート5・6を用いて「本校のキャリア教育」に関して評価したものである。

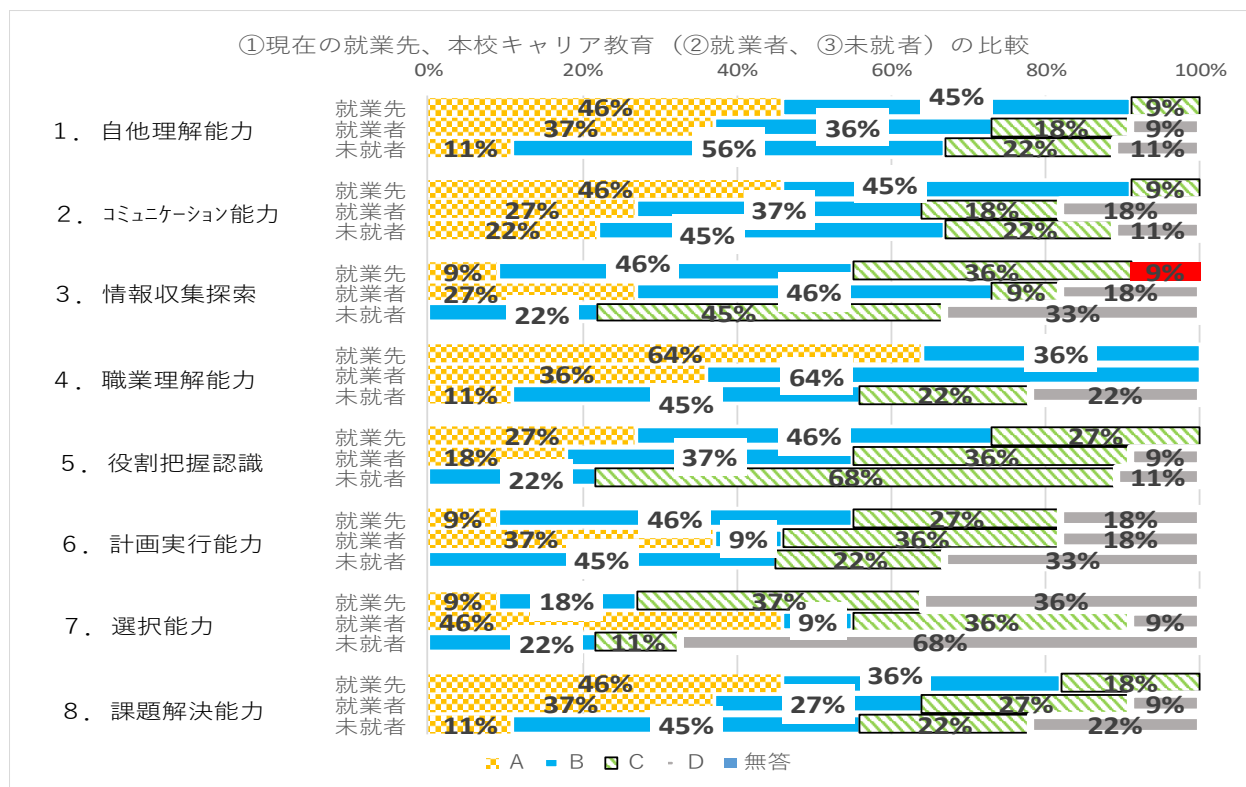


図8：①現在の就業先，本校のキャリア教育 (②就業者，③未就者) の比較

図8において、8項目中5項目（1，2，4，5，8）が、就業先，就業者，未就業者の順にAを回答した物が多い。これは、実際の就業先で、これらの能力を養うことができるのと多くの生徒が認識していると捉えることができる。また、就業者は、未就者に対して、就業先でこれらの能力を養うことができていることから、学校においても、これらの能力を高めることに結びつけることができていると推測できる。

3，6，7の3項目において、就業者は、就業先よりも学校の方がこれらの能力を高めることができると判断している。一方で、未就者は、この3項目すべてにおいて、Aと回答したものが0%である。

#### 4) 自由記述アンケート結果について

表7～表11が、シート2，4，6を用いた自由記述のアンケート結果である。このアンケートを実施することにより、生徒は、ルーブリック評価に回答することに加え、その評価内で問われている「自己理解」，「自己の成長」，「自己の進路や生き方」といった抽象的な概念を具体化させ、省察することができたかと捉えている。

① 就職希望者の自由記述について

能力	具体的に考えてみよう。
1. 自他の理解能力	<p>自己理解を深めることについて</p> <p>2年 自分の得意なこと、苦手なことが分かるようになった。</p> <p>2年 自分の弱いところが分かった。</p> <p>3年 中学時代は、人と話をするのは苦手だったけど、バイトを通して人と話をするのは良いことと思えるようになった。また、いろんな人がいるんだなと思った。</p> <p>3年 今の仕事内容は仕事を始めるまではできないと思っていたけど、仕事を始めてみると楽しいし意外とできる。</p> <p>4年 予想以上に職場の人達がよく、自分がどのような人間なのか分かるようになり、自分の悪いところを直すことにより、自己理解も深めることができた。</p>
2. コミュニケーション能力	<p>自己の成長について</p> <p>1年 敬語を使うようになった。</p> <p>2年 周囲の人とのコミュニケーションを通して、自分がどう動くべきか考えられるようになった。</p> <p>2年 人との接し方が分かった。</p> <p>3年 分からないところがあれば、聞くことができるようになった。</p> <p>3年 人の気持ちになって考えられるようになった。仕事の大切さを知った。</p> <p>3年 他人としゃべるのは苦手だったけど、ある程度話せるようになった。</p> <p>4年 仲間の大切さや思いやりがすごく大事であり、自分も仲間のためにがんばる人になった。</p>
3. 情報収集・探索能力	<p>自己の進路や生き方について</p> <p>2年 よく分からない。</p> <p>2年 就職希望先をある程度的を絞ることができている。</p> <p>3年 就業先の理念は、自分の進路や生き方に合っていない。</p> <p>3年 就業先の理念は、自分の進路や生き方に合ってる。</p> <p>4年 就業先では、毎朝、朝礼がある。会社の方針で仲間との調和を大切にするというのがあり、仲間との会話を大切にすることができた。自己の生き方に合っていると思った。</p>
4. 職業理解能力	<p>社会生活や職業生活について</p> <p>2年 ストレスをためないように気をつけることができるようになった。</p> <p>2年 毎日働くことが大変だと分かった。</p> <p>3年 コミュニケーションが必要だと思う。</p> <p>3年 社会生活や職業生活を理解できた。</p> <p>4年 敬語をお客様や上司に使うことで、社会生活においても、きちんとした言葉遣いをするようになった。</p>

(表7：就業希望者の自由記述 前半)

能 力	具体的に考えてみよう。
5. 役割 把握・認識能力	社会で自分の果たすべき役割について  2年 分からない。  3年 自分ができることはする。難しいことでも、何回もして考えて覚えようとする。  3年 現在の仕事内容を着実にやり遂げる。  4年 仲間とともに協力して仕事をする。助け合いは本当に必要です。
6. 計画 実行能力	目標とすべき将来の生き方や進路について  2年 今の職場で、いろんな人の目標を聞くことができる。  3年 人ともっとコミュニケーションを取ることで、コミュニケーションスキルを上げて、役に立てたい。  3年 人に「ありがとう。」と言われる仕事に就きたい。  4年 たくさんの人と触れ合うことで思いやりを知ることができたので、今度は私が人のために何かをできる人になりたいです。
7. 選択 能力	様々な職業を比較し、自分で判断した自分らしい選択について  2年, 3年 現在の就労先は進路候補と考えない。  3年 現在の就労先は進路候補と考える。  4年 現在の就労先は本当にいい人たちばかりである。大学進学後に別のところで働くことになっても、現在の職場のような環境を作りたい。
8. 課題 解決能力	希望する進路の実現に向け設定した「課題」について  2年 どんな人ともコミュニケーションを取る。  3年 コミュニケーション能力を高める。  3年 もっと努力して自分ができることを増やしたい。  3年 もっと人と話せるようになる。  4年 人が嫌がることでも率先してやる。

(表 8 : 就業希望者の自由記述 後半)

② 進学者の自由記述について

能力	具体的に考えみよう。
1. 自他の理解能力	自己理解を深めることについて 4年 オープンキャンパスに参加し、勉強の仕方について知り、自分に最適だと思いました。 4年 進学先は自分に合ったところだと思うので、がんばりたい。 4年 自分に対して疑問を持ち、自分に問いかけることが大切だと思うようになった。
2. コミュニケーション能力	自己の成長について 4年 オープンキャンパスに参加し、進学先の短期大学は、自らが成長していくことができる所だと思いました。 4年 目的や目標を設定し達成することで自己の成長につながっている。
3. 情報収集・探索能力	自己の進路や生き方について 4年 進学先で、資格を取得し、将来の仕事を見つけたいと思いました。 4年 進学先でたくさんのことを学びたい。そうすれば、進学先は自分にあった所だとさらに思うようになるんだと思う。
4. 職業理解能力	社会生活や職業生活について 4年 オープンキャンパスに参加し、将来の生活を想像し期待することができました。 4年 学校生活が、現在の夜間から進学先の昼間に変わる。いろいろな体験をしたい。
5. 役割把握・認識能力	社会で自分の果たすべき役割について 4年 誰かのために何かできる人間になりたいです。 4年 人との関わりで自分の役割が分かってくるのだと思います。それを探し見つけるのは楽しみです。
6. 計画実行能力	目標とすべき将来の生き方や進路について 4年 人と助け助けられて、みんなで頑張りたいです。思いやりのある人間という生き方で！ 4年 夢中になることができる目標を立て、それに向かってがんばりたい。
7. 選択能力	様々な職業を比較し、自分で判断した自分らしい選択について 4年 第1志望です。
8. 課題解決能力	希望する進路の実現に向け設定した「課題」について 4年 勉強をして資格を取り、それを活かして就職をする。いろいろな人と交流し人間力を高める。

(表9：進学希望者の自由記述)

③本校定時制のキャリア教育自由記述について

能力	具体的に考えてみよう。
1. 自他の理解能力	<p>自己理解について</p> <p>1年 朝が弱いことを改めて認識した。</p> <p>2年 自分の弱いところがあった。</p> <p>3年 休みがちの私でも登校できている。</p> <p>3年 数学のできなかつた問題がちょっとだけできるようになった。</p> <p>3年 短気, 無責任</p> <p>3年 自分が, どんなことが得意なのか, また, 何が苦手なのかが分かった。</p> <p>4年 高校に通う4年間で, 自己理解が深まり成長できた。</p>
2. コミュニケーション能力	<p>人間関係について</p> <p>1年 人間関係を築くことはできたが, その人間関係は豊ではないと思う。</p> <p>自己の成長について</p> <p>1年 がんばってバイトに行っている。</p> <p>3年 中学校のときはできなかつたが, 高校では先生たちと話ができるようになった。</p> <p>3年 漢字を覚えた。(本校では, 全学年で, 教科にかかわらず, 授業2限目の最初10分に「漢字スキル学習」を実施している。)</p> <p>3年 応答できるようになった。</p> <p>3年 どんな風に話せば人に伝わるのか分かった。</p> <p>4年 考え方も変わり, 成長できたと思う。</p>
3. 情報収集・探索能力	<p>自己の進路や生き方について</p> <p>1年 県内で働きたい。</p> <p>3年 (学校は,) 今何になるか迷っている私にいろいろなことを教えてくれたり考えてくれたりしている。</p> <p>3年 なるべく人に頼らない。</p> <p>3年 イラスト関係の専門学校へ進みたい。</p> <p>3年 県外へ行きたい。</p> <p>4年 大学へ行き, 2年間たくさん勉強し, 将来誰かのために何かできる人になりたい。</p>
4. 職業理解能力	<p>社会生活や職業生活について</p> <p>1年 給料を貯めていろいろな物を買いたい。</p> <p>3年 その場の空気を読む。</p> <p>3年 学校のみんなど話することができる。</p> <p>3年 社会生活や職業生活について理解できる自信がない。又は理解できていない。(未就者)</p> <p>3年 仕事をしている人は大変だなと知った。(未就者)</p> <p>4年 バイトを通して, 仲間の大切さをよく知ることができた。</p>

(表10: 本校定時制のキャリア教育の自由記述 前半)

能 力	具体的に考えてみよう。
5. 役割把握・認識能力	<p>社会で自分の果たすべき役割について</p> <p>3年 勉強をもっとがんばる。(2名)</p> <p>3年 がんばってお金をかせぐ。</p> <p>3年 自分の果たすべき役割を見つけられていない。</p> <p>4年 弱い人が言い込められている場等に出会ったら、助けに入ることができる人になりたい。</p>
6. 計画実行能力	<p>目標とすべき将来の生き方や進路について</p> <p>3年 勉強をもっとがんばる。</p> <p>3年 いっぱい仕事して、家建てて、欲しいものを買う。</p> <p>3年 一人暮らしができなくとも、自分の分は自分でどうにかできるようになりたい。</p> <p>3年 仕事と趣味の両立をする。</p> <p>4年 大学を卒業し、会社に入り、多くの人と出会いたい。その中で、自分も成長し、人を幸せにしてあげられる人になりたい。</p>
7. 選択能力	<p>様々な職業を比較し、自分で判断した自分らしい選択について</p> <p>3年 いろいろ考えて自分がしたいことを見つけている。</p> <p>3年 自分らしい選択とは何か分かりません。</p> <p>3年 進学をして得意なことを増やす。</p> <p>4年 自分らしい選択とは、大学へ行くこと。高校4年間で、自分が変わっていくのが分かり、成長を実感することでさらにがんばろうと思うようになった。</p>
8. 課題解決能力	<p>希望する進路の実現に向け設定した課題について</p> <p>1年 高校を卒業すること。</p> <p>3年 人ともっと話すことができるようになる。</p> <p>わからないことを減らす。</p> <p>3年 コミュニケーション能力を高める。</p> <p>自分の力で通学する。</p> <p>4年 自分自身を向上させること。勉強をして資格を取ること。いろいろな体験をすること。</p>

(表 1 1 : 本校定時制のキャリア教育の自由記述)

## 5. 今後の課題

昨年度まで、「振り返りシート」を活用してきた。各生徒に、1つの学校行事に対して、1枚の「振り返りシート」を準備し、下記の三点に関して記述をさせ、各自のファイルに綴じさせていた。

1. どんな「知識・技能」を習得することができたか。
2. どんな「思考力・判断力・表現力」を伸ばすことができたか。
3. どんなことをすることによって、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけたか。

今年度、この「振り返りシート」は、「キャリアパスポート」へと移行した。

来年度以降も、各学年末に、今回実施した「ループリック評価」と「自由記述アンケート」を実施し、集計後はアンケート用紙を生徒に返却し、各自の「振り返りシート・キャリアパスポート」ファイルに綴じさせることにより、生徒自身が4年間でどのように変化・成長しているのか可視化できるようにしていきたい。

## ④ 鳴門高等学校定時制課程

### ○進路講演会について

#### 1 目的・ねらい

本校生徒は就労意識が低く、入社し3年以内で退社する卒業生が、毎年1, 2名いる。外部講師を招き、講演を通して生徒の就労意識の向上を図る。

#### 2 内容

会社の社長等を講師として招き、社会人として守らなければならないことや、社会人になるにあつたての心構えについての講演を実施する。

#### 3 取組

令和2年11月17日(火)に講師として、株式会社四国建工の専務取締役の岡田宏行氏を招き、「働くうえでの心構え」をテーマにした講演を実施した。

#### 4 成果

正社員とアルバイトの違いについての説明は、今後の自分の進路決定に役だったかという質問に対して、役に立った11名、少し役に立った30名で、合計生徒数は41名(94%)だった。この進路講演会の印象はどうでしたかという質問に対して、満足している11名、少し満足している28名で、合計生徒数は39名(91%)だった。来年度も進路講演会を実施してほしいですかという質問に対して、実施してほしい生徒数は38名(88%)だった。

ほとんどの生徒が、自分の進路決定に役に立ったと感じている。





## ルーブリック評価

資質・能力	行動目標	A	B	C	D
知識・理解	働くうえでの心構えを答えられるか (発表できるか)	答えられる 3名(7%)	ある程度 答えられる 14名(33%)	あまり答えられない 15名(34%)	答えられない 11名(26%)
	正社員とアルバイトの違いを答えられるか (発表できるか)	答えられる 4名(9%)	ある程度 答えられる 19名(44%)	あまり答えられない 11名(26%)	答えられない 9名(21%)
計画力	正社員とアルバイトの説明は、今後の自分の進路決定に役立ったか	役に立った 11名(26%)	少し役に立った 29名(68%)	あまり役に立たなかった 2名(4%)	役に立たなかった 1名(2%)
実行力	この進路講演会の印象はどうだったか	満足している 11名(26%)	少し満足している 28名(65%)	あまり満足していない 3名(7%)	満足していない 1名(2%)
主体性	来年度も進路講演会を実施してほしいか	実施してほしい 38名(88%)			実施してもらいたくない 5名(12%)

## 5 今後の課題

働くうえでの心構え、正社員とアルバイトの違いは、口頭での説明だったため、答えられない生徒が約半数いた。メモ用紙を渡し、記入する指導をしたが、ほとんど書けない生徒がいた。社会人になったとき、口頭だけで説明される場面がある。人の話をよく聞き、話された内容の中で大事な部分を瞬時に分析し、理解する能力を身につけさせる指導がかなり必要だと感じた。



## ○進路開拓について

### 1 目的・ねらい

就職希望者の受験企業先の選択肢を増やすために、鳴門高等学校定時制単独求人票を確保する。

### 2 内容

進路指導担当教職員が進路先開拓のため、企業・事業場を訪問する。

### 3 取組

令和2年12月23日（水）から25日（金）に2泊3日で大阪府の企業13社を訪問し、次年度の求人票を依頼した。また、卒業生が働いている企業は、卒業生の動向調査を行った。

#### 12月23日（水）

株式会社にしけい大阪支社、佐川急便株式会社大阪支社、  
国際セーフティ株式会社大阪本社

#### 12月24日（木）

株式会社ダイロック大阪本社、つるや株式会社大阪本社、  
日本ビューホテル株式会社大阪支店、アンダーツリー株式会社大阪本社、  
株式会社サカイ引越センター大阪本社、フジアルテ株式会社大阪本社

#### 12月25日（金）

株式会社ハリアー研究所大阪支社、日本駐車場開発株式会社大阪支社、  
株式会社マルハン大阪支社、株式会社オンテックス大阪支社

### 4 成果

新型コロナウイルス拡大に伴い、会社の業績が悪くなり、5社からの求人がなくなるなか、鳴門高等学校定時制単独求人数が昨年度より多くなった。県内求人票獲得のために大阪本社徳島支店の会社を訪問した。また、東京・大阪を希望する生徒が毎年1人はいらるため、東京本社大阪支店の会社や大阪本社の会社を訪問した。本年度県内求人票は、17社19求人（昨年度14社14求人）、県外求人票は、7社8求人（昨年度6社7求人）だった。就職希望者の企業選択肢が増えたと考えられる。

### 5 今後の課題

生徒数が増加傾向にあるために、企業開拓を積極的に行い、鳴門高等学校定時制単独求人票を増やす必要がある。

求人票をもらえた会社が、働きやすい会社かどうか、ホワイト企業かどうかはわかるのは、実際に生徒が入社し、生徒からの情報が確かである。新規開拓をしているが、定時制や定時制の生徒に対して偏見や差別を持っている企業は実際にある。生徒には、よい企業を紹介したいと考えている。

## ⑥ 名西高等学校定時制課程

### ○インターンシップモデル授業

#### 1 目的・ねらい

本校生徒は、高校卒業後の進路として就職を希望しているものが多い。しかし、就職活動をするにあたって多くの生徒は「働くこと」に対してイメージがつかずに不安に思っている。そこで進路選択の前にインターンシップを経験し、実際に自分自身の目で見て、体験させ、感じさせることで就労意識を向上させる。

#### 2 内容

さまざまな職種から講師を招き、その職業の一端を体験し、職業観を育成するとともに卒業後の進路を考える一助とする。

#### 3 取組

日時 令和2年11月16日（月）18：10～20：40

講師 県生活衛生営業指導センター，県安全衛生課，理容組合，美容組合，  
クリーニング組合，すし商組合，社交飲食組合，料理業組合

#### 【実施内容】

組合名	実施内容
理容	カット（ウィッグ），セット技術，ネイルピカピカ体験
美容	ワインディング（パーマ），編み込み等のまとめ髪体験
クリーニング	プロのカッターシャツ仕上げ，アイロン体験
すし飲食	にぎり寿司体験
社交飲食	カクテルの実演及び体験
料理	手打ちそばの実習体験



#### 4 成果

家庭では使い慣れていない，職業人が使う調理器具を使い，調理の楽しさや面白さ，また，安全で安心な商品づくりの難しさを体験したり，プロの技術を間近で見ることによってその仕事をイメージすることができた。

##### 【生徒の感想】

- ・体験できて楽しかったけど仕事は難しい。
- ・少し大人になった感じ。
- ・他の仕事もしてみたかった。

#### 5 今後の課題

今回の授業を受けたことで，自分に足りないものは何かを気づけたのではないだろうか。得手・不得手を把握することで人間は成長につながっていく。その意味では生徒たちにとって普段の机上での学習とはまた違った良い成果が得られたことだろう。進路選択について考えるための貴重な時間となった。今後も生徒が主体的に活動できる場の設定を行い，キャリア教育を一層充実させるため，学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいきたい。

## ⑥ 池田高等学校定時制課程

### ○職業体験・職場見学・ビジネスマナー講座等について

#### 1 目的・ねらい

社会人・職業人として求められる資質・能力，世間の動向や労働者の権利等の理解を深め，実際の仕事や職場の雰囲気に触れることにより，主体的な進路選択に繋げる。

#### 2 内容

事業所訪問による職業体験や職場見学，アドバイザーによるビジネスマナー指導等を通して，社会人・職業人に求められる知識や心構え，行動規範等について学ぶ。

#### 3 取り組み

- ◇ 8月 ビジネスマナー講座Ⅰ「面接における注意点や，受験生としての心得講座」
- 12月 ビジネスマナー講座Ⅱ「社会人としての心構え講座」  
講師： ミズ・オフィス 代表 土居 珠見 氏
- ◇ 12月 職場体験・職場見学① コロナ禍のため開催できず
- ◇ 12月 職業体験・職場見学② コロナ禍のため開催できず

#### 4 成果

ビジネスマナー教室では社会人としてのマナーや心得について意識させることができたが，障がい者施設や3つの事業所で実施を計画していた職業体験や職場見学は，コロナの感染拡大防止のため開催できず，残念ながら就労への動機付け，働く意義等については，意識させることができなかった。

※事業実施後アンケート結果 抜粋 (とても思う+思う)

事業名	質問	肯定的評価
ビジネスマナー講座	社会人・職業人としての心得を考える機会になった	100% (56+44)
	コミュニケーションで気をつかおうと意識するようになった	100% (50+50)
	ビジネスマナーについて意識するようになった	100% (61+39)

#### 5 今後の課題

就労意欲が低い生徒も見受けられるため，入学後の早い段階で進路ガイダンスや職業体験・職場見学等を積極的に実施し，早期に進路意識を芽生えさせ，自分自身で進路選択しようとする意欲や態度の育成，継続して就労できる忍耐力を育成する必要がある。また，生徒の適性に応じて，職業とのマッチングについて考える機会を設けたい。

## 2) ソーシャルスキル向上指導

### ① 徳島中央高等学校定時制課程昼間部

#### ○人形劇団「とくしま中央一座」の取組

##### 1 はじめに

本年度は生徒たちの心の琴線を、幾つ？ かき鳴らすことができたであろうか。コロナ禍中での軒並み相次ぐ外部講演の中止に戸惑いつつも、何か、本年度の足跡を残したい、残さなければ……との思いで取り組んだ一年間であった。

当然、活動内容や活動時間の制約もあった。もちろん、この活動はあくまで生徒たちの主体的で深い学びに繋げなくてはならない。だが、3密を避け、部屋の換気を行い、マスクを着用しての舞台練習は、容易ではなかった。

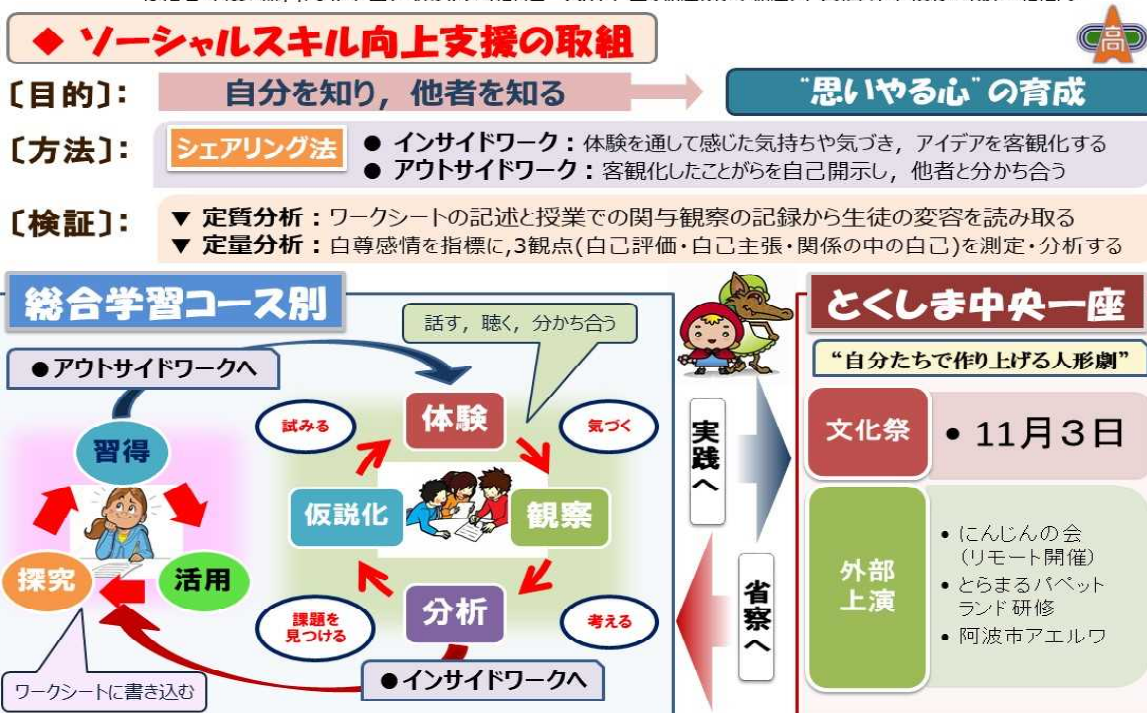
そのような中で第一に考えたのが、メンバーのモチベーションを保つことと、第二にポテンシャルを指導者が考えた上で、限られた練習時間の中で効率よく活動することであった。特に3年次は今年度限りで卒業となる。残された日々の時間という有限性と有効性を考慮し、本年度が、劇団創部10周年という節目にあたり、本事業の活動最終年度でもあり、活動の証しを残したいと考えた。

本人形劇団活動の取組の目的及びねらいについては、前年度（令和元年度）、一昨年度（平成30年度）の本事業の報告書でも記載させていただいているので割愛させていただく。（活動の概要については、「2 内容」で記載したポンチ絵を参照されたい。）

##### 2 内容

##### (1) 活動の概要

令和2年度「総合的な学習／探究の時間」コース別学習（徳島県立徳島中央高等学校定時制昼間部）





## (2) 活動スケジュール日程

月	日	曜日	行事予定	校時	場所
6月	5日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	8日	月	部活動	7限目	大会議室
	12日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	15日	月	部活動	7限目	大会議室
	19日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	22日	月	部活動	7限目	大会議室
	26日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	28日	日	阿波市こどもフェスティバル	中止	アエルワ
	8日	月	部活動	7限目	大会議室
	12日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	15日	月	部活動	7限目	大会議室
	19日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	22日	月	部活動	7限目	大会議室
	26日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	28日	日	阿波市こどもフェスティバル	延期	アエルワ
	29日	月	部活動	7限目	大会議室
7月	3日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	6日	月	部活動	7限目	大会議室
	13日	月	部活動	7限目	大会議室
	31日	金	第1学期終業式 ～8月24日	活動自粛	大会議室
9月	11日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	18日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	6日	月	部活動	7限目	大会議室
10月	2日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	27日	火	文化祭前特別時間割	11:30	大会議室
	28日	水	文化祭前特別時間割	11:30	大会議室
	29日	木	文化祭前特別時間割	11:30	大会議室
11月	3日	火	文化祭当日	10:30	大会議室
	6日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	8日	日	中央テクノスクール外部公演	中止	
	13日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	20日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	21日	土	とらまるパペットランド研修	中止	
	27日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
12月	6日	土	にんじんの会公演	リモート開催	
	18日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
	19日	土	阿波市吉野笠井図書館公演 とくしま中央一座反省会	中止 大会議室	
1月	15日	金	総合学習・総合探究の時間	4限目	大会議室
2月	13日	土	とらまるパペットランド研修	終日	とらまる公園
2月	27日	土	アートアクアリアム研修	終日	オーテピア西敷地
3月	1日	日	とくしま中央一座送別会	午後	大会議室
	中旬	日	阿波市こどもフェスティバル	終日	アエルワ

### 3 取組

本年度は、これまで取り組んできた絵本作品を題材とした人形劇から、完全オリジナル作品へと移行し、可能な活動日に練習を積み重ねてきた。年内に唯一開催できたのは、11月3日に公開無しで実施された本校文化祭での上演会のみであった。この日は3本立てで人形劇を行い、全てオリジナル作品を披露した。プログラムは以下の通り。

人形劇団とくしま中央一座 第1回上演会		
日 時	令和2年11月3日(火) 文化の日 10時30 開演	
1本目	チンアナゴきょうだいの誕生日	作：辰巳敏夫
2本目	ゴキブリーブリー	作：辰巳敏夫
3本目	おこもりチューくんとアマビエさま	作：辰巳敏夫

3本目に上演した『おこもりチューくんとアマビエさま』という作品は、ちょうどいま社会全体がコロナ禍ということもあり、疫病退散の神に肖って「STOP! 感染拡大 COVID19」を入場してくれた観劇者に呼び掛けた。



前述にも書かせていただいているが、本劇団「とくしま中央一座」も発足して10周年を迎えている。その矢先のコロナ禍の状況となってしまう、活動計画も二転三転し、外部公演の多くは中止となり、延期となったイベントや毎年12月に寄せて頂いているNPO法人「にんじんの会」(徳島県重度障碍児者の会)も、リモート開催での出演となった。それでも生徒たちは、リアル開催の日が訪れることを信じて個別練習や総合的な学習/探究の時間及び放課後における舞台練習に取り組んでいる。その熱心な気持ちに救われ、指導者たる私たちがシナリオを描いたり、演出を練ったりして、次の舞台イベントで生徒たちが活躍できる機会を夢み、余念なく指導に当たっている。



シナリオ：『おこもりチューくとアマビエさま』 作：辰巳敏夫

これは、令和の時代に入った頃のお話です。

徳島県の阿波市というところに、辰巳が森というカシの木やクヌギの木が生い茂った深い深い森がありました。

その森の奥に、一本、大きなクスノ木がありました。根元にはそこそこ大きな洞ほらがあつて、その洞にとっても臆病な一匹の野ネズミが住んでいました。名をチューチュー泣くので、チューくと森の間は呼んでいました。

最近、コロナ禍ということもあつて、チューくは以前にも増して、なかなか洞の外へ出ようとはしないようです。だから、いつしか森の間もそのチューくのことを、「おこもりチューく」とあだ名するようになりました。

「チューく、あーそーぼー」 高い窓から、クマくんが声をかけました。

「うう〜ん」 チューくはおおかた、昼間は眠っているので、クマくんの誘いにも、寝返りを打つだけです。

「チューく起きて〜」 こんどはウサちゃんが、低い窓から声をかけました。

「うう〜ん」 それでも、チューくは寝返りを打つだけです。

「だめだ〜こりゃ」 ハリネズミくんはあきらめの声をあげました。

また、クマくんが言いました。

「チューく、チューくてばー！ どうしてこのごろは、そんなふーに、昼間っから寝てばかりいるんだい？」

「起きろー！！」 ウサちゃんが大声で叫びました。

「うわー、だれだいっ！！ せっかく爆睡しとったのにー」 チューくは、ウサちゃんの大声で、やっと目を覚ましました。

「ごめん！」 ウサちゃんがチューくにあやまりました。そうして、森の間が、チューくのお家にぞろぞろと入って来ました。

「それにしたって、チューく。もうお昼だよ」 クマくんが言いました。

「お外でいっしょにサッカーやろーよー」 ハリネズミくんが期待をこめて言いました。

チューくは、ようやく体をおこして、

「ええー、ぼく、いやだー。こわいよー」 と、チューくが言いました。

「ん？ 何がこわいんだい？！」 クマくんが言いました。

「つい、この間までキミを追い回していたノラネコも、2、3日前に人間につかまって、どこかへ連れて行かれたしねー」 と、ハリネズミくんが言いました。

それを聞いて、チューくが、 「もっと怖いのが居るじゃないか！」

「えーっ、何？ いや、何者？」 ウサちゃんが驚いて尋ねました。

「キミたちも知ってるじゃないかー」 チューくんが言いました。

「お〜っ、それはひょっとしてー」 クマくんが声を低めて言いました。

「ア・マ・ビ・エ……さま？」 全員が声をそろえて言いました。

「そーさ、アイツさ。夜となく、昼となく、この辺りにもアイツがうろついているんだよ〜。こわ〜い！」  
チューくんは、今にも泣きそうです。

「あっはっはっはっ」 みんなが口をそろえて笑い出しました。

「みんなー、何で笑うのさ！」 「アイツは気味の悪い妖怪だろー。何をされるか？ わかったもんじゃない？  
ボクなんて、アイツにひとつまみにされてパクリさ」 チューくんは不安でたまりません。

「わっはっはっはっ」 みんなはお腹を抱えて笑いが止まりません。

と、そこへ (音楽弱) → アマビエさま登場

「ハハーッ」(チューくんだけが「ヒョエ〜」と言う) 森の動物たちはいっせいにアマビエさまにひれ伏しました。

「わらわは、いにしえより、この辰巳が森に棲まいしアマビエの神なり〜」 「ハハーッ」(いっせいに言う)

「ただいま、わらわのことで聞き捨てならぬことを耳にした。わらわを妖怪呼ばわりするのはダレじゃ」

「そっ、それはっ」 と、ハリネズミくんが言いました。

「こっ、この者でございます」 ウサちゃんがチューくんを指差しました。

「そうなのだナー」 チューくんはブルブル震えています。

と、そこでクマくんが言いました。

「アマビエさま！ この子はアマビエさまのことを誤解しているだけでございます」

「そーです。そーです」 と、ハリネズミくんが言いました。

「いや！ わらわも、その者を咎<sup>とが</sup>めに來たわけではなーい」 アマビエさまは、やさしく答えました。

「いま、この世の中の生きものたちがコロナ禍で困っている時に、わらわは、疫<sup>えき</sup>病<sup>びょう</sup>退<sup>たい</sup>散<sup>さん</sup>の神として、生きもの  
の命を奪う、いまましいコロナウイルスと闘っておる。その、わらわのことを妖怪變化の類<sup>たぐい</sup>として勘違いし  
ておる者がいるということに、わらわは耐えがたく思い、こうして出て参ったのじゃ」

「それは、もったいないことでございます」 と、ウサちゃんが言いました。

「もうし訳<sup>わけ</sup>ありませーん」 と、クマくんが言いました。

「えっ、そうなの？ アマビエさまは妖怪じゃなくて、神さまなの？」 と、チューくんが言いました。

「そ～じゃよ。信じてもらえるかの？」

「うん！ いえっ、はい！ ごめんなさい。そのルックスだから、てっきり妖怪だと勘違いしちゃって」

「よいよい。そーと解ったところで、今日からはさっそく、森の仲間たちと一緒に楽しく遊ぶのじゃぞ」  
アマビエさまは、やさしくチューくんに伝えました。

「はい！ わかりました」

「よかったー、よかった～」 森のみんなは、口々に言いました。

「よし！ そーと決まれば、チューくん、みんなで サッカーやろーよー」 と、ハリネズミくんが誘いました。

「よーし、みんな広場にあつまれー」 クマくんが、号令をかけました。

「おおー」 keyboard 39

森のみんなは元気よくいっせいに広場に出て、サッカーボールをはじめました。

「ケガをせぬよーに、気を付けるんじゃぞ～」 アマビエさまが、森のみんなに呼び掛けました。

「はーい」（全員が言う）

森の動物たちは、おこもりチューくを加えて、お日さまがとつぷりと暮れるまで、サッカーで楽しく、汗をかきました。アマビエさまは、そのような、目を細めながら、<sup>ほほえ</sup>微笑ましいお顔でみつめていました。

おしまい

《最後に全員で合唱》 「どーぶつっていいな」の合唱（CD 収録）

【「にんげんていいな」 山口あかり作詞・小林亜聖作曲の替え歌】

アマビエみていた なかまたち ちゅーくんごかいがとけて なかなおりー  
ゆーやけこやけで またあしたー まーたあしたー

いーいーな いーいーな どうぶつっていーいーなー  
みんなでなかよく ほかほかごはん こどもの帰りをまってるだろなー  
ボクもかえーろ おうちへかえろ でんでんでんぐりがえって バイバイバイ

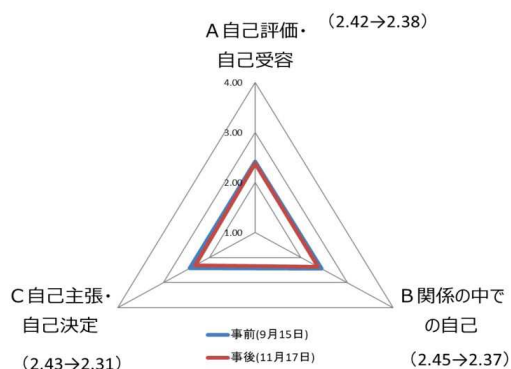
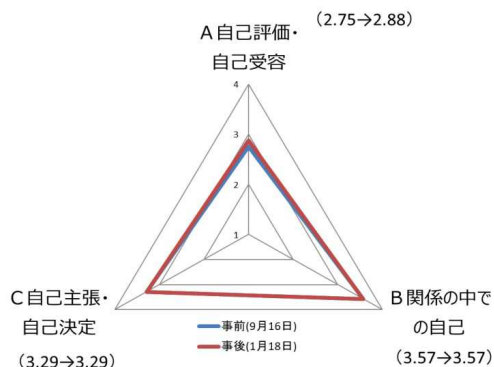
（-間奏-）

アマビエたたかっていた コロナ禍で みんなもマスクして よぼうするー  
ゆーやけこやけで またあしたー まーたあしたー

※（繰り返し）

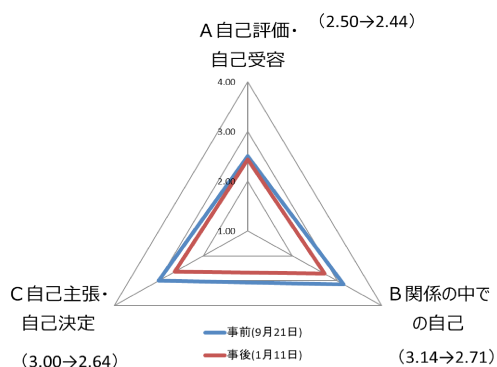
いーいーな いーいーな どうぶつっていーいーなー  
みんなでなかよくぼちゃぼちゃおふろ  
あったかいふとんでねーむるんだろなー  
ボクもかえーろ おうちへかえろ でんでんでんぐりがえって バイバイバイ

#### 4 自尊感情 3 観点の年度別の授業前後の比較

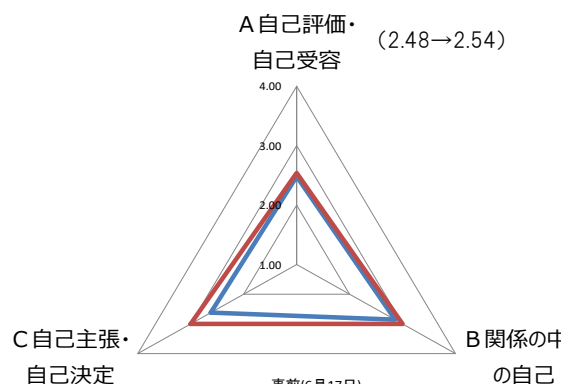


平成28年度 (n=5名)

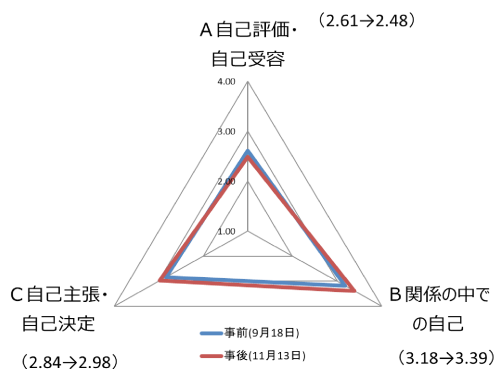
平成29年度 (n=6名)



平成30年度 (n=6名)



令和元年度 (n=9名)



令和2年度 (n=7名)

上記は平成28年度から令和2年度までのとくしま中央一座の活動について、受講生を対象に自尊感情を測った年度ごとの集計結果である。3つの観点(A：自己評価・自己受容、B：関係のなかでの自己、C：自己主張・自己決定)を示したレーダーチャートを見ると、平成28年のBC、平成29年度のC、平成30年度のABC、令和元年度のA、令和2年度のA、のそれぞれの観点で伸び止まりが生じた。これは、生徒たちのそれぞれの自己肯定感

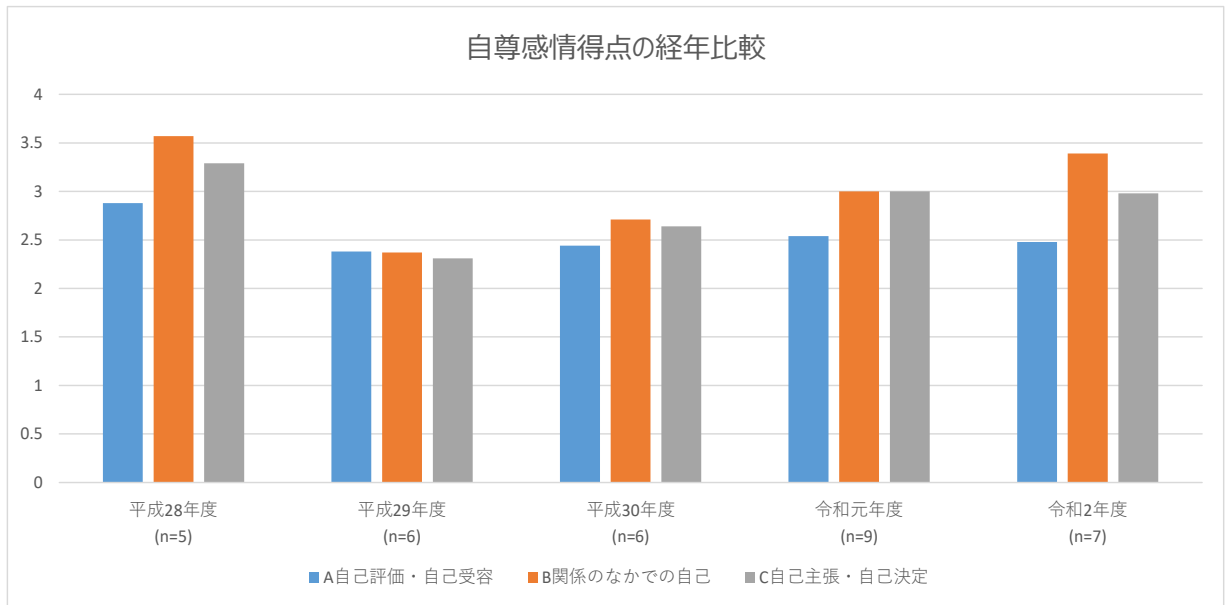
が取組前よりも取組後の方が低下したというのではなく、他のメンバーとの比較によって、「自分はまだまだ」と未熟さを感じたことや、外部公演で想定していた100パーセントの演劇ができず、達成感や成就感が十分に満たされなかったことに起因していると考える。メンバー構成からすると、平成28年年度と平成29年年度は、全くメンバーが入れ替わっている。その翌年の平成30年度は、全国高等学校総合文化祭長野大会に参加した年で、広い舞台で味わったことの無い緊張感と全国のレベルの高さを思い知り、自分たちの力の無さを生徒たちは実感したようである。ABCの3観点とも下げ止まりした結果とはなっているが、夢の舞台でさまざまな体験を積み重ね、精神的にも技術的にも確実に成長があったと確信している。その裏付けとなるのは、何よりも彼らの行動面の変化で、図書館に書店、保育園や市民活動センターなどの公共施設で堂々と人形劇が発表でき、物怖じをせずにイベント後の観劇をしてくれた方々との主体的な交流が図れていた。その姿を見ると、データに表れた数値は、彼らの自己に対する強迫的な期待感だったり、その裏返しとしてのフラストレーションの表出ではないかと考える。

特筆すべきは、令和元年度には外部公演を10箇所で行ったことに拠るのだろうか、公演後ではABCの何れの観点でも測定値が上昇した。上記アンケートにおける各28項目について、授業者は常日頃から意識付けを行ってきたし、それぞれメンバーが公演を通して努力を重ねてきたことにより、自覚と自信が備わってきたことが上昇の要因であると考えられる。個々にはABCのバランスに偏りの見られる生徒もいたが、集団の分析結果を見ると、3観点のバランスがほど良くなったのが特徴である。共に育ち、共に補い、人形劇団としてのチームワークが取れていたことが読み取れる。

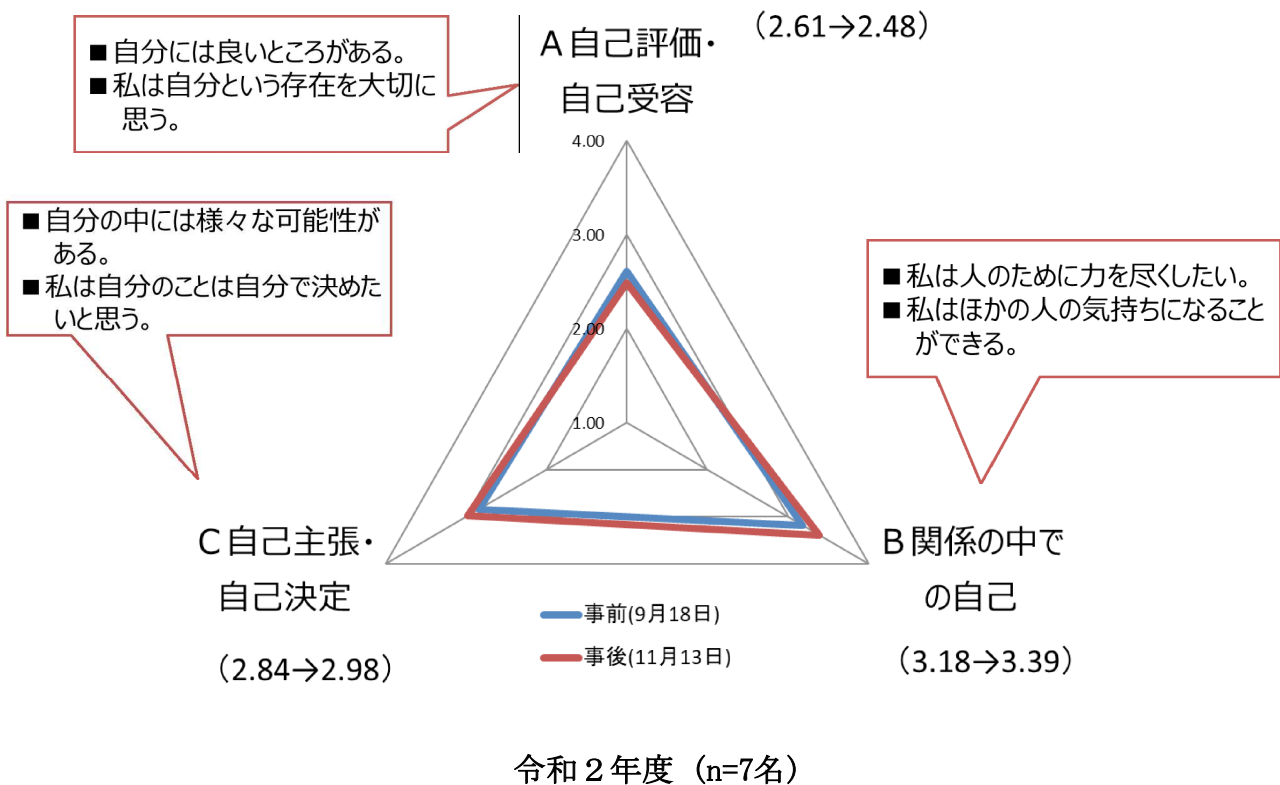
## 5 自尊感情3観点の経年比較

下記は、自尊感情3観点について授業後の得点を経年比較したグラフである。3観点のうちBの観点（関係のなかでの自己）が他の2観点よりも高いことが、すべての年度に共通した特徴である。人形劇団で仲間とともに、喜びや感激、苦しみや辛さをともにしながら取り組んできたことが、思いやりや自己効力感を培うのに効果的であったと思われる。また、平成28年度と令和2年度についてBの観点が突出しているのは、社交に優れたメンバーが多数在団していたことが要因と考える。特に、平成28年度は他年度に比べて3観点とも高いのは、上述した要因に加えて多くの外部団体と交流したためと思われる。





6 自尊感情3観点の授業前後の比較 (集団) n=7名



※ B Cの観点は上昇したが、Aの観点が下降に転じた。上記グラフの「自己肯定感尺度」と別途に採取した「授業振り返りシート」とでは、両者の結果に差異が見取れた。その考察については、次の「7 成果」の後半のところで述べたい。

## 7 成果

本年度は、入団2年目となる3年次生6名に加え、2年次生1名、計7名が活動してくれた。そのメンバーの殆どが小中学時代に不登校を経験し、本校に入学してこの活動に参加するまでは、自身が人前で表現活動をする事、つまり人形劇をすることになるとは、誰一人考えなかったという。そして、この活動が、不登校経験等による自身の心理的ダメージを癒す効果をもたらし、相手を思いやる態度や対話などのソーシャルスキルを高める成果をあげる結果となった。また、公共図書館や書店、障害者施設や保育園等々でのそれぞれの場所で出会う人々との交流や異世代間交流を通しての繋がったり、それぞれの立場や生き方に触れることで、生徒たちがこれまでに想像もしなかった社会観や人間観を育む機会となり、それらの変容を容易にしたと考える。

ただし、本年度はコロナ禍の影響で活動が制限され、外部公演においては身動きが取れなかった。年度初めの全国一斉の緊急事態宣言に伴う学校臨時休校。5月下旬から登校が再開されたものの、舞台練習すらままならない日々が続いた。さまざまな制限や新しい生活様式を遵守する毎日に、生徒たちも大きなストレスを感じていたに違いない。けれども、メンバーの誰一人として活動を「やめよう」「やめたい」という声を出さなかった。

それはやはり、社会全体に閉塞感が漂う中で、生徒たちにとっても、希望を見出せる唯一の光が、この人形劇の活動であったと言える。劇団顧問は、計画していた外部公演が相次ぎ中止となっていくにつれて、メンバーたちの意欲を喪失させないための工夫や次の目標を持たせてきた。具体的には、新しいシナリオの制作やパペットや小道具・大道具の作成をすること、実施できる可能性のある外部公演の提示を行うことである。

また、とくしま中央一座の活動を応援してくれている多くの本校教職員や本事業の高大接続連携でご指導いただいている鳴門教育大学の小坂浩嗣先生の励ましが、メンバーたちの活動意欲を鼓舞し、年度末となる今日までモチベーションを保たせる原動力ともなったと考える。

ところで、「6 自尊感情3観点の授業前後の比較(集団)」の「※」の箇所記した「自己肯定感尺度」と別に採取した「授業振り返りシート」とでは、差異が見取れたので、以下に挙げておきたい。

このデータの採取は、文化祭上演後の同日に行ったものであるが、「授業振り返りシート」において、文化祭上演を行った満足度について、メンバーの自己評価の集団平均は、4段階評価で、「3.43」となった。「自己肯定感尺度」で評価された「2.48」より、0.95ポイントも高かったことが分かった。

この差異について検討すると、コロナ禍による社会や学校における学習環境の変化を背景とした心理的影響が大きかったことが理由と考える。11月中旬の時期にあって、コロナウイルス感染拡大の第2波が押し寄せ、しかも、メンバーの多くが就職未内定であったことや、大学入試で合否が分かっていないタイミングで採取したことなど、メンバーは精神的に不安定状態にあり、自己を肯定的に捉えることが難しかったことが推測される。また、個々に不安定な心理状態だったゆえに、自意識過剰となり他のメンバーの回答を気に掛ける態度が見受けられた。同じテーブルで一人が「1」の箇所に○を付けると、他のメンバーが同調するように、同じような自己評価を付けている状況であった。人形劇を通じた活動に拠ってメンバーの一人一人が抱える精神的ダメージを癒やす効果がある反面、メンバ

一の精神的成長には機会と時間と労力が必要であることを知り得たことは一つの収穫であった。

メンバーたちの「授業振り返りシート」によると、「満足度」の理由について、「練習したことを発表できたから」「自分の役割を果たすことができた」「最後の文化祭なので楽しんでできた」「とてもやり切った感がある」「失敗なくできた」と記しており、本年度、開催が危ぶまれていた文化祭での上演会実施の意義は大きかったと考える。この劇団で培われた絆を、今後も紡いでいきたいと考える。

## 8 今後の課題

- (1) リモート上演に向けたICT活用技術の習得と動画における効果的な演出の工夫。
- (2) 生徒たちのアルバイトと本外部公演活動とのスケジュール調整。
- (3) 人形劇を通じての効果的な表現活動の探究及びさまざまな市民団体との交流を拡充すること。

新学習指導要領に掲げられている「主体的・対話的で深い学び」を総合学習・総合探究の時間における人形劇団活動の取組で実現するため、上記の3点を今後の課題にして探究していきたい。

## ○2年次「国語総合」科目における読み聞かせ絵本探求授業について

### 1 目的・ねらい

2年次「国語総合」科目等において、名作絵本に触れることで情操を豊かにし、生徒の自己有用感を高め、読書活動に親しむ態度を育成する。その中で、絵本作品について、テーマ・内容・登場人物・作者の思い等々をワークシートに記入させ、「生徒の気づき」を中心にフィードバックすることにより、絵本の世界を深く読み味わうとともに、物語作中に登場する主人公の生き方や考え方に思いをいたし、生徒一人一人が自らの人生を豊かに生きようとする元気や優しさを養う契機となればと考え、本事業の支援を受けて3年目の取組を実施した。

### 2 内容

これまで、読み聞かせボランティアグループの読み手の方々と、綿密な打ち合わせを行い、生徒たちの読書体験を積み重ねる取組を通して、言語感覚を養うことや自尊感情を高めることに繋げてきた。

そして、今年度は、「読み聞かせ授業」を実施するだけでなく、取り上げた絵本作品のストーリーやテーマ、主人公やその他の登場人物の生き方や考え方についてじっくりと読み味わい、作品世界を探求させることを生徒たちに試みさせ、ワークシートをもとに作品理解及びテーマへの考察を課した授業を昨年度に引き続き展開した。

以下、「3」の「取組」に、その授業活動で実施したインサイドワークによる振り返り



学習とアウトサイドワークによるフィードバックした内容を記した。

そして本年度はさらに、読み聞かせ授業の実施前と実施後で本事業の研究テーマとして  
いる生徒の「自尊感情の高揚」が図られたかどうかの測定を、「自尊感情測定尺度アンケート」  
(東京都教職員研修センターが考案し、鳴門教育大学 小坂浩嗣教授が本校生徒に  
そごう形で改編したものに、本校が独自にE S Dの理念を加えたもの)を用いて試みた。

### 3 取組

本年度も社会人の読み聞かせサークル「絵本読み聞かせグループかぶとむし」から講師  
を招き、年間9回の読み聞かせ授業を実施した。対象は2年次の「国語総合」の科目にお  
いてである。毎時間(指定された「絵本探求」の時間)、生徒は前半の時間に読み手の方  
からの「絵本の読み聞かせ」を聴き、後半の時間にその読み聞かせていただいた絵本作品  
のテーマや内容、作者の思いを個々の生徒が感じたままにワークシートに記入し、振り返  
りを行うという展開で授業活動を行った。

#### 資料1

※ 以下は、絵本探求ワークシートの記録(抜粋)

## 第1回絵本探求ワークシート

	絵本のタイトル	作者・絵・訳者など
第〔 1 〕回 10月29日実施	100万回生きたねこ 〔童心社〕	作 佐野量子 読み手 森住啓子 氏
心に残るフレーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泣くシーンがみんな大好きだったんだと伝わってきた。 ・大嫌いでした。(6)</li> <li>・「百万回も生きたんだぜ」「そう」(12) ・ねこははじめて生きたいと思いました。</li> <li>・死ぬのなんか怖くない。(2) ・ねこは1回も泣きませんでした。</li> <li>・はじめて自分のねこになりました。 ・ねこは100万回泣きました。(3)</li> <li>・ねこははじめて泣きました。(3) ・ねこは～なんて大嫌いでした。</li> <li>・海に出ている船乗りたちが猫を港へつれて行く。 ・ねこは自分が好きでした。(3)</li> <li>・ねこはその後生き返ることはありませんでした。(3) ・そばにいてもいいかい。(5)</li> </ul>	
印象に残った場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きたい」「自分が好き」というところ。 ・とらねこが白ねこと出会った場面。(2)</li> <li>・愛する猫になったとき、猫がなによりもいきいきとして描かれていたのが印象的だった。</li> <li>・最後は生き返らなかったこと。 ・王さまがねこを抱いたまま亡くなったところ。</li> <li>・赤ちゃんが出来たらとらねこが死ななくなったところ。</li> <li>・死んだ白ねこを抱いてとらねこが泣いたところ。 ・白いねこが亡くなった場面。(2)</li> <li>・手品つかいがねこを真っ二つにしてしまった場面。</li> </ul>	
それぞれの飼い主 について思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねこのことが大好きなのが伝わってきた。(9) ・どれも一方的だと感じられる。</li> <li>・みんなきらい。 ・ねこ思い。 ・みんな良い人だった。(3)</li> <li>・ねこが飼い主にとって大きい存在だった。 ・猫が亡くなって皆、悲しんだ。</li> <li>・ねこに嫌なことをしておいて、死ぬと泣くのはおかしい。</li> <li>・手品師の時とはとらねこがかわいそうだった。 ・人は勝手だなと思った。</li> <li>・小さな女の子は猫のことが大好きで、泣いた時も猫の毛で涙をふいているということ。</li> <li>・おばあさんの時以外、残酷な死に方をしているなどと思いました。</li> <li>・どろぼうの人はねこが亡くなった時に泣いていたからいい人なんだなあと思った。</li> <li>・おばあさんと女の子は猫が好きだったから死んですぐつらかったんだろうと言う気</li> </ul>	

	<p>持ちが伝わった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泣くほど大切ならもっと大事にしましょう。</li> <li>・船乗り，サーカスのところは酷だと思った。 ・どろぼうにも心があるんだなと思った。</li> <li>・人は愛着があった者が亡くなってしまおうと泣いてしまおうんだなと思った。</li> </ul>
とらねこについて 思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がすき。(3) ・りりしい。 ・気が強い。 ・強そうなねこ。 ・自由。</li> <li>・最後には白いねこを好きになり，初めて泣け，白いねこのところへいくことができた。</li> <li>・愛されて一方的に悲しまれることに何かを感じていたのかな。最後に失うつらさを知って，やっと生き物として死ねたのか。</li> <li>・家族ができて，自分より家族のことがの方が大好きになった。 ・毛並みがきれい。</li> <li>・飼い主は嫌いだが，自分のことは好きでいいと思った。(2)</li> <li>・白いねこのおかげでとらねこの生き方が変わった。 ・心強いねこだなと思った。</li> <li>・大切な相手を見つけて幸せになれてよかったと思う。(2)</li> <li>・100万回も生きて一度しか泣かないのはすごい。 ・寂しかったんだなと思った。</li> <li>・とらねこは自信過剰な人，ナルシスト(2)，子ども思い。</li> <li>・自分より好きな家族がきてよかった。 ・白ねこに会うまで孤独だったんだろうな。</li> <li>・白いねこの後を追うように死ねて，ある意味幸せだった。</li> <li>・白いねこの出会いを通じて成長したんだなと思った。 ・幸せになれてよかった。</li> <li>・100万回もよく輪廻転生したね。亡くなり方が途中まで不運だったけど最後は幸せそうよかった。</li> <li>・いろんな飼い主に飼われていたけど，最後は野らねことして生きていたので幸せそうと思った。</li> <li>・きれいだからとらねこが好きになった。 ・とらねこは嫌な人が多すぎると思った。</li> <li>・とらねこはそれぞれの飼い主に飼われていたときより，白いねこに出会い自ら幸せを見つけることができたから，もう生き返ることは無くなったんだと思いました。</li> <li>・今まで相手のことが嫌いだったのに，やっと白いねこのことを好きになれて幸せだったのかなと思った。</li> </ul>
白いねこについて 思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とらねこが初めて好きになれた相手。 ・塩対応キャラ。</li> <li>・愛するより愛されたいのか。 ・年老いて死んでしまって悲しい。</li> <li>・白いねこのおかげでとらねこの思うことが変わった。</li> <li>・「そう」しか言わなかったのに，「ええ」って言ったときどうしてだろうかわからんけど，くっついてよかった。</li> <li>・物静かなねこ。 ・相手に大切なことを教えてあげられる優しいねこだと思った。</li> <li>・とらねこの生活を一瞬で変えた。 ・無口だけどやさしい。</li> <li>・やさしいねこだと感じた。 ・きれいでおとなしいねこ。 ・クールなねこ。(2)</li> <li>・とらねこに気づかせてあげたのかなと思いました。 ・美しかった。(2)</li> <li>・かわいい。 ・優しくそうなねこ。 ・かわいくてかっこいい。</li> <li>・実は生き返る能力をもっているのかなと思った。</li> <li>・とらねこのことははじめから好きだったのか気になった。</li> </ul>
色づかい レイアウト 装丁(表紙デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても丁寧にとらがらの色を表現している。 ・死んだのに死を感じさせない。</li> <li>・優しくあわい色使い。(2) ・きれいな色使い。(2) ・あかるくて優しい。</li> <li>・ざっくりした色使い。場面1つ1つがわかりやすい。 ・特徴のあるデザイン。</li> <li>・少しイラストが怖いような気がするが，かわいい気もする。</li> <li>・現実味のある絵だけど優しいイラスト。 ・ふわふわしている優しい色。</li> <li>・猫以外の生物が描かれていない。タイトルの色が赤でわかりやすい。</li> <li>・シンプルで色使いがとてもきれい。絵がかわいい。 ・見やすい。</li> <li>・ちょっと黒っぽい。 ・良い色づかいで話がよくわかる。</li> <li>・見やすいキレイなデザインとイラストだと思います。</li> <li>・毛並み，色が本物みたい。表情がわかりやすかった。</li> </ul>
作者の思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ死ぬかわからないということ。 ・何度も心を壊されたとか，実体験を例えたもの。</li> <li>・自分のことだけでなく周りもみることの大切さを伝えたいのかな。</li> <li>・自分に大切なものがあるという大事なことを伝えようとしている。</li> <li>・作者はねこが好きなんだと思った。(2) ・命について描いたんだと思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなねことあったらどこまでもいける。 ・家族の大切さを教えてくれる。(2)</li> <li>・動物の思いがわかるように書いた。 ・大切なものは最後までたいせつにする。</li> <li>・自分も大切に、相手も大切に、一度の人生を大切にしてほしい。</li> </ul>
テーマについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の望むもの。 ・生き返るねこ。 ・人と関わることの大切さ。</li> <li>・何度も失敗をしてやっと答えが出てくるようなイメージ。</li> <li>・人生をやり直すことが多いなって思いました。</li> <li>・100万回も？と思ったけれどいいお話だった。</li> <li>・大切なものを失って初めて気づく気持ち。</li> </ul>
感想・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命は大切に扱うものと思った</li> <li>・誰かに求めるより自分を愛する姿もよいシーンだったし、最後に自分の望んだ終わり方ができたようなところがすごくよかった。</li> <li>・はじめて愛を知り、人の気持ちがわかるようになったのは大切だと思った。</li> <li>・悲しみや喜び、愛を知ったことで、人を思いやることをより大切だと思った。</li> <li>・自分の飼っているねこが自分を好きになれるくらい大切にしたいと思った。</li> <li>・何回死んでも泣かないのに、やっぱり自分の好きな子が死ぬのは泣くんだって思うところの話は深いかなって思う。</li> <li>・みんな良い人なのに、みんなきらいってところが少し面白かった。</li> <li>・好きな猫がいたらなんでもできるんだなと思った。</li> <li>・100万回も生きただけ本当はさみしかったのかな。白いねこと死ねてよかったな～。</li> <li>・自分よりも大事な人ができて自分以上のものがあるってよく理解できたんだろうな。</li> <li>・白いねこと出会って変わって行ってよかった。白いねこを大好きになってよかった。</li> <li>・読み方がひとつひとつ感情が入っているようで、とても話がわかりやすかったです。</li> <li>・白い猫と天国で楽しく暮らせてるといいね。</li> <li>・とらねこがはじめて生きたいと思えるものに出会えた。</li> <li>・インパクトのあるタイトルだと思った。 ・人生は何万回もやり直せるという主張！</li> <li>・生き返らなくなった理由が気になる。 ・最後に家族もできて良い話だった。</li> <li>・ねこは人が嫌いだったけど、最後は白ねこに出会えハッピーエンドでよかったと思いました。</li> <li>・1回読んだことがあるが、2回目でも感動する話と思いました。</li> <li>・読む方の声も、ゆっくりで感情がこもっていたので聞き取りやすかった。</li> <li>・話を聞いているうちに、絵本の中に引きこまれているような感じがした。</li> <li>・泣きました。 ・最後、感動。 ・生きることは大切だなと思った。</li> <li>・はじめて見た本でした。 ・とらねこの気持ちがよくわかった。</li> <li>・何回も読んだことがあるけれど、毎回泣いてしまう、1回の人生を大切に生きていきたいと思った。</li> <li>・すごく丁寧に読んでくださったので、とてもわかりやすかったです</li> <li>・自分は死んだことはないけど、もし生き返ることができるのなら一回死んでみたい。</li> </ul>

※ 自分の気づいたことを、自分の言葉で書いてみてください。それでかまいません。それでいいのです。自分の心に尋ねてみてください。



第1回読み聞かせ授業で朗読して下さる「絵本読み聞かせグループかぶとむし」の森住啓子氏

## 第2回絵本探求ワークシート

	絵本のタイトル・読み手	作者・絵・訳者など
第〔 2 〕回  11月5日	泥かぶら 〔瑞雲舎〕  読み手 藤川 眞弓 氏	原作 眞山 美穂 文 くすのき しげのり 絵 伊藤 秀男
心に残るフレーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を上げて自信を持て。 ・人はいつでも変わる。 ・お月様いくつ。 ・あたい。</li> <li>・泥かぶら。(2) ・キレイになりたい。 ・みにくい。 ・平気だよ。</li> <li>・どんな時もニコリ笑うこと。(4) ・人の身になって思うこと。</li> <li>・汚いのはお前の心じゃ。(2) ・顔というのは変わるものじゃ。</li> <li>・絵本の中で歌ってたもの。 ・積み重なれば・・・。 ・笑顔・親切・良い子だ。</li> <li>・一人ぼっちの泥かぶら。 ・優しい心は優しい心と呼ぶ。</li> <li>・ひとの身になって思うこと。 ・だれでも美しくなれるのじゃ。</li> <li>・仏様のような美しい子。 ・顔を上げにっこり笑う。 ・中盤から終わりまで全部。</li> <li>・人に親切にすることで美しくなれるということ。 ・村の人たちとお別れするところ。</li> <li>・心の泥を落とせば誰でも美しくなれる。 ・最後のページの言葉がすごくよかった。</li> <li>・老人が泥かぶらに優しい言葉をかけたところ。 ・ばかやろう。</li> <li>・さんざん悪いことをしてきた分いいことをするのも一苦勞。</li> </ul>	
印象に残った場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥かぶらが自分自身を変えた時。 ・旅の老人との出会い(3)</li> <li>・最後の泥かぶらの顔がかわったところ。 ・ありがとう。</li> <li>・人の身になること。 ・次郎兵衛とのやりとり。次郎兵衛との別れ。(2)</li> <li>・おまえは良い子だ良い子だ、どんな時も笑顔でいなさい、とおじいさんが泥かぶらを論ず場面。</li> <li>・バカにされる場面。 ・こずえが泥かぶらに罪をなすりつける場面。</li> <li>・逃げてきたこずえをかばってぶたれたところ。(7)</li> <li>・泥かぶらが泣きながら老人にすがりついたところ。</li> <li>・泥かぶらがみんなに愛されたシーン。 ・こずえが泥かぶらに謝ったところ。(2)</li> <li>・毎日毎日笑顔を絶やさずにいることなど、おじいちゃんの3つの教えのこと。(5)</li> <li>・次郎兵衛と出会って次郎兵衛が悪人から良い人変わっていくところが心に残った。(2)</li> <li>・どれだけいじられても泥かぶらが人前で泣かないことが心に残った。</li> <li>・泥かぶらのためを思って次郎兵衛がどこかに行ったところ。</li> <li>・泥かぶらが最後に自分の顔を見るシーン。 ・次郎兵衛の置き手紙。(2)</li> <li>・次郎兵衛に連れていかれるときに、村の皆が泣きながら止める場面。</li> <li>・おじいさんからきれいになるためにはどうするか泥かぶらは聞いて、必死にきれいになろうと協力をして、ずっと悪口をいわれても我慢をしていたところ。(2)</li> </ul>	
泥かぶらについて 思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を言われても動じない。 ・一人ぼっちでかわいそう。(2)</li> <li>・口が悪い、男勝り、いじめられている子。 ・良い子。 ・強く勇ましい子。(2)</li> <li>・最初はバカにされていたが物語がすすむほど良い感じになっていった。(2)</li> <li>・旅の老人に会って自分のこと、他の人のことを考えられるようになった。やさしくなった。</li> <li>・一人きりでも周りに流されずがんばってるんだと思った。</li> <li>・村の人々から嫌われていたが、人に好かれるように努力してきた。</li> <li>・強がりだけど、すごく優しい子。(2) ・芯がとても強い子。(3)</li> <li>・辛いことをずっと我慢してふんばれたのがすごい。</li> <li>・美しくなるために、ずっと笑顔と親切をくずさずにいるのはすごいと思った。</li> <li>・本当に仏のような心の美しい女の子だと思いました。</li> <li>・最初泥かぶらは、乱暴な子だったが、旅の老人との出会いがきっかけで明るい優しい子になった。</li> <li>・泥かぶらは変わることができてすごいと思った。 ・かわいそうと思った。(2)</li> <li>・最初は皆にいじられ嫌われ者だったが、最後は村の人からも親しまれ優しい泥かぶらになった。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人に言われたからといってできるものではないので、泥かぶらは素直ですごいと思った。</li> <li>・いつも笑顔で明るい。 ・いやな顔せず何でもすることがすごいと感じた。</li> <li>・すごく心のきれいな人だと思った。 ・変わろうと思って変わるのがすごいと思った。</li> <li>・最初見たとき男かと思ったけど女の子だったのがびっくりした。</li> <li>・誰にでもやさしくするのは誰しもができないからすごいと思った。</li> <li>・とてもつらかったと思うけど、そのつらい思いを乗り越えて頑張っていた。</li> <li>・自分を嫌っていたのに、耐えて自分自身を変えていくのがいいなと思った。</li> </ul>
<p>旅の老人について 思うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありのままを言っていた。 ・やさしい祖父のような存在。(2) ・すごく良い人。(6)</li> <li>・良いこと言うなと思った。 ・心のキレイな相手のことを思える人だと思った。</li> <li>・やさしい。(3) ・泥かぶらに生き方を助言した人。</li> <li>・主人公が変わるきっかけになれた人。この人がいないと主人公はどうなっていたのだろう。</li> <li>・泥かぶらにいろんなことを教えて強くした。 ・老人の過去が気になる。</li> <li>・優しいおじいちゃんによかった。 ・親切だなと思った。 ・仏のような人。</li> <li>・3つのことを話す姿はどの大人、人間にもできないことで、泥かぶらの人生を変えたい人。</li> <li>・人間は本来、美しく豊かに生きるということを泥かぶらに教えていたと思った。</li> <li>・「泥かぶら」と呼ばれていた女の子の人生を変えたとてもいい人。</li> <li>・見た目ではなく心を見るととてもいい人。泥かぶらを変えてくれた人。</li> <li>・旅をしているからこそ、人の醜さや美しさを知っている。 だから泥かぶらにやさしくできるんだと思った。</li> <li>・泥かぶらを通して顔を変えなくても心が良ければ、必ず仏のような人になれると言ってくるととても優しいと思った。</li> </ul>
<p>こずえについて 思うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良くなった。 ・口が悪い。いじめっ子。 ・自分が悪いことをして気づいた。</li> <li>・最初はすごいいやらしかったけど、泥かぶらと出会ってちょっと変わっていった。</li> <li>・人に罪をなすりつけて、尚かつものでつった風に見えた。</li> <li>・一番ひどい人だとは思った。罪悪感で動き始めるが、主人公でなければ許さなかったと思う。</li> <li>・悪い子から泥かぶらのおかげで優しい子にかわった。 ・悪い子だったが、根は良い子。</li> <li>・ひどい人間だけど、反省して泥かぶらに謝れて変わったと思います。(2)</li> <li>・自分のしたことの過ちに気づいてちゃんとあやまっていた、ほんとはいい子なんだろうなと思った。</li> <li>・最低。自己中心的な女の子。 ・性格悪いけどきちんと謝っててえらい。</li> <li>・自分のことしか考えず、人のことをバカにする卑怯な子だったが、最後にはあやまって印象が変わった。</li> <li>・自分でお父さんの茶碗を割ったのに、泥かぶらが人質になって殴られてかわいそうとは思ってたけど、夜暗い道一人で泥かぶらに必死で謝っていたところが一番印象に残りました。</li> <li>・よく謝りにいったと思った。 ・将来悪女になるんだろうな。 ・根は悪い人ではない。</li> <li>・泥かぶらの優しさに感動し、こずえも優しい友思いな子になった。</li> <li>・反省(?)はしてよかったです。 ・ひどかったけど優しくなった。</li> <li>・いじめていたのを自覚して、泥かぶらに謝り反省しているのがわかった。</li> <li>・初めは悪口を言ってバカにするような子だったけど、最後らへんから泥かぶらと遊んだり仲良くなったからよかったです。</li> <li>・自分が悪いことをしたのにしっかりと自分が悪いことをしたと反省し、その思いを自分が大切にしていた物をあげるのはすごく良かったと思う。</li> </ul>
<p>次郎兵衛について 思うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥かぶらに対して次第に心を開いていく。 ・優しい人。社会の生き方を知っている。</li> <li>・昔は悪いことばかりしていたけど、泥かぶらと出会ってすごく変わっていった。やさしくなった。(3)</li> <li>・案内良い奴。 ・この後どうなったか気になる。</li> <li>・人買いで人を疑うことを続けてきたことで、人を信じられなくなった所を、泥かぶらとの旅で心が洗われた。改心することができた。</li> <li>・変わるきっかけができて良かったと思う。どこかで優しさを求めていたんじゃないかと</li> </ul>

	<p>感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泥かぶらが嘘をついていないことから優しい心を知り、泥かぶらを守った。</li> <li>・人をだましてきて人間不信だったけど、泥かぶらだけには心を開けた。この人も泥かぶらに変えてもらった。(2)</li> <li>・生まれて初めて人に親切にすることが命がけなのに、それでも泥かぶらのためにしたのはすごいと思った。</li> <li>・最初の泥かぶらに似ているなど思いました。 ・心変わりがはやい。</li> <li>・泥かぶらによって心があたたかく変わった。根は多分いい人だと思いました。</li> <li>・悪い人だったけど、いい人になった。 ・良くないことから足を洗った。</li> <li>・だましたりしていたら何でも疑ってしまうんだなと思った。</li> <li>・泥かぶらに影響されて優しくなっていたなと思った。</li> <li>・結局、子どもを置き去りにしただけな気がします。</li> <li>・心から考えを変えられる強い心の持ち主。 ・いいやつ。 ・一緒に過ごしてほしかった。</li> <li>・やさしさを少しでも取り戻して、泥かぶらを守ったことに感心した。</li> <li>・思ったより優しい人かもしれない。(3) ・本当の父さんみたいになっている。</li> <li>・悪いことをしても自分にされたらと思うようなことを見直して、自分自身を変えようとしていて人は変わるんだなと思った。</li> <li>・気の強い怖い人だけど、泥かぶらから次郎兵衛がほしかった物をもらい少し優しくなったから、こっちまで嬉しくなった。</li> </ul>
色づかい レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に優しい。 ・人や山の絵がはっきりとわかる。 ・色使いがあざやか。(4)</li> <li>・明るいところでは風景が鮮やかな色になったりしている。</li> <li>・どこか時代背景を連想させる感じ。 ・ザツとしていたけど分かりやすい色使いだった。</li> <li>・クレヨンや絵の具で描いているように見えた。 ・ゴッホみたいな絵。</li> <li>・泥かぶらっていう顔はあんまり想像できなかつたけど、絵を見たら色づかいがきれいで見やすくよかつた。</li> <li>・登場人物、一人ひとりの表情がはっきり描かれていてとてもわかりやすかつた。</li> <li>・とても見やすくびつたりな絵柄だと思う。 ・きれかつた。</li> <li>・油絵っぽい色づかいでおもしろい。 ・子どもでも見やすい、わかりやすい色づかい。</li> <li>・最初と最後の色づかいが違つた。 ・インパクトがあつた。 ・少しだけ見にくかつた。</li> <li>・古風な色使い。 ・あたたかい。 ・とても色が濃く、特徴のある色である(2)</li> <li>・昔のアニメのような色合い。きれい。泥かぶらを見て聞いて楽しかつたです。</li> <li>・一枚一枚その絵にあつた色で描かれていた。</li> <li>・最初は黒っぽい色が多く、最後らへんはオレンジっぽい色が多い。</li> </ul>
仕掛け等… 作品に意味を持たせているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左右のページで遠距離感を表していると思った。</li> <li>・泥かぶらの笑顔とやさしきで、みんながやさしくなつて思いやりがでてきた。</li> <li>・周りが何て言おうが前を向いて歩いて行けて言われている気がした。</li> <li>・行動しなければ人は変わらないということ。 ・やさしくしたら自分に返つてくること。</li> <li>・表情の変化など絵に描かれた状況が伝わる。 ・この物語を読んでどう感じるか。</li> <li>・外見が悪くても心がびかびかだったら素敵になつていく。</li> <li>・一人前向きな人がいれば、周りも優しく前向きな性格になつていく。</li> <li>・曲も流れていていい感じでよかつた。 ・自分の態度で周りも変わる。</li> <li>・人に優しくすると自分も優しくしてもらえるとということ。</li> <li>・誰かにやさしくするということの大切さ。 ・どろ。 ・人は変わるということ。</li> </ul>
作者の思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を考えてほしいという思い。 ・自信を持たせるための絵本。</li> <li>・泥を払うことで本当の意味でキレイになれる。 ・強く生きて。</li> <li>・人のキレイな心は周りの人も自分も変わるということを伝えたい。</li> <li>・人は変わっていけるという思い。 ・一人ひとりの大切さ、どんな人でも変わる。</li> <li>・人間は見た目だけでなく中身が大切で、中身が良くなければ見た目も美しくない。</li> <li>・いつもつらいことがあつても、顔を上げてニコリすることでもいいことが返つてくるということ。</li> <li>・人は皆、心の泥を落とせば良くなる。 ・やさしい心を持つ大切さを教えたい。</li> <li>・人は心の中についた泥を落とすとキレイになれる。 ・人は、見た目ではなく中身。</li> <li>・きっと泥かぶらのように優しい人物なのかと思つた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも笑顔でいるということ。 ・心のどろを落としましょう。</li> </ul>
テーマについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥＝仮面だと思った。自分に自信がなく心を閉ざすみたいなの。</li> <li>・泥かぶらという子が旅の老人からの助言で努力してキレイになる。</li> <li>・現在においてもあるこの状況でどう感じるか。</li> <li>・最初はできなくてもいつからでも変わろうと思えばできるんだと思った。(3)</li> <li>・人の大切さをテーマにしていると思う。 ・本当に美しい絵本でした。感動した。</li> <li>・やさしい事をすれば自分も気持ちがいいし、相手も気持ち良くなる。</li> <li>・いつも笑顔で前を向くこと。 ・人との関係。 ・とても楽しい話。</li> <li>・誰かにやさしくすることで自分がキレイになれる。</li> <li>・清く正しく美しく、人はいつからでも変わる。</li> </ul>
感想・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に美しい心を取り戻すところがよかった</li> <li>・泥かぶらは最初は泣いてばかりだったけど、だんだん強くなって思いやりのある子になって、毎日前を向いて笑顔っ というのがすごいと思った。</li> <li>・自分に自信をつけろ、前を向いて歩いて行けて言われているエールみたいな感じ。</li> <li>・良くも悪くも子どもの純粋さが出ている。 ・感動した。</li> <li>・人の優しい心が周りを変えるんだと思った。 ・うらやましい。</li> <li>・この物語は悪かった人たちが善人になる良いお話だと思った。</li> <li>・自分は強さに欠けているのでうらやましく思った。 ・何があっても笑うところ。</li> <li>・中学の時、夢も希望もなかった私に、生きる希望、目標をくれた先生の言葉がいっぱい出てきて感動しました。懐か しかったです。</li> <li>・人間の本質には美しいものがあるんだと思った。心がよごれていたら見た目は美しくなく、逆に心が美しかったら見 た目も美しくなっていくんだと思った。</li> <li>・「人間も心についた泥を落とせば、人間の本質にある美しい真心が表れる」というところが印象に残りました。</li> <li>・泥かぶらのように人の役に立ちたいと思った。 ・もう一回読んでみたい。</li> <li>・音楽、読み聞かせの方の声とがとても良く、聞き取りやすく見やすかったです。「泥かぶら」と呼ばれていた女の子 があんな可愛い美しい子になるとは想像もつきませんでした。</li> <li>・前向きで優しい泥かぶらを見ていると見ているこっちまで優しくなれたように思う。</li> <li>・旅の老人との良い出会いで泥かぶらは優しい心をもって、そして周りの人はその優しさに触れることで変わった。</li> <li>・人に優しくすると、人に優しくされるというところに納得、共感した。</li> <li>・とても心がきれいになる内容、誰にでも親切にしていくことを考えた。</li> <li>・面白かったし、自分も変わっていこうと思った。</li> <li>・泥かぶらは出会った人を幸せにできると思った。</li> <li>・心がきれいになると周りの人もきれいになるし、とても良いと思った。</li> <li>・心をきれいにするのは難しいと思った。 ・とてもいい話。(2)</li> <li>・めっちゃ感動した。 ・読み手の方の音楽と読み方があっていい。</li> <li>・音楽もあって泥かぶらと読み手の藤川さんの読んでる上手さ全てが合っていて、テレビを見ているような感覚でした。最後の次郎兵衛とのお別れが少しさびしくなった。</li> <li>・私も変わる努力をしようと思った。</li> </ul>



第2回読み聞かせ授業で朗読して下さる「絵本読み聞かせグループかぶとむし」の藤川眞弓氏

## 第3回絵本探求ワークシート

	絵本のタイトル	作者・絵・訳者・読み手
第〔 3 〕回 1 2 月 3 日	『風切る翼』 [講談社] 読み手……堀江満子 氏	文……………木村 祐一 絵……………黒田征太郎
心に残るフレーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静かな夜をすごした。 ・二度と戻らない命。(2) ・一緒にいてくれるかい。(3)</li> <li>・カララの「一緒に飛ぼう」。 ・「あぶない」(4) ・飛んでいる。(2) ・飛べない。</li> <li>・もっとはやく逃げていたら。 ・あの時、していなかった。死んでいなかった。</li> <li>・クルルがカララにえさをあげたからだ。 ・自分が嫌になる(3) ・仲間。</li> <li>・カララのせいと言われているシーン。 ・クルルが空にはばたいたところ(2)</li> <li>・自分の翼の音でさえ惨めな雑音にしか聞こえなかった。</li> <li>・一緒にとんでくれるかい？(4)</li> </ul>	
印象に残った場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カララがクルルの近くに無言でいた場面(8) ・クルルが苦しんでいたところ。</li> <li>・クルルがどんどん弱気になっていき飛べなくなるまでに陥ったこと。(3)</li> <li>・他の仲間がクルルだけのせいにして責めること。 ・仲間のことを思っている場面。</li> <li>・クルルが一人でいるときに最後にカララが戻ってきたところ。(3)</li> <li>・カララが空から降りてきた場面。(3) ・クルルとカララが一緒にいるところ。(5)</li> <li>・カララがクルルの横に来て何も言わなかったところ。 ・クルルの心がとけたとき。</li> <li>・最後の「一緒に来てくれるかい」で照れながら笑っていたのでよかったなど思った。</li> <li>・最後にクルルとカララが一緒に飛んだところ。(1 2) ・きつねに襲われたところ。(3)</li> </ul>	
クルルについて思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても優しい。(4) ちょっと強い。 ・仲間思い。 ・良いやつ。(2)</li> <li>・飛べなくなった時はドキドキした。 ・とてもさみしがり屋で意地っ張り。</li> <li>・言い返せなかったのは周りの圧力があつたのもあるが、優しさもあるんじゃないか。</li> <li>・仲間の死の原因を全てクルル一人に責任をおしつけられ人間？不信に陥り、ついに心がすりへり飛べなくなったところがとても悲しかった。</li> <li>・仲間に何か言われても動じなかった。 ・自分に対してネガティブすぎる。</li> <li>・思いを仲間に伝えなかったのは何故か、死にたいと思って行動するのはダメ。</li> <li>・言い返せないのがちょっと臆病だと思った。 ・自分がその立場だったらすごく悲しい。</li> <li>・仲間に責められていたときがかわいそうだった。(3) ・気持ちはわかる</li> <li>・自分のことをあんまり好いてなかったけど、最終的に飛べてよかった。</li> <li>・なぜ何もしていないのに何もいわないのか。 ・自分に近い何かを感じる。</li> <li>・仲間のことを思ってやったのに誤解されて、かわいそうだと思った。(6)</li> <li>・責任感が強く情に厚い性格で、孤独に陥ったのはクルルが強かったからこそだと思った。</li> <li>・頑張っているんだなど思った。 ・仲間はずれにされるのはダメだと思う。</li> <li>・仲間はずれにされたときはしんどかったと思う。 かわい。</li> <li>・か弱い子だったけど最後に飛べるようになっていて強くなっていたなど思った。</li> <li>・自分の思っていることを周りに伝えるのは勇気があるけど大切だと思った。</li> </ul>	
カララについて思うこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体が弱い。(2) ・カララはクルルの気持ちをわかっていたんだと思った。</li> <li>・最初はいつも助けてもらっていたクルルを助けようとせず傍観していたが、最後にはキツネに襲われるまでとなりていたところが印象深い。</li> <li>・あえて話しかけなかった行動に対してクルルの行動を見聞いて、すごく納得できた。</li> <li>・思いやりがある。 ・板挟み。 ・いいやつ。(2) ・クルルの心の傷を癒やした。</li> <li>・みんなの前では勇気がなくて行動できなかったけど、二人の時は優しさがあった。</li> <li>・最後には一緒にいてあげてやさしい。(2) ・友達のために体をはれる良い奴だった。</li> <li>・頭がいい。下手に言葉をかけず行動で示し、最後までクルルを待つのは凄かった。</li> <li>・黙ってそばに居てくれるのは信用しているからだと思った。</li> <li>・最初はクルルに何もしてあげられなかったけど、最後はクルルの力になれてよかった。</li> <li>・最初はみんなではぶくことないと思ったけれど、カララからまたクルルと飛びたいという気持ちが伝わってきた。</li> <li>・最後クルルのところに戻ってきて感動、そういう人がいるとうれしくなります。</li> </ul>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの分の餌を取ってあげていて優しい子と思いました。 ・とても優しい。(2)</li> <li>・友だちのために覚悟をきめてすごいと思った。 ・空気が読めるいいこ。</li> <li>・クルルを大切にしているんだと思った。 ・心配しているんだなと思った。</li> <li>・臆病で弱い性格だからこそ自身の使命としてクルルを見捨てなかったのだと感じた。</li> <li>・最後はクルルのところに戻ってきたのでよかった。 ・とてもすてきなお友達。(2)</li> <li>・大勢の方でいるときもきつとクルルのことを考えていたんだと思う。</li> <li>・本当はクルルと一緒にとびたいとずっと思っていたと思う。</li> <li>・みんなに嫌われるのをわかって恩人に恩を返すのが強い。</li> </ul>
<p>周囲の仲間について思うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめすぎ。 ・ひどい。(4) ・やりすぎ。 ・こわい。 ・最低だと思う。</li> <li>・仲間の死の原因をクルルと決めつけていたところに嫌な思いになったが、最後には空の上でクルルやカララを待っていてくれた。</li> <li>・キツネに襲われて仲間が命を落としたことを後悔していた。</li> <li>・他人に押しつけて悪口を言ったりしていた。 ・仲間って大きな力をもっている。</li> <li>・仲間を1羽失ったし、責めてしまう気持ちもわからなくもなかった。</li> <li>・誰かを悪者にしないと気が済まない。 ・結果論で責めるのは違うと思った。</li> <li>・襲われたのは誰のせいでもないから、もっと理解してあげたらよかった。(2)</li> <li>・社会の人間みたい。自分はあたかも悪くないように他人を責める。最悪。</li> <li>・クルルのことを何も知らず仲間はずれにするのはダメ。 ・クルルだけのせいにした。</li> <li>・怒りを全てクルルにぶつける。 ・クルルを一方向的に悪者扱いして腹が立った。</li> <li>・自分たちのせいではないと思いたくてクルルのせいにしたんだと思った。</li> <li>・クルルは悪くないのにクルルのせいにされかわいそう。</li> <li>・誰かのせいにして自分がのがれようとしているのが許せなかった。</li> <li>・ひどいけどそうするしか悲しさを発散できなかったのかなあ。</li> <li>・キツネによって失った仲間たちに対しての責任や悲しみを、優しく気持ちをぶつけやすいクルルに当てたのではないか。</li> <li>・いじめと似たようなものを感じた。 ・自分が正しいと思っていそう。</li> <li>・仕方ないかなと思う。 ・仲がいいんだなと思った。 ・思い込みで決めつけている。</li> <li>・一人を責めるのは違うと思った。(3) ・気持ちはわかるがやってはいけないことです。</li> <li>・ちゃんと話を聞いてあげて、気持ちを理解しようとしなければいけないと思った。</li> </ul>
<p>色づかい レイアウト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい色。(2) ・夕日に当たっているのか体全体が赤く変化したところがあった。</li> <li>・絵の具をにじませたような絵。 ・クルルとカララが飛ぶ場面を鮮やかな色使いしている。</li> <li>・なんか暗い色づかいだった。 ・きれいだった。(2) ・パステルカラーできれい。</li> <li>・鮮やか。 ・心などを表現しているかのような色使い。 ・繊細できれい(3)</li> <li>・ちょっと暗めで、水色が多かった。 ・青があざやかに使われていた。 ・独特で好き。</li> <li>・ザツとしているようでどこかに思いが詰まっているような色使い。</li> <li>・絵の具で描いている。 ・絵本にあった色づかい。 ・暗い。(2) ・明暗がすごい。</li> <li>・色々な場面を色づかいで分けてている。 ・最初は赤系多め、最後は青系多め。</li> <li>・色がにじんでいて感情や表現の表し方が特徴的だ。 ・絵の具を水で薄めた感じがした。</li> <li>・場面ごとにはっきりしていて、情緒を感じ取りやすかった。 ・細かい。</li> <li>・古風な感じがした。 ・神秘的だと思った。 ・独特な絵。 ・ちょっとこわい(3)</li> <li>・場面によって色使いがとてもきれい。 ・昔の色って感じ。さみしい。悲しい色。(2)</li> <li>・ツルにあった色でカラフルに使われていた。</li> <li>・場面ごとに気持ちが表れているようで良かった。</li> </ul>
<p>作者の思い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が体験したことを動物に例えたのかな。 ・友達とは何なのかを思い知らせている。</li> <li>・誰かといすることで気持ちが高揚したり、一人でいることでどんどん弱気になっていく。</li> <li>・思いやりのある人になってほしいという思い。 ・自然の厳しさを描きたかった。</li> <li>・気持ちはわかるが文としては表せない。 ・仲間であれば、決して見捨てたらだめ。</li> <li>・何があっても他人事に思っはいけないことと、思いやりをもつこと。</li> <li>・仲間はずれにされても一人は味方がいるよ。 ・時に裏切りもあるってこと？</li> <li>・いじめや仲間割れは少しのことで起こる。一人でも味方が居れば人も鳥も生きていける。</li> <li>・自分のことを必要とする人がいるのを伝えたい。 ・大切な仲間。</li> <li>・仲間を大切にするとというのが一番だと思いました。 ・弱さに目を背けないこと。</li> <li>・いじめや仲間割れは辛く、苦しく、互いにいいことはないし、一生深い傷を負ってしま</li> </ul>

	<p>うことを伝えなかったと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本で小さい頃からのいじめのことについて分かりやすく説明してなくしていきたい。</li> <li>・実際に人間の世界である話を絵本を通して分からせてくれたのかな。</li> </ul>
テーマについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたを失いたくないと思う誰かがきつっている。(2) ・信頼関係。</li> <li>・集団でいることで起こる仲間同士での責任のおしつけや、一人でいることで気力や心がすりへっていくところ。(2)</li> <li>・友達は必ず帰ってくる。そばに居てくれる。自分を必要としている。 ・大切な友だち。</li> <li>・翼は風を切るために大切なもの。 ・少なくともきつと味方はある。 ・ツルの恩返し。</li> <li>・飛べなかったけど最後に飛べた。 ・自分のことを必要とする人がいるのを伝えたい。</li> <li>・カララのような人になれたらいいな。 ・自分を理解してくれる友の大切さ。</li> <li>・自分も失いたくない人がいるように、誰かに失われたくないと思ってもらえるような人になりたい。</li> <li>・誰か一人は自分を見てくれる人がいるんだなと思った。 ・いじめ。 ・責任と弱さ。</li> <li>・どれだけ苦しんでひとりぼっちと思っても必ず悲しむ人はいる。 ・集団について。</li> <li>・そんな周りの人たちを大切にしたいです。 ・どうしようもない状況の切なさ。</li> </ul>
思ったこと 感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改めて友達の大切さを学んだ。 ・とても切ない作品。 ・仲間を大切に。(3)</li> <li>・自分たちの周りでもこういうことが起こる可能性があると感じ、クルルのように一人で孤独にいることに耐えられないと思った。</li> <li>・クルルとカララは永遠の友達だと思った。</li> <li>・人間社会を描いている。(2) ・最後はみんなと一緒に飛べて良かった。</li> <li>・みんなに否定されても誰か一人はちゃんと自分のそばにいてくれるっていう経験をしたことがあったから自分と一緒に感じた。</li> <li>・命がある限り生きていかなければダメ。私も精一杯生きていきます。</li> <li>・信頼し合えるのはうれしいことだと思った。 ・最後は仲良しで飛べたので良かった。</li> <li>・命の大切さや信頼関係などがよくわかった。 ・きつねがきて飛んだ場面がすごかった。</li> <li>・集団について考えさせられるものがあった。 ・人間の世界も同じ感じだなあ。(2)</li> <li>・仲間はとても大きな存在になるものだと思った。 ・いい話。</li> <li>・自分のことをわかってくれる人が一人でも多くいて欲しいと思いました。</li> <li>・今の社会を表現しているのかなと思いました。 ・集団いじめがこわいと思った。(2)</li> <li>・他人のこのように思っはいけないと思った、本を読んでくださった方が、上手で聞きやすかった。</li> <li>・いじめと仲間割れを表現していて私は気をつけようと思いました。</li> <li>・私もあのときこうしとけば良かったとか思ったこともあったけど、これからは後悔しないようにしていきたいです。</li> <li>・ページや分量は少ないのに、内容は人間社会に通ずる重いテーマであった。</li> <li>・分かりやすく「悪」がいるのにそれに自分たちはどうしようもない。だから周りから「悪」を作りだし非難する。</li> <li>・こういう状態になったとき、視野を広く持てる人になりたい。</li> <li>・絵本でもこのようないい話の絵本があるんだなと思った。人間味のある話だった。</li> <li>・自分一人ではどうしようもないとき、何もせずにいることがいいと思ってしまう気持ちが痛いほどわかる。</li> </ul>



第3回読み聞かせ授業で朗読して下さる「絵本読み聞かせグループかぶとむし」の堀江満子氏

各ワークシートの記述から、生徒たちは多くの学びを得たことが分かる。第1回の『100万回生きたねこ』では、他者を愛することや死を通して、「生きる」ということの意味を知り、第2回の『泥かぶら』では、絵本で人の心が救われることがあるのだということを実感し、第3回の『風切る翼』では、周囲全体が自分の敵となったとしても、身近に一人でも支えてくれる存在があれば、人は生きて行ける。そういったことを味わいのある読み手の方々の朗読によって個々の胸中に「気づき」が生まれ、それぞれに吸収し、咀嚼し、会得してくれたのではないかと考える。

その学びをデータの的にどう表れているのか。自己肯定感測定尺度を用いたアンケートで確認したい。

4 「自己肯定感測定尺度」を用いた自己肯定感の変容と取組みの効果について

《講座受講者の測定平均値》

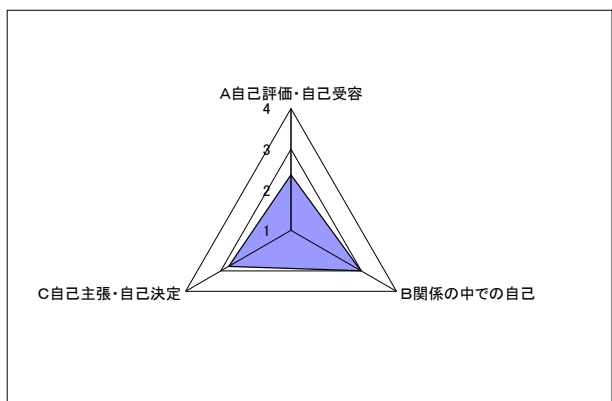


図1 [令和2年9月14日実施]

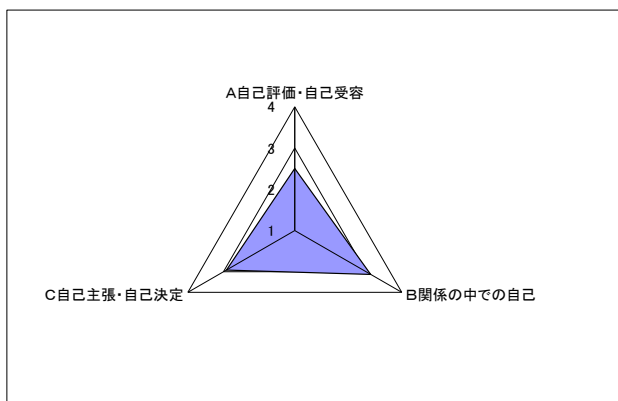
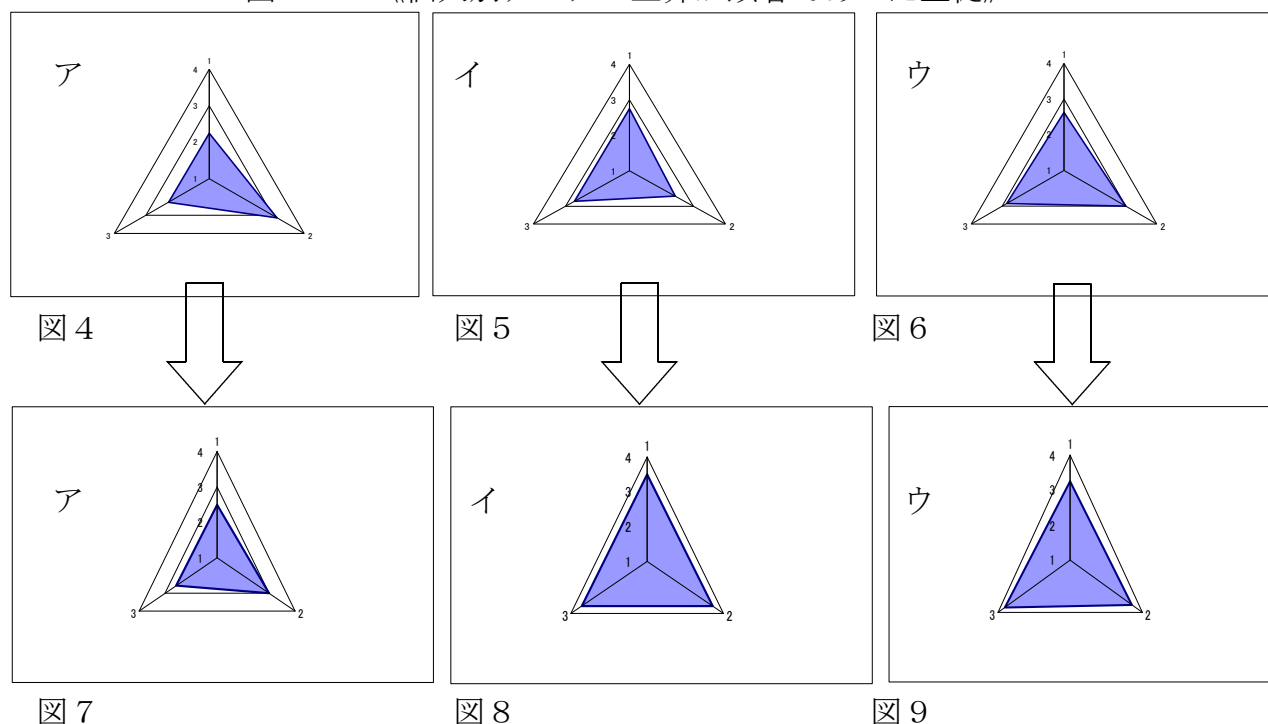


図2 [令和2年12月3日実施]

項目	全体平均 9月	全体平均 12月
A 自己評価・自己受容	2.37	2.50
B 関係の中での自己	2.99	3.13
C 自己主張・自己決定	2.77	2.92

図3 《自己肯定感尺度＋ESDアンケート結果》

図4～9 《個人別データ＝上昇が顕著であった生徒》



上記に挙げたアイウの生徒3名について、まず、「ア」の生徒については、読み聞かせ取組後は「A自己評価・自己受容」がやや上昇し、「C自己主張・自己決定」についても著しく上昇傾向を示し、全体的なバランスが取れる結果となった。「イ」「ウ」の生徒については、ABCの項目全てに著しく上昇する結果となった。

また、これ等3名以外の生徒に関しても僅かながらの数値でも、概ね上昇に転じており、ABCの項目全てで下降傾向の数値を示した生徒はいなかった。したがって、この読み聞かせ絵本探求の授業が自尊感情を高め、自己効力感を持たせて行く取組になったということは、疑う余地もないと考察する。

#### 4 成果

本年度の2年次の生徒たちにおいても、名作と呼ばれる絵本童話に触れ、主人公や登場人物の生き方を追体験したり、心情に共鳴したりすることで自らの心の琴線を掻き鳴らし、感性を揺さぶるひとときとなった。また、この読み聞かせの時間は、生徒が幼少期に満たされていなかった母性へのフラストレーションを補うための授乳的時間ともなり、深く精神世界に入り込む作品鑑賞の時間となった。そして、その作品鑑賞をワークシートを用いて個々の生徒に絵本世界を探求させることで、ある生徒は過去と向き合い、ある生徒は現在と向き合い、殆どの生徒が、今、自分の置かれている日常における立ち位置を確認し、ネガティブに捉えていた自己の内面を癒し、自らがポジティブな精神を持ってこれからの未来を切り拓いて行こうとする姿勢を育ててくれたのではないかと。生徒たちは、今年度取組を行ったこの読み聞かせ絵本探究授業のそれぞれの「気づき」により、さらに自身の人生探求に心のベクトルが向いて行ったことであろう。もう、物怖じすることはない。しっかりとこのコロナ禍の社会を逞しく生きて行ってほしい。

## ○「現代文B」科目における創作絵本授業について ～豊かな感性を育み、自己を表現する喜びを味わう～

### 1 目的・ねらい

目的としては、「現代文B」科目において、従来から取組を推進してきた「読み聞かせ絵本探求」授業の発展的学習として、生徒たちが絵画や文章を表現することにより、豊かな感性と創造力を養い、思考し表現することを通じて達成感を味わうことや他者と共感することの喜びを獲得することで、自尊感情や自己有用感を高めることをめざし、昨年度に引き続き本年度の取組を実施した。

ねらいとしては、昨年度同様、「世界で一冊の自分にしか表現できないオリジナル絵本をつくろう」をコンセプトに創作絵本を試みた。「現代文B」を選択科目として履修した3年次生9名は、思い思いのテーマで、本校図書館の絵本コーナーでそれぞれにモチーフとなる材料を探し、キャラクターやストーリーを考え、創作絵本づくりにチャレンジした。描画に関する指導と創作の手解きは、本校で美術の授業を担当している講師、太田風人氏に依頼した。

以下に、その実践内容を報告する。

### 2 内容

絵本の創作に向けた絵画技能の向上と質の高い構成をめざし、世界に一つしかないオリジナル絵本を完成させ、プレゼンテーションを行い、創作絵本が完成した喜びを分かち合うとともに、各々の世界観を発表し合うことでそれぞれが新しい価値観と出会う学び合いの契機とし、さらには、その完成させた創作絵本を、年度末に、常日頃より連携している図書館施設や書店等で読み聞かせの発表を行い交流を図る。

#### (1) 調査研究の対象及び研究方法

##### ・ 定時制昼間部現代文B選択者

国語科「現代文B」科目における「創作絵本」授業とその完成作品を活用した読み聞かせ演習（外部上演）を行う。

##### ・ 調査研究の方法

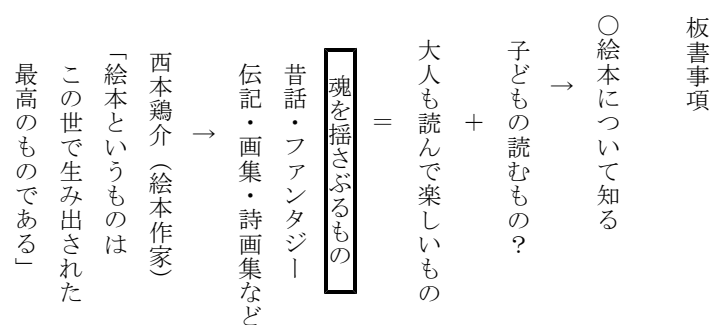
ア 創作絵本授業の前後に、「自己肯定感尺度」を測定するアンケートを実施。

イ モチーフとなる題材の提示及び探求したいテーマの設定。

ウ 美術講師による専門的な絵画指導と個々の生徒における描画方法の探求。

エ 「自己肯定感尺度」測定値からみえた生徒の変容と創作絵本に顕れた生徒の「気づき」等を国語科担当者（授業者）が分析を行い、「多様性への対応」に関する成果と課題について明らかにする。

まず、授業者が創作絵本授業の第1次限目として、「絵本について知る」と題しての講義をほぼ昨年度と同様の内容で行った。



ここで取り上げたのは、もう三十数年ほど前になるが、徳島県学校図書館協議会の記念講演で絵本作家の西本鶏介氏が講師として招かれた。その折に授業者が拝聴し、記憶に残った言葉である。西本氏は、こうもおっしゃられた。「童話や児童書は、哲学や宗教よりも崇高なもの」であると。目から鱗が落ちる想いであった。生徒たちには、今から自分たちが取り掛かろうとしている作業は、「世界でたった一つしかない絵本」であると同時に、その作品を編む作業は尊くも崇高な営みであるという価値を認識した上で、創作に取り掛かってほしいとの授業者の願いを伝えた。

さて、実際に制作したプログラムは、次の通りである。

## (2) 太田風人氏指導による創作絵本プロジェクト授業の日程〔全8回〕

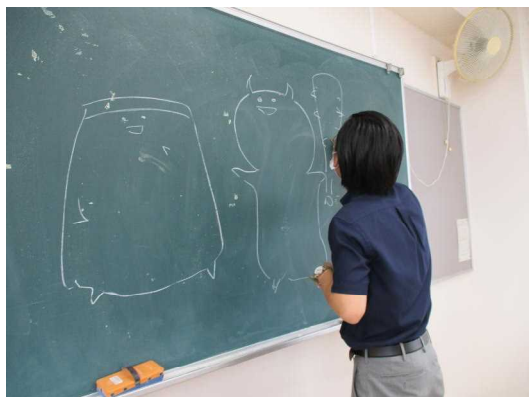
学習者の中には、元来、絵が得意なものもいるが、そうでないものもいた。しかし、一様に創作に入る前の時点では、「自分たちに満足が得られるような創作絵本ができるのだろうか」と不安を募らせて、なかなかプロットを考える工程で立ち止まってしまった生徒もいた。しかし、各自の創作に賭けた熱意と思いがしだいしだいにと、形に表されてきたのである。

回	月日／教室	指導者	授業内容
1	9月17日 6限目 414教室	太田 風人 氏	絵本づくりについて ・テーマを決める ・キャラクターを決める ・構成・あらすじを書く
2 ・ 3	10月12日 5限目 6限目 414教室	太田 風人 氏	絵本づくりについて ・プロット（骨組み・構成）を考える ・ラフ画を描く
4 ・ 5	10月29日 5限目 6限目 414教室	太田 風人 氏	絵本づくりについて ・画材を選ぶ ・ラフ画を描く ・下書きを描く
6 ・ 7	11月12日 5限目 6限目 414教室	太田 風人 氏	絵本づくりについて ・本描きを書く ・仕上げを行う
8	11月26日 6限目 414教室	太田 風人 氏	完成したオリジナル絵本で ・プレゼンテーションを行う ・指導者からの講評を聞く



	日時	場所	内容
9	12月19日 (午前中)	阿波市吉野図書館	創作絵本の読み聞かせ発表会
10	1月23日 (午後)	附家書店(国府店)	創作絵本の読み聞かせ発表会

[第9回・第10回に実施予定であった外部上演はコロナ禍により中止]



### 創作絵本の授業風景

### 3 成果として

次に、実際の生徒たちによる創作絵本の優良な作品6冊を掲載させていただく。

#### 生徒作品No.1 題名『おにぎり』





※上記は、大きなおにぎりを森の動物たちが仲間で分け合い、満腹となり、仲良くお昼寝をするというシンプルで幸福感に満たされた作品。

【生徒の感想文】

絵本を作るのは難しくとても苦労しました。先生のアドバイスをもらいながら、絵本を完成させました。工夫したところは特にありません。絵本を完成させてみんなの前で読み聞かせをするのはとても緊張しました。みんなの作品もすごく良く、クオリティが高かったです。流石だと思いました。自分の作品の改善点は、背景を描いたら良かったと思いました。またセリフなんかも書いても良かったと思います。今回の絵本作りはとても楽しかったです。

生徒作品No.2 題名『さやかちゃんのいちにち』







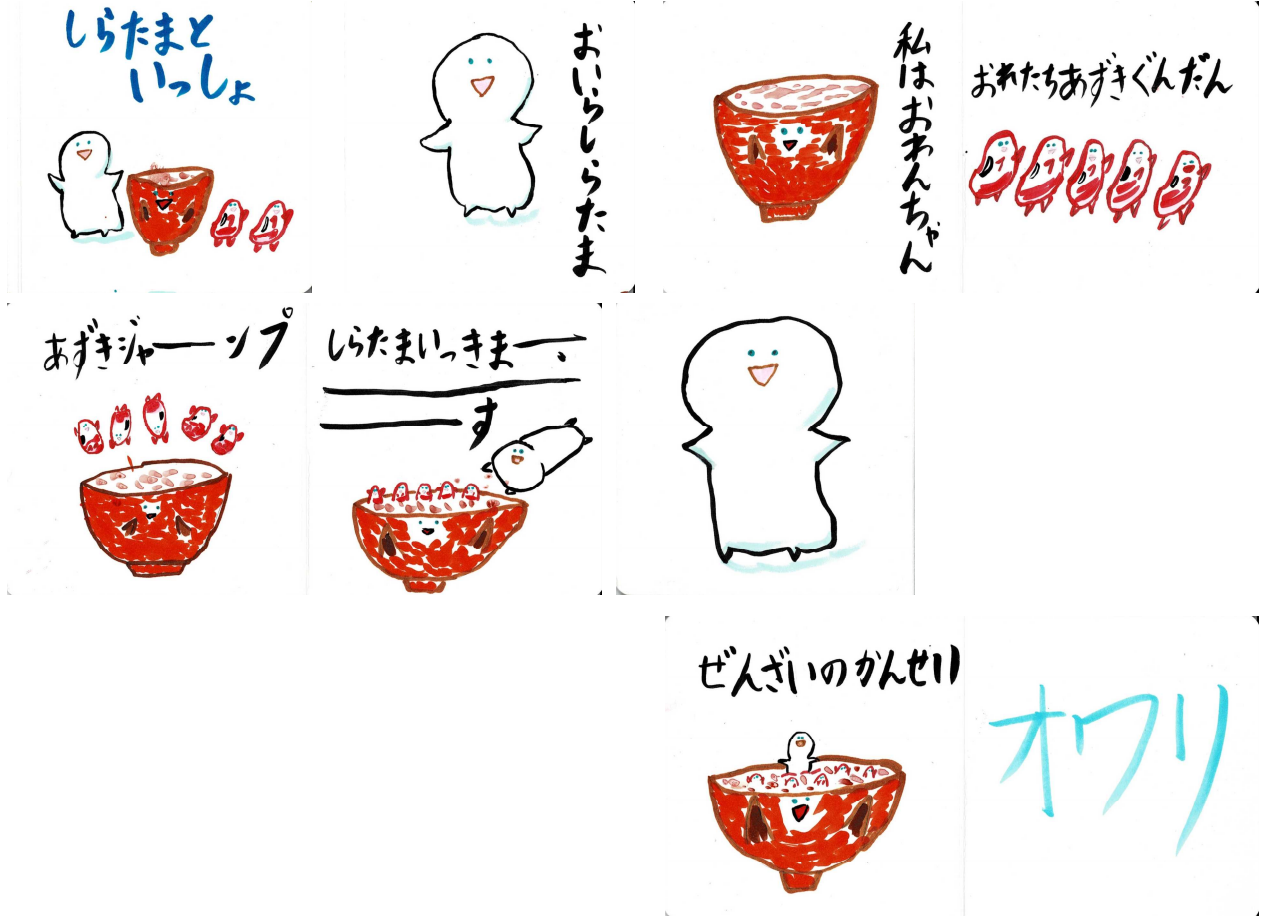
※ 上記は、一歳半になる女の子の平凡な一日をコンパクトに描いた作品。このような何気ない子ども的一天を守りたいと思わせる一冊である。一つ一つの素材が丁寧に描けている。

【生徒の感想文】

私が絵本を完成させるまでに工夫したことは、絵の色でした。人間がそのものを何色で認識しているのか、ということに対して、大方の人は一色で答えませんが、一色とは限りません。例えば、りんご。りんごは何色かと言われた時、大方の人は赤と答えるでしょう。しかし、よく見てみると赤に隠れてはいますが、黄色も混ざっています。そのように何色もの色が混ざり合っていてできるものを、一色だけではなく、数色もの色を使って表現できるように頑張りました。また、いろいろな画材を使い、色鉛筆では表現できないところをコピックを使ったり、背景は水彩絵の具を薄め、淡く優しい色にして、メインとなる人物を目立たせられるよう努力しました。

今後、絵本を作るという機会は今中々めぐってこないと思うので、今回は貴重な経験になりました。

生徒作品No.3 題名『しらたまといっしょ』

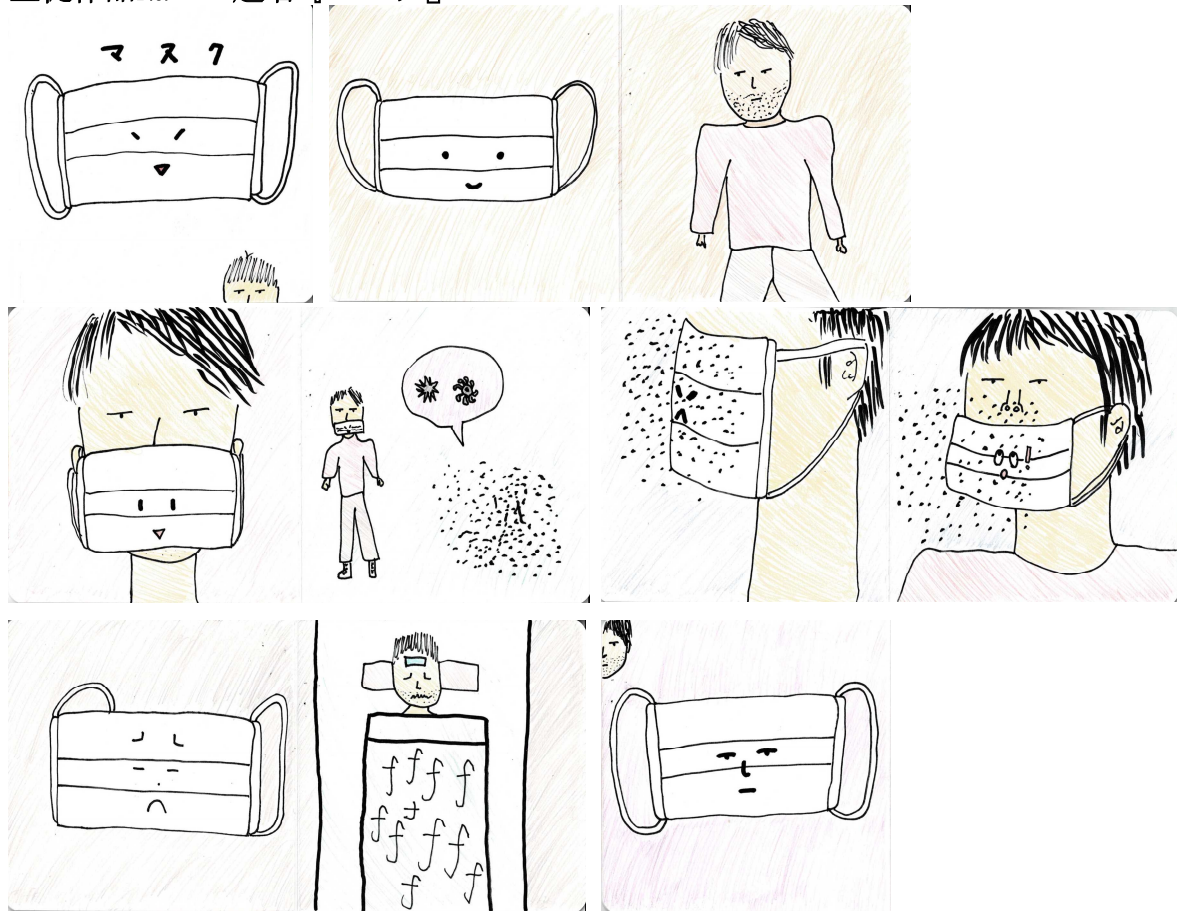


※ 上記は、「ぜんざい」には欠かせない「しらたま」をメインに、その一品が出来上がるプロセスをとことんユニークに表現した作品。味付けをどのようにしたのか、興味がそそられる。それにしても、キャラクターたちの楽しそうな表情が印象的である。

【生徒の感想文】

絵本作りで頑張った点は、面白いストーリーにすることでした。どうすれば面白いストーリーになるかとか、どうすれば皆に伝わるだろうかと、考えた結果、こういった形に落ち着きました。絵本作りを通して思ったのは、自分が携わった作品を誰かに見てもらうのは、すごくワクワクしたり、受けるだろうかとか思ったりして不安になるだなと思いました。だからこそ、絵本作りは楽しいのだとも思いました。

生徒作品No.4 題名『マスク』



※ マスクくんと男性の表情の豊かさが際立つコロナ禍ならではの作品。

【生徒の感想文】

今、コロナ禍で日本だけでなく、世界中が大変なことになっている。絵本を作るという話を先生から聞いた時、まず、イメージとして浮かんできたのが、僕たちが毎日使っているマスクだった。一時は手に入れるのも一苦労だった。ドラッグストアやスーパーへ行っても品切れで手に入らないし、ネット通販で手に入ったとしても、とても高額な値が付けられていた。主人公の男は、やっとの思いで一枚のマスクを手に入れた。世の中にまん延しているコロナウイルスにマスクは立ち向かった。ところが、男の顔からマスクがズレてしまい、ついには男の鼻からウイルスが体内へ。男は床に就き、マスクは無念さを募らせる。「マスクは着けているだけでは不十分。安心してはいけない。」というメッセージとして発信したい気持ちが沸き起こり、このような作品となった。





生徒作品No.6 題名『かくれんぼ』



※ あかいしゆみ氏等、このような仕掛け絵本は市場にも数々あるが、表紙裏表紙は色鉛筆の淡く軽いタッチで描き、作品の中身をメリハリの利いた切り絵にして、想定される適齢の幼児に対して分かりやすい絵本に仕上げている。作者には近い将来、ぜひ本作品で我が子への読み聞かせを実践してもらいたい。

【生徒の感想文】

最初のタイトルですごく悩みました。どんなものを作ったらいいのか、どんなものだと子どもたちが喜ぶのかと考えました。それで、やはり子どもが好きなのは動物だと思い、プロットの時点で、他の人がやらないような色画用紙で動物を切り抜いて飛び出し絵本にしようと考えました。その点が、一番工夫したところでした。しかし、実際に色画用紙で作ろうとした時、すごく細かい作業になりました。でも他の人がやっていない絵本が作れたので、私はそれを誇りに思っています。内容も子どもが喜ぶようないい感じに仕上がったと思います。

4 「自己肯定感測定尺度」を用いた自己肯定感の変容と取組みの効果について

《講座受講者の測定平均値》

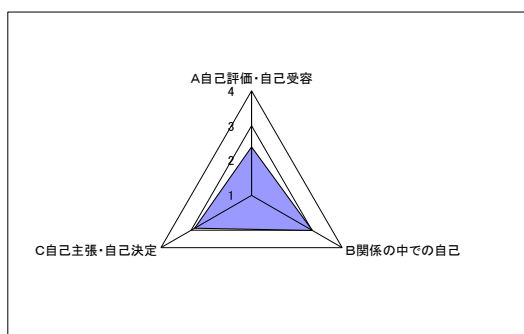


図1 [令和2年9月14日実施]

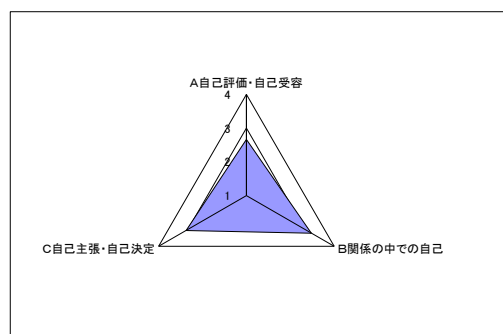


図2 [令和2年12月17日実施]

項目	講座平均 9月	講座平均 12月
A 自己評価・自己受容	2.39	2.67
B 関係の中での自己	3.02	3.22
C 自己主張・自己決定	2.89	3.06

図3 《自己肯定感尺度＋ESDアンケート結果》

資料1 自己肯定感尺度+E S D理念を踏まえたアンケート

学年\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

皆さんの気持ちについて、学校での様子を中心におたずねします。質問に対して、自分の気持ちに近い数字に○をつけてください。

< 記入例 >

あて      どちらかといえば      どちらかといえば      あて  
 はまる      あてはまる      あてはまらない      はまらない  
 4            3      ——— 2      ——— 1

例) 夏よりも冬が好きである

No	項目	
1	私は今の自分に満足している	4———3———2———1
2	人の意見を素直に聞くことができる	4———3———2———1
3	人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる	4———3———2———1
4	私は自分のことが好きである	4———3———2———1
5	私は人のために力を尽くしたい	4———3———2———1
6	自分の中には様々な可能性がある	4———3———2———1
7	自分はダメな人間だとは思わない	4———3———2———1
8	私はほかの人の気持ちになることができる	4———3———2———1
9	私は自分の判断や行動を信じていることができる	4———3———2———1
10	私は自分という存在を大切に思える	4———3———2———1
11	私には自分のことを理解してくれる人がいる	4———3———2———1
12	私は自分の長所も短所もよく分かっている	4———3———2———1
13	私は今の自分を好きに思う	4———3———2———1
14	いったん決めたことには責任を持って取り組む	4———3———2———1
15	私には誰にも負けないもの(こと)がある	4———3———2———1
16	自分には良いところがある	4———3———2———1
17	自分のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している	4———3———2———1
18	私は自分のことは自分で決めたいと思う	4———3———2———1
19	自分は誰かの役に立っていると思う	4———3———2———1
20	私には自分のことを必要としてくれる人がいる	4———3———2———1
21	私は自分の個性を大切にしたい	4———3———2———1
22	私は人と同じくらい価値のある人間である	4———3———2———1
23	様々なことを自分で感じ、考えていると思う	4———3———2———1
24	自分の気持ちや考えを表現していると思う	4———3———2———1
25	他者と協力してものごとを進めていると思う	4———3———2———1
26	多様な価値観を認め、尊重していると思う	4———3———2———1
27	様々なことに自ら進んで取り組んでいると思う	4———3———2———1
28	私たちは将来の世代に対する責任をもっていると思う	4———3———2———1

資料1のような28項目(23項目以下の質問はESDの理念を踏まえた項目となる)を「現代文B」科目の講座で取組を行ったところ、「A 自己評価・自己受容」「B 関係の中での自己」「C 自己主張・自己決定」の3項目において共に上昇した。詳細を挙げるならば、いずれの項目でも6名ずつ大きくポイントを高くした学習者がおり、「C」の項目で下降した学習者はいなかった。「A」の項目で若干のポイントが下降した2名の学習者に理由を尋ねると、「自分の創作作品が満足できなかった」「他の人は素晴らしい作品に仕上がっていたのに、自分の作品は上手く描けなかった」と回答した。講座受講者全体の自己評価としては、取組前よりも取組後の方が総合的に自尊感情が確かな上昇をみて取れた。8回にわたる美術講師の太田風人氏に、描画の技術を手解きいただいたことも、大きな力になった。自尊感情が上昇すると、「子どもたちを喜ばせたい」という貢献心や自己効力感が生まれる。自己効力感が育つと、自己肯定感が高揚する。そのような変容が一人一人の感想文からも読み取ることができた。

年度当初の計画では、絵本づくりから更に発展させる形で、学習者が完成させた創作絵本作品を、外部へ出かけて行っての「絵本の読み聞かせ」ライブを実施したいと考えていた。しかしながら、コロナ禍の状況により実施が困難となり、外部上演が中止となってしまった。生徒の情操教育の点でも、また、市民との交流学習へと取組の高度化を図るという点においても、実施が見送られてしまったことは誠に残念である。このライブが実現していれば、さらに成果が上がっていたのではないだろうか。



## ② 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

### ○絵本の読み聞かせ授業

#### 1 目的・ねらい

本校の生徒には人間関係をうまく構築することが苦手な生徒が少なからずおり、その背景には、自己肯定感が低く自己を認識することや他者の心情を適切に推測することができないという特徴がある。読み聞かせの体験をすることは子どもの感受性を豊かにしたり、想像力を高めたりする効果があり、読み手から聞き手に対して好感情を伝達する良い手段であるともされている。

生徒たちは評論文や随想などよりも物語文を好み、積極的に取り組もうとする傾向が見られる。また、小学校・中学校時代に読み聞かせの授業を体験し、そのことを良い思い出として記憶している者もいる。そこで「絵本の読み聞かせ」授業を受ける中で、生徒たちが絵本の世界を迫体験して想像力を向上させ、他者の心情を適切に推測する能力を身につけること、それに加えて、穏やかな気持ちで自分自身を見つめる機会とすることによって自己肯定感を高めることをねらいとする。

#### 2 内容

国語科の取組として夜間部生徒を対象に「絵本の読み聞かせ」授業を行った。講師（2名）は「とくしまお話を語る会」に依頼した。

#### 3 取組

使用図書は次のとおりである。

第1回 10月27日 1限目 1年次

題名	作者・訳者
どんぐりころちゃん	わらべうた
やさいのおなか	(作) きうち かつ
だいくとおにろく	(再話) 松居 直 (画) 赤羽 末吉
かきかきいくつ	わらべうた
わたしのそばできいていて	(作) リサ・パップ (訳) 菊田 まりこ
かぼちゃスープ	(作) ヘレン・クーパー (訳) せな あいこ

第2回 11月9日 1限目 1年次, 2限目 2年次

題名	作者・訳者
富士山うたごよみ	(作) 俵 万智 (絵) UG サトー
おまえうまそうだな	(作・絵) 宮西 達也
たべられたやまんば	【紙芝居】(脚本) 松谷 みよ子 (画) 二俣 英五郎
りんごの木	(作) 後藤 竜二 (絵) 佐藤 真紀子
パパがやいたアップルパイ	(文) ローレン・トンプソン (絵) ジョナサン・ビーン (訳) 谷川 俊太郎
おおきな木	(作・絵) シエル・シルバンスタイン (訳) ほんだき んいちろう

第3回 11月30日 1限目 1年次, 2限目 2年次

題名	作者・訳者	
きらきら	(文) 谷川 俊太郎	(写真) 吉田 六郎
つるようぼう	(再話) 矢川 澄子	(画) 赤羽 末吉
クマと少年	あべ 弘志	
三びきのこぶた	(訳) 瀬田 貞二	(画) 山田 三郎
だんまりくらべ	(文・絵) 遊子	

【生徒の感想】

- ・絵本の読み聞かせという機会が大きくなるに伴って少なくなっていくので、昔に読んだことのある絵本や読んだことのない絵本を読み聞かせで知ることができるととてもいい機会だと思います。
- ・絵本の素晴らしさを知ることができました。また聞きたいです。
- ・アイヌのお話が一番良かった。絵も話もダイナミックで素晴らしかった。りんごパイの話もかわいくて良かった。
- ・知らない本だったけれど、おもしろかったです。
- ・講師の先生方は、絵本が見やすいように聞きやすいように工夫してくれているんだなを思いました。
- ・久しぶりに聞いた物語が多くて、すごく良かった。文字を読むのがきらいなので、聞くのはすごく良かった。
- ・絵本の読み聞かせは好きなので、毎回楽しみだった。とても楽しかった。
- ・講師の先生の声が寝てしまいそうなくらいいい声で良かったです。

【令和2年度に実施したループリック評価】

読み聞かせの授業 アンケート (令和2年度 受講生徒全体)

それぞれの質問について、1～5の中から自分に当てはまるものを選び、回答らんに数字で答えてください。  
※読み聞かせの授業を受ける前と、受けた後の二つ回答らんがあるので、両方とも答えてください。

						回答らん		
		5	4	3	2	1	読み聞かせの授業を受ける前	読み聞かせの授業を受けた後
読書について	授業を通して本への興味が広がり、好きなジャンルだけでなくいろいろな本を読んだり楽しんでいる。(様々なジャンルの本を読む)	読み聞かせの授業を受け、マンガや絵本以外の本も読んでみたいと思うようになった。(マンガや絵本以外の本も読む)	読み聞かせの授業を受け、絵本に興味が出てきた。(絵本への興味がある)	機会があれば、絵本やマンガを読みたいと思う。	小説やエッセイ、絵本以外にマンガも読むことがない。	2. 86 (2.41)	3. 11 (3.41)	
興味・関心について	授業を楽しく受け、登場人物の気持ちに共感したり、自分の生活と結びつけて考えたりすることができた。(本を読んで自分の生活に生かすことができる)	読み聞かせの授業を楽しく受け、好きな場面など自分なりの感想をもつことができた。(本を読んで自分の感想をもつことができる)	読み聞かせの授業を楽しく受け、自分なりの感想をもつことができた。(読み聞かせに興味がある)	読み聞かせの授業をまあまあ楽しく受けることができた。(読み聞かせに少し興味がある)	読み聞かせの授業は退屈であった。(読み聞かせに興味がない)	2. 29 (2.68)	3. 56 (3.09)	
コミュニケーション能力について	聞いた話から感じたことを誰かに伝えることができる。	授業の聞き手と話を聞き、自分が楽しく聞いていることも態度で伝えることができた。(拍手を送る、おもしろい所では笑うなど)	授業の間、顔を上げて講師の先生の話がききちゃんと聞くことができた。	先生に起こされたり注意をされたりすれば、授業の間講師の先生の話聞くことができた。	授業の邪魔をしたり、または講師の話を聞いたり寝てしまったりした。	3. 57 (2.91)	3. 56 (3.50)	
授業への参加・積極性	自分から行動し積極的に活動(授業)に参加することができ、周りの生徒とも協力することができた。	自分から行動し、積極的に活動(授業)に参加することができた。	積極的にではないが、活動(授業)に参加することができた。	先生から促されたり話しかけられたりすれば活動(授業)に参加することができた。	ほとんど活動(授業)に参加をしなかった。	3. 00 (2.91)	3. 44 (3.50)	

( )内は令和元年度

本年度、読み聞かせの授業を受けた生徒のアンケート結果をみると、「読書について」「興味・関心について」「授業への参加・積極性」の項目で授業を受けた後の数値が高くなっている。特に「興味・関心」について大幅に数値が上昇しており、生徒が読み聞かせについて高い興味関心を持ち、積極的に授業に参加していたことが分かる。「コミュニケーション能力について」の項目について授業の前後で微減しているが、自分の思いを表現するのが得意ではない生徒が多いことと、そのような生徒に実際に読み聞かせをする体験の機会を設けられなかったことが影響しているように思われる。

読み聞かせの授業 アンケート（令和2年度 2年次生前年度との比較）

それぞれの質問について、1～5の中から自分に当てはまるものを選び、回答らんに数字で答えてください。  
※読み聞かせの授業を受ける前と、受けた後の二つ回答らんがあるので、両方とも答えてください。

	5	4	3	2	1	回答らん	
						読み聞かせの授業を受ける前	読み聞かせの授業を受けた後
読書について	授業を通して本への興味が広がり、好きなジャンルだけでなくいろいろな本を読んで楽しんでいる。 (様々なジャンルの本を読む)	読み聞かせの授業を受け、マンガや絵本以外の本も読むようになった。 (マンガや絵本以外の本も読む)	読み聞かせの授業を受け、絵本に興味が出てきた。 (絵本への興味がある)	機会があれば、絵本やマンガを読みたいと思う。	小説やエッセイ、絵本以外にマンガも読むことがない。	3. 17 (2.89)	3. 56 (3.56)
興味・関心について	授業を楽しく受け、登場人物の気持ちに共感したり、自分なりに生活と結びつけて考えることができた。 (本を読んで自分の生活に生かすことができる)	読み聞かせの授業を楽しく受け、好きな場面でき、好きな感想と自分なりの感想をもつことができた。 (本を読んで自分の感想をもつことができる)	読み聞かせの授業を楽しく受け、興味がある。	読み聞かせの授業をまあまあ楽しく受けられた。 (読み聞かせに少し興味がある)	読み聞かせの授業は退屈であった。 (読み聞かせに興味がない)	2. 50 (3.00)	3. 57 (2.50)
コミュニケーション能力について	聞いた話から感じたことを誰かに伝えることができる。	授業の間さちんと話し聞き、自分が楽しく聞いていることを伝えることができた。 (拍手や送る、おもしろい所では笑うなど)	授業の間、顔を上げて講師の先生の話をさちんと聞くことができた。	先生に起こされたり注意をされたりすれば、授業の講師の先生の話を聞くことができた。	授業の邪魔をした後、または講師の先生の話を聞いていなかったり復してしまった。	3. 83 (3.22)	3. 71 (3.56)
授業への参加・積極性	自分から行動し積極的に活動(授業)に参加することができ、周りの生徒とも協力することができた。	自分から行動し、積極的に活動(授業)に参加することができた。	積極的に活動(授業)に参加することができた。	先生から促されたり話しかけられたりすれば活動(授業)に参加することができた。	ほとんど活動(授業)に参加をしなかった。	3. 17 (3.11)	3. 57 (3.56)

( )内は令和元年度

本年度の2年次生は昨年度から継続してこの読み聞かせの授業を受講している。読み聞かせの授業を受ける前の数値を比較すると、「読書について」「コミュニケーション能力について」「授業への参加・積極性」の項目において本年度の数値が昨年度より高くなっている。また、「コミュニケーション能力について」では昨年度の読み聞かせの授業を受けた後よりも、本年度の授業を受ける前の方が数値が高い。

継続して読み聞かせの授業を受講させることによって、生徒の本や読書に対する意識が高まり、コミュニケーション能力や授業への積極性が徐々に増していったのではないかと思われる

#### 4 成果

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、1つの教室に入る人数を少なくするため、1年次と2年次を別々の教室で読み聞かせの授業を受けた。

読み聞かせの授業を受ける前に、生徒には簡単にどのような事をするかの説明を行ったが、その際には「楽しみだ」「絵本が好きだ」といった声が聞かれ、生徒の読み聞かせに対する印象の良さがうかがわれた。初回(10月27日)の授業では、1年次の生徒達が講師の先生方に対して少し緊張した様子で、わらべうたを一緒に歌ったり、先生の問いかけ

に積極的に答えたりすることはできなかったが、聞く態度はとてもよかった。2回目(11月9日)・3回目(11月30日)の授業では、初回よりもずいぶん緊張もほぐれ、生徒がリクエストした絵本を先生方が読んでくださったこともあってより楽しむ雰囲気が感じられた。先生の問いかけにも返答する生徒もおり、積極性が増した様子も見受けられた。また、「もう読み聞かせの授業終わりかぁ」といった、残念そうな発言があったことが印象的であった。

全体的には様々な行事がなくなったり、教室で友人と距離と取って過ごしたりするなど、多くの制限の中で学校生活を送る生徒にとって、読み聞かせの授業を受けることは気持ちの安定につながったように感じられる。実際に読み聞かせを終えた後には穏やかな表情で落ち着いて授業に取り組む様子も見受けられた。例年とは違う特殊な一年となった今年度において、心を落ち着けて学校生活に取り組むための一つの環境づくりのために、読み聞かせ授業はたいへん有意義であったと考えている。



## 5 今後の課題

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために前年度までのような全学年一斉に授業を受け、ペアワークをするといった授業を行うことができなかった。読み聞かせの授業を楽しみにしており、聞く姿勢が積極的であった生徒の様子を見ると、読み聞かせを実際にやってみるといった体験をさせてあげられなかったことは残念であった。今後は感染症対策を万全にし、何らかの形でこのような体験授業を行いたいと考えている。

本年度	1年	2年	3年	4年	昨年度	1年	2年	3年	4年
1時間目	○				1時間目	○			
2時間目	○	○			2時間目	○			
3時間目	○	○			3時間目		○		
4時間目	○	○	○	○	4時間目	○			
5時間目	○	○	○	○	5時間目		○		

### ③ 富岡東高等学校定時制課程

#### ○校内研修等について

##### 1 目的・ねらい

研修会や情報交換・情報共有を通して、教職員の教育的スキルや資質の向上を図り、特別な支援を必要とする生徒に対する理解ときめ細かな支援・指導の充実に繋げる。

##### 2 内容

自尊感情・自己肯定感について正しく理解し自尊感情の育て方について考えることにより、生徒に対する理解ときめ細かな支援・指導の充実に繋げ、生徒のソーシャルスキル向上を図るための基盤となる自尊感情・自己肯定感の向上を図る。

##### 3 取組

昨年度、池田高校定時制が実施した取組を、今年度、本校で実施し、池田高校の成果を本校で継承する。

- 1) 東京都教職員研修センター紀要「自尊感情測定尺度」を用いて、各生徒の自尊感情に関する自己評価を、毎学期（年3回）調査する。
- 2) 研修会を開き、調査結果を基に個々の生徒の傾向を分析し、指導方法を教職員間で確認する。

#### ※「自尊感情測定尺度」アンケートについて

- ① 合計22問、5段階の評価（「あてはまる」5点～「あてはまらない」1点）

質問（抜粋）問1 私は今の自分に満足している。

問2 私は自分のことが好きである。

- ② 自尊感情を構成する3つの観点（下記）ごとに傾向把握ができるよう、回答結果が集計され、レーダーチャート（図1）が表示されるエクセルシートをダウンロードして使用する。

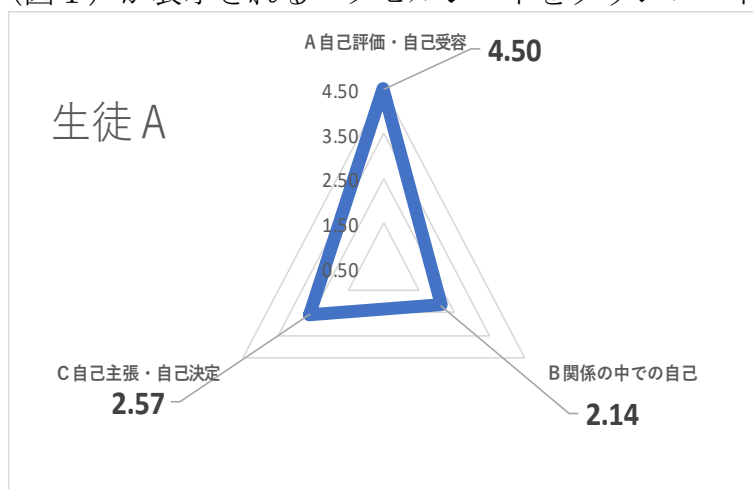
「A自己評価・自己受容」

「B関係の中での自己」

「C自己主張・自己決定」

図1：レーダーチャート

（生徒Aの回答から  
集計された結果値を  
示した図）



## 4 成果

生徒の一人一人の回答結果から得られたレーダーチャートを、全教職員が意識して、教科指導や生徒指導等にあたった。

図2～図5の使用データ	1学期	2学期	3学期	
富岡東	令和2年度	6月	11月	※( )は、各学期に該当するデータがないため、参考使用
池田高	令和元年度	4月	(7月)	
東京都	平成21年度	(12月)	12月	

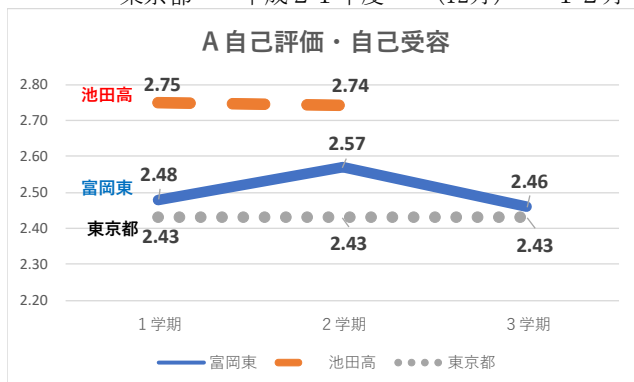


図2:観点A「自己評価・自己受容」三者比較

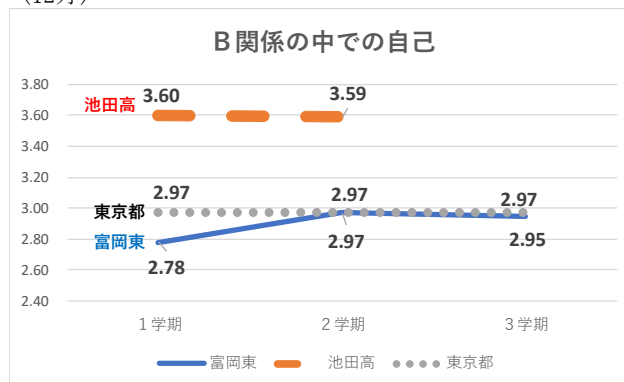


図3:観点B「関係の中での自己」三者比較

図2より、観点A「自己評価・自己受容」が、富岡東が東京都よりも高い値を示した。この観点は、富岡東の生徒の強みとして捉えることができる。

図3より、観点B「関係の中での自己」の値については、1学期に富岡東は東京都より低かったが、その後東京都に近づけることができた。

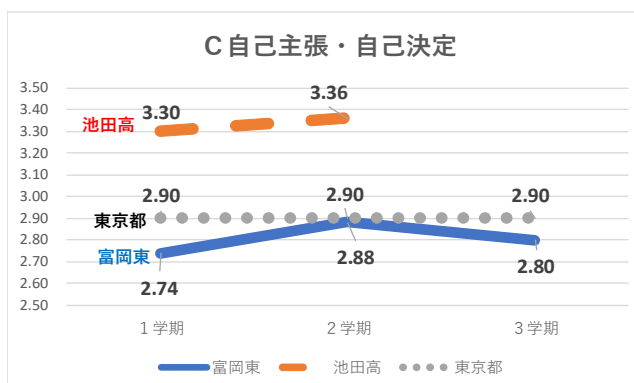


図4:観点C「自己主張・自己決定」三者比較

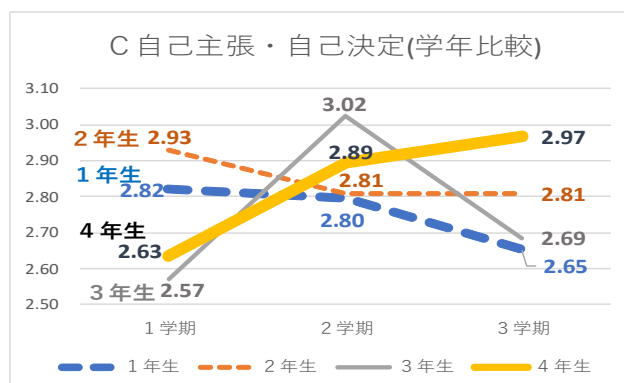


図5:観点C「自己主張・自己決定」学年比較

図4より、観点C「自己主張・自己決定」は、1学期から2学期で伸ばすことができ、東京都の値に近づいた。しかしながら、3学期はわずかながら下がることとなった。

図5より、観点Cは、4年生が進路決定に向けて高まっていったと捉えている。

## 5 今後の課題

観点AとCにおいて、2学期に高めることができたものの、3学期に低くなった。このことから、来年度はこれらの観点を強めることができる行事などを3学期に実施するなどの方策を実施したい。

また、スクールカウンセラーより助言を得て、レーダーチャートをさらに有効に活用していきたい。



## ④ 名西高等学校定時制課程

### ○コミュニケーション能力育成指導

#### 1 目的・ねらい

昨年度の取組として、レクダンス、楽器体験演奏、からだところの栄養について講演会を実施した。現在本校生徒の多くは真面目ではあるが、自己肯定感が低い生徒がいる。また対人関係に悩み、コミュニケーションも十分にとれない生徒もいる。そのため、情操教育やソーシャルスキル向上の取り組みを継続することは重要である。まずは学校生活の中で主体的に行動する力を育成する。

#### 2 内容

本校生徒の情操を養い、ソーシャルスキルの向上につながると思われる教育活動を講師派遣制度を利用し、全生徒・全教員で取り組む。

#### 3 取組

日時 令和2年9月25日（金）18:10～19:20

講師 専門学校健祥会学園 作業療法士 井出 法子 先生

##### i 講義

- ・コミュニケーションについて考える
- ・作業療法士の役割
- ・コミュニケーション能力は必要か

##### ii 実習

- ・話から絵を描いてみる
- ・インタビュー戦略



## 4 成果

### 【自己評価表】

	4	3	2	1	R1レダス R1楽器演奏	R2 コミュニケーション
傾聴力	目線を合わせながら、相づち等のリアクションをした	目線が合う、もしくはある程度リアクションをした	目線を合わせず、リアクションもあまりしなかった	他のことに気が散って話を聴くことができなかった	3.4 3.2	3.6
参加意欲	積極的に参加し、周りに対してもよい雰囲気を作った	ある程度積極的に参加し、周りに合わせようとした	あまり積極的には参加しなかった	全然参加しようとしなかった	3.5 3.1	3.5
理解力	指示等を受けて率先して行動し、仲間にも説明できた	指示等を受けてある程度周りに合わせて行動した	指示等を受けて仕方なく行動した	指示等を受けても行動しなかった	3.5 3.0	3.5
総合評価	自分のスキル向上に非常にためになる内容だった	自分のスキル向上にある程度ためになる内容だった	自分のスキル向上にあまりためにならない内容だった	自分のスキル向上に全然ためにならない内容だった	3.4 3.1	3.6

### 【生徒の感想】

- ・コミュニケーションとはこれから生きていくために必須のものだと思いました。
- ・前でインタビューは緊張してちゃんとできなかったのでもやしいかったです。
- ・私は人見知り激しく、肝心な時ほど人に誤解を受けます。勉強になりました。
- ・人と気持ちよくつきあうため、今日教えていただいたことを意識したいと思います。
- ・今後の生活にとっても参考になりました。友達や家族にも使おうと思いました。
- ・目を合わせたり、相づちを打ったり、うなづくことが対話では大事なことを知りました。

## 5 今後の課題

振り返りシートの中で生徒の態度面での自己評価は概ね良好であった。しかし他者との関係づくりを構築できない、あるいは苦手な生徒もいる。今回の講演をきっかけとして学校生活の中でどう生かしていけるか。コミュニケーションに関する能力と密接に関係すると考えられる思考力、判断力、表現力について育成できるよう学習や学校行事での活動の場を意図的、計画的に設定する必要がある。



## ⑤ 池田高等学校定時制課程

### ○自分や他人を大切にすることを意識した教育活動

#### 1 目的・ねらい

豊かな情操や安定で健康な心身を養いながら、自尊感情・自己肯定感の醸成を目指すとともに、協働的な活動によりコミュニケーション能力の育成を図る。

#### 2 内容

協働的な活動を多く取り入れ、対人関係を円滑に運ぶためのスキルの向上を図る。また、音楽に関する活動や体力増進講座等を通して、自分と向き合わせ豊かで強い心身や自尊感情の醸成に繋げる。

#### 3 取組

- ◇ 協働的な活動（フィルム付きホワイトボードの活用） HR活動：6回  
グループ活動のルール徹底（相手の意見を否定しない、うなづく…等）
- ◇12月 体力増進講座 「体力増進エクササイズとストレッチ」  
講師：スタジオFUN 土井逸子 氏
- ◇1月 メンタルヘルス講演会「いろいろな考え方を知ろう」  
講師：スクールカウンセラー 國見 由紀氏
- ◇2月 スクールソングプロジェクト 「生徒の詩に曲をつける」  
講師： ゆりり(シンガーソングライター)

#### 4 成果

ホームルーム活動は全学年合同で学年混合のグループを設定し、ホワイトボードを活用しながら、様々な意見をまとめたり共感する中でコミュニケーション能力等の育成を図ることができた。7月に行った道徳的行動アンケートでは、比較する母集団は異なるが、「規則正し生活をする」「健康のために適度に運動を心がける」「時と場所を考えてふさわしい言動をする」「周りの人を大切にする」「相手の個性や立場を大切にする」「様々な見方や考え方あることを受け入れる」では、昨年度より高い数値が出ていた。また、自分の心身の健康にも目を向けさせるため体力増進講座等の取組を行った。体力増進講座の実施後アンケートでは「体力増進を意識するようになった」：94%、「継続して運動していこうと思う」：94%であり、感想では「運動をあまりしていなかったので、少しきつかったけど楽しくできてよかった。」などの前向きな意見が見られた。

◆ 道徳的行動アンケート 抜粋（全18問） 5段階平均

設 問	R1. 12月	R2. 7月
1 規則正しい生活をする	2.75	<b>2.85</b>
2 健康のために適度に運動を心がける	2.80	<b>3.05</b>
3 時と場合を考えてふさわしい言動をする	3.70	<b>3.85</b>
6 周りの人を大切にする	3.85	<b>4.10</b>
7 相手の個性や立場を大切にする	4.15	<b>4.20</b>
8 様々な見方や関わり方があることを受け入れる	4.20	<b>4.25</b>

5 今後の課題

ソーシャルスキルについて理解はできていても行動に結びつかない場合があるので、様々な場面を設定し、行動に結びつけられるような活動を実施していく。

### 3) 学力向上支援

#### ① 徳島中央高等学校定時制課程夜間部

##### ○多くの人の関わりにより学習機会を増やす学力向上支援

##### 1 目的・ねらい

夜間部の学力向上支援のねらいは、大きく三つに分けることができる。

一つは基礎学力の向上を目指すことである。高等学校の学習内容の理解に必要な学力の定着を図るとともに、一般常識や人間関係を築く力等の社会生活をしていくために必要な力を養い、自ら学ぶ態度を育てることを目標とする。

二つ目は義務教育段階の学習内容の再学習（学び直し）を行うことである。様々な原因により小学校・中学校での学習内容を身に付けることができている生徒に対し、高等学校の学習内容の理解に必要な基礎学力の定着と並行して行う。

三つ目は教員以外の大人と学習する機会を設けることでコミュニケーションや交流を通して、信頼が生まれ悩み相談や進路相談につなげていく。また自分の将来像を考える契機にもなり、学習意欲や勉強に向かう意識向上を図ることに結びつける。

##### 2 内容

義務教育段階の国語、数学を中心に学び直しを行う学校設定教科「マルチ基礎」、放課後や長期休業日中の課外時間における自主学習時間「ハッピータイム」において、生徒一人一人の実態に応じた支援を行っている。特に「マルチ基礎」および「総合的な学習・探究の時間」の授業では、教員に加えて鳴門教育大学臨床心理士養成コースの大学院生や支援相談員が、一人一人の生徒に寄り添いながら学習支援を行っている。

##### 3 取組

学校設定教科「マルチ基礎」は、週1時間（1単位）の科目として1～3年次の生徒を対象にホームルーム主体の授業となっている。各ホームルームに複数名の教員と将来臨床心理士を目指して鳴門教育大学の大学院生1名が教室に入り学習指導を行っている。各ホームルームとも多様な生徒がいるため、マンツーマンで学習指導を行う場合もあれば、1名の指導者が複数名の生徒の指導を行う場合もある。学習指導で注意していることは、できないことの再確認するのではなく、自分で「できること」の実感と「教えてもらってできるようになること」の達成感や成就感を生徒に経験してもらうことを目的としている。さらに、小学校・中学校での学習時に理解できなかったことに対しては、異なるアプローチにより理解を目指すよう工夫している。

自主学習時間「ハッピータイム」を設定し、参加を全員の生徒に呼びかけ、自らが目標に向かうとともに自ら学ぶ態度を育むことを目指している。「ハッピータイム」での学ぶ内容や方法は多様であり、生徒の実態に合わせて適切に教員が対応するようにしている。

#### 4 成果

学校設定教科「マルチ基礎」や「ハッピータイム」での学習支援を行う理由として、正担任・副担任に加えて比較的年齢の近い大学院生が一緒に参加することで明るい雰囲気の中で授業を進めることができるためである。マンツーマンに近い形で指導できるので、わからないことをわからないと言うことで、生徒は学び直しをスムーズかつ効果的に行うことができている。また、教員、支援相談員及び大学院生とのコミュニケーションをとることにより、基礎学力の向上だけでなく社会人として必要な力を養うきっかけとなっている。さらに、国語、数学の授業との連携により、生徒の学習意欲の向上および基礎学力の向上が実感できる。

#### 【令和2年度に実施したルーブリック評価】

令和2年度 徳島中央高等学校 「マルチ基礎」及び「職業基礎」のルーブリック評価（全体）

※下の欄に年度当初（7月頃）と年度末（12月頃）の自分を評価1～5を記入してください

学年 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

評価項目	マルチ基礎				職業基礎		日頃の取り組み	
	国語（漢字）を考え解く力	数学を考え解く力	マルチ基礎の取り組み方	相談支援員や大学院生とのコミュニケーション	職業基礎についての興味関心	職業基礎への取り組み方	他者との関わり	自分を知る
1	自分で解くことができないものは20%未満	自分で解くことができないものは20%未満	必要に応じて一生懸命に取り組まない。	自分の方から話しかけることができない。	授業内容が社会に出て役に立たない。	自分の将来について興味を持って取り組まない。	話しかけられても返事が十分でない。	気分によって取り組み方が異なる。
2	自分で解くことができないものは40%未満	自分で解くことができないものは40%未満	友達や先生に質問できる。	相談支援員や大学院生から話を聞ける。	仕事をするための興味関心が乏しい。	授業内容は受け身で理解できない。	誰かの人と話をしたい。	何をすべきかわからない。
3	自分で解くことができないものは60%未満	自分で解くことができないものは60%未満	積極的に質問できる。	相談支援員や大学院生と話を聞ける。	社会に出た時に役立つ知識がある。	知識を習得する機会がある。	必要な場面では話せる。	先生や先輩から話を聞ける。
4	自分で解くことができないものは80%未満	自分で解くことができないものは80%未満	できる限り自分で書ける。	相談支援員や大学院生と話を聞ける。	マナーや一般常識を知りたい。	自分の進路について積極的に考える。	校内生や先輩と話をしたい。	自分の学習計画を立てている。
5	自分で解くことができないものは80%以上	自分で解くことができないものは80%以上	得意な問題も復習する。	相談支援員や大学院生と話を聞ける。	学習内容を汎用性高く身につけて生活改善に繋げたい。	授業内容を応用して日常生活に取り入れる。	地域の人の職業について話を聞ける。	将来の目標を掲げ行動している。
当初	2.56	2.31	2.44	2.56	2.42	2.25	2.50	2.25
最終	3.38	3.19	3.00	3.31	2.92	2.77	3.00	2.63
備考								

マルチ基礎を授業を受けた生徒の各評価項目の平均値は、年度当初より年度最終の方が高くなっている。「国語（漢字）を考え解く力」が2.56ポイントから3.38になった。わからない問題は毎時間、国語辞典や漢和辞典を使用し、正答を見つけ出すことに慣れ少しでもわかろうと一生懸命取り組んでいる。「数学を考え解く力」については、平成30年度は年度当初より年度最終のポイントと下がったため、生徒の理解度にあわせたバランスのいい問題形式に精選し直した結果、昨年度から最終年度のポイントが上がっている。特に、生徒は大学院生と一緒に勉強をしたり、コミュニケーションをとったりすることを楽しみにしている。本年度は大学院生が学校行事にも積極的に参加していただき、大学院生とのコミュニケーションをする時間が増加した。年度を重ねるとと

もに年度当初の値が高いポイントからのスタートとなり全般に数値が高くなった。

12月末に実施した生徒授業評価では、「そう思う」「だいたいそう思う」を選んだ生徒の割合は、「授業内容はちょうど良い」が94%、「授業内容に満足している」が81%、「授業内容が理解できた」が83%となっている。

## 5 今後の課題

夜間部における「身に付けさせたい学力とは何か」を明確にし、全教員で共有することを年度当初に行い、更なる学力向上支援み繋げていきたい。また、生徒の学力向上を目的として設定している学校設定教科とその他の教科との横断的連携を一層進め勧めることで身に付けてほしい学習内容を確実に定着させることである。

## ② 富岡東高等学校定時制課程

### ○購入図書について

#### 1 目的・ねらい

2年生の授業「情報」において、文書作成ソフトや表計算ソフトに関する知識・技能を発展的な内容として習得させ、進学や就職に生かす。

#### 2 内容

下記の図書を購入・利用する。

- 1) 令和2年度版 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 3・4級（実教出版）
- 2) 令和2年度版 全商情報処理検定模擬試験問題集 3級（実教出版）

#### 3 取組

購入した図書を、2年生の情報の授業で、参考図書として使用する。

ルーブリック評価を、各学期末に実施することにより、その成果を検証する。

到達目標	主な評価基準		
	十分に到達できている	一部は到達できている	到達に相当の努力を要する
1. 文書作成ソフト (Word) を活用することができる	(1)素早く文字を打つことができる	素早くはないが、文字を打つことができる	なかなか文字を打つことができない
	(2)ミスタイプなく文字を打つことができる	ミスタイプはあるが、正確に文字を打ち直すことができる	ミスタイプばかりで正確に打つことができない
	(3)フォント、文字の配置を自由に變更させることができる	フォント、文字の配置を變更することができる	フォント、文字の配置を變更することができない
	(4)表を挿入し、編集することができる	表を挿入はできるが、十分に編集できない	表を挿入できない
2. 表計算ソフト (Excel) を活用することができる	(5)表に罫線を引き、太さや線種を自由に變更することができる。	罫線を引くことができるが、線の種類を十分に變更することができない	罫線を引くことができない
	(6)平均、最大値、最小値を自由に求めることができる	平均、最大値、最小値を決まった範囲では、求めることができる	平均、最大値、最小値を求めることができない
	(7)IF、LEFTの関数を自由に活用することができる	IF、LEFTの関数を、一部使うことができる	IF、LEFTの関数は使うことができない
	(8)COUNTなどの関数を自由に活用することができる	COUNTなどの関数を、一部使うことができる	COUNTなどの関数は使うことができない
	(9)フォント、文字の配置を自由に變更させることができる	フォント、文字の配置を變更することができる	フォント、文字の配置を變更することができない
	(10)どの列に関しても自由に並べ替えをすることができる	決まった列に関して並べ替えることができる	並べ替えることができない
	(11)グラフを挿入し、自由に編集することができる	グラフを挿入することができる	グラフを挿入することができない

表1：2年生「情報」評価

#### 4 成果

図6「2年生の『情報』の評価の」結果より、質問項目(4)(8)(9)に関しては、1学期末から、2学期中間、2学期後半へと、取り扱う内容な高度なものになっていった。このことから、「十分に到達できている」の割合が減少した。

一方で、(5)を除くすべての質問項目で、「到達に相当の努力を要する」が、2学期末に、0%とすることができた。(5)に関しては、3学期に取り扱う内容であり、学年末には、「到達に相当の努力を要する」を0%にするよう指導に取り組む。

2年生「情報」の評価

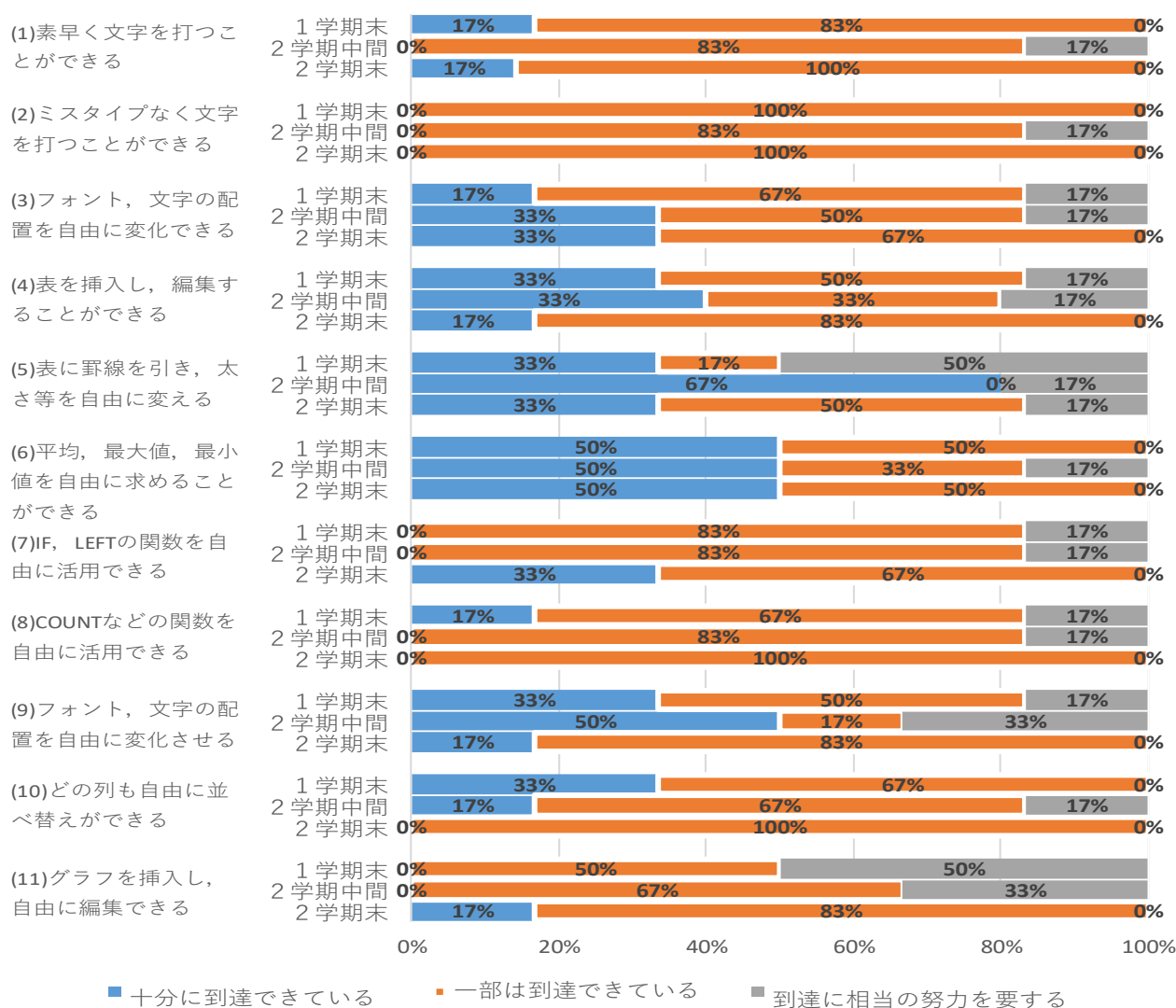


図6：「2年生の『情報』の評価」の結果

#### 5 今後の課題

教科「情報」で身につけたスキルを生かして、「全商ビジネス文書実務検定」と「全商情報処理検定」の受検を奨励し、学習意欲向上と就職・進学指導につなげたい。

### ③ 名西高等学校定時制課程

#### ○資格取得に向けた図書の購入

##### 1 目的・ねらい

本校生徒は、様々な理由から基礎学力が不足しているものが多い。生徒の実態を把握し、指導の重点化と目標の明確化を図り、学力向上に努めさせる。また、自ら努力する習慣を身につけさせ、より高い資格等の取得を実現させる。

##### 2 内容

高校生が取得できる資格は、様々なものがあるが、一番身近で取り組みやすい日本漢字能力検定の資格を希望者に取得させている。漢字検定は授業で学んだ漢字の定着度を確認する機会として、授業の延長線上に位置づけられる。自由に借りられる教材を用意し、自主的に学習できる環境を整えるため、学習教材図書を購入し活用する。

##### 【購入図書】

- ・漢字検定 2 級頻出度順問題集（高橋図書）
- ・漢字検定 準 2 級頻出度順問題集（高橋図書）
- ・漢字検定 3 級頻出度順問題集（高橋図書）
- ・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

##### 3 取組

全学年国語の授業で、漢字検定の問題演習に取り組む。問題形式に慣れさせるとともに漢字は書いて覚えるものという意識ではなく、教員は生徒の視点に立って、分かる楽しさや学ぶ喜びが味わえるような期待感のある授業作りをする。受検希望者は、年に 3 回検定日が設けられており、全日制の生徒とともに希望する級を受検する。対策として、授業の他購入図書を活用して問題演習を行う。また、長期休業中や休日にはプリントを配付し、自主学習をさせる。

##### 4 成果

##### 漢字検定受検状況

平成 30 年度	2 級 2 名（受検者 2 名） 準 2 級 1 名（受検者 2 名） 3 級 1 名（受検者 5 名）	合格者数 4 名（受検者 9 名）
令和元年度	2 級 1 名（受検者 2 名） 準 2 級 2 名（受検者 4 名） 3 級 3 名（受検者 8 名）	合格者数 6 名（受検者 14 名）
令和 2 年度	2 級 1 名（受検者 2 名） 準 2 級 0 名（受検者 3 名） 3 級 1 名（受検者 5 名）	合格者数 2 名（受検者 10 名）

※令和 2 年度は第 2 回までの数



## 英語検定受検状況

令和2年度	； 準2級1名（受検者1名）
-------	----------------

### 5 今後の課題

年度当初、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出を受けた学校の臨時休校中、生徒全員に国語科の課題として漢字の学習に取り組ませた。漢字検定過去問題集を利用し、学習を重ねるうちに、勉強のきっかけをつかんだ（興味を持った）生徒は漢字検定への挑戦の意欲も見せ始めた。過去2年間と比較し受検者数、合格者数に大きな変化は見受けられない。しかし、生徒が自主的に昼間登校、あるいは放課後居残り勉強するなど漢字検定合格という目標の下、意欲的に勉強に励む姿は、今までの定時制生徒には見られなかった一面である。今後も指導法に工夫を重ね、生徒自身が興味・関心を持ち、自ら課題解決に努めることができる生徒の育成を図りたい。

## ④ 鳴門高等学校定時制課程

### ○購入図書について

#### 1 目的・ねらい

本校のほとんどの生徒は、学習意欲が低く、基礎学力も定着していない。就職試験で、一般教養や適性検査で点数が取れず、不採用となる生徒が少なくない。進学する生徒も、入学試験や進学先で基礎学力は必要である。進学や就職の試験時に必要とされる基礎学力定着に向けた学習のための図書を購入する。

#### 2 内容

次の図書を購入した。

就職試験基本ガイド（増進堂） 1, 078円

#### 3 取組

問題集を出題範囲とした、年間4回の基礎学コンペ（実力テスト）をホームルーム活動の時間で実施し、全生徒の基礎学力を定着させる取り組みを行う。国語、社会、数学、理科、英語の教科担任全員が、授業中に指導する。

令和2年6月12日（金）	国語，社会，数学	4限	ホームルーム活動
10月9日（金）	数学，理科，英語	4限	ホームルーム活動
11月27日（金）	国語，社会，数学	4限	ホームルーム活動
令和3年1月15日（金）	国語，理科，英語	4限	ホームルーム活動



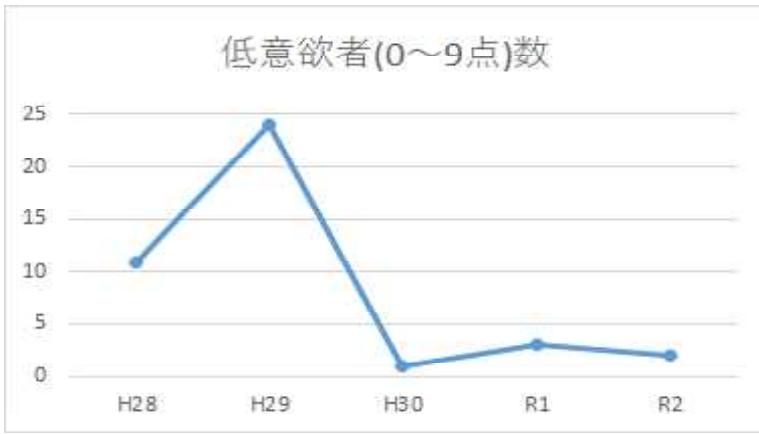
#### 4 成果

多くの生徒が基礎学コンペに一生懸命に取り組むようになってきている。意欲が低い生徒（低得点者）は数年間で減少傾向にある。本年度、学校を通しての就職希望者3名中、大企業を希望する2名は1回目の受験で内定となった。また、中企業を受験した1名も1回目の受験で内定となった。進学者も、合否待ちの生徒1名以外は、全員第1希望の進学先に合格している。

#### 5 今後の課題

問題集の難易度や生徒の入れ替わりにも関係してくるが、本年度の平均点は、5年間で一番低くなった。出席率も一昨年度、昨年度と比較して、低くなっている。次年度の課題として、改善するように全職員で取り組む必要がある。

6 基礎学コンペ成果推移

	H28	H29	H30	R1	R2
<b>年間平均点</b>	<b>261.6</b>	<b>209.5</b>	<b>290.4</b>	<b>218.1</b>	<b>195.3</b>
※500点満点 ※令和2年度は全4回のため×1.25しています	 <p style="text-align: center;">年間平均点</p>				
<b>出席率</b>	<b>87.69%</b>	<b>82.64%</b>	<b>92.76%</b>	<b>90.20%</b>	<b>85.64%</b>
(年間欠席数)	32	46	17	24	29
	 <p style="text-align: center;">出席率</p>				
<b>低意欲者(0~9点)数</b>	<b>11</b>	<b>24</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>
(0点)	7	16	1	0	0
(1~9点)	4	8	0	3	2
※100点満点中 ※同人物の重複あり	 <p style="text-align: center;">低意欲者(0~9点)数</p>				

## 4) 特別な支援を必要とする生徒への指導

### ① 名西高等学校定時制課程

#### ○アロマセラピー体験

##### 1 目的・ねらい

本校の重点目標の1つとして、勤労と学業の両立を図り、社会で自立する能力や態度を育成することをあげている。現在就労している生徒は約71%であるが、自己肯定感が低く積極性に欠けるところが見られる。また生活環境や対人関係に悩みを抱えたり、様々な障がいがある生徒も在籍している。そこで、アロマセラピー療法を通して、リラックス効果や集中力をサポートし、日常生活を精神的に豊かなものとする。

##### 2 内容

香りが心や体に及ぼす影響について学び、嗅覚の特徴やアロマセラピーの活用法について講義を受けるとともに、アロマスプレーの制作に全学年で取り組む。

##### 3 取組

日時 令和2年7月27日(月) 18:40～20:10

講師 四国大学短期大学部 人間健康科介護福祉専攻 濱 若菜 先生

##### i 講義

- ・嗅覚の特徴
- ・アロマセラピーの目的と方法・活用
- ・香りの種類と効能について



##### ii 実習

アロマオイル(精油)・無水エタノール・精製水を使用し、ローズマリー(効能:記憶力アップ)、ラベンダー(効能:リラックス効果, 安眠作用)の2種類のアロマスプレーを制作



#### 4 成果

まず講演を聴く際の姿勢や注意事項について指導した。背筋を伸ばし、いすにもたれない。手は膝の上。講演者の顔をしっかりと見るなど。当たり前のことではあるが、事前に確認しておくことで生徒の意欲，理解度はぐっと上がる。

講演終了後には質問時間を設けた。緊張感があったと思うが数名の発表者があった。疑問や感想を述べることで人前で発言する度胸であったり，講演内容を自分のものとすることができる。

##### 【生徒の感想】

- ・アロマの存在を全く知らなかった
- ・香りに癒やし効果があることは知っているがアロマの活用法や種類によって効能がたくさんあることに驚いた
- ・みんなと一緒にアロマスプレーを作ったのが楽しかった

#### 5 今後の課題

においの好みは千差万別であり，今回制作した2種類のアロマによって香りの癒やしが全員に効果があったとは限らない。しかし香りは幸せな気分させるなど感情面に深くかかわること，介護療法にも使用されていることがわかり，その存在を知ることができた。何より生徒が講演の最後に自らの考えを発表・質問できたことは精神的に成長している証ではないだろうか。有意義な講演会であった。今後も教育活動を通して，社会に貢献できる人材の育成に努めたい。

## ② 池田高等学校定時制課程

### ○校内職員研修等について

#### 1 目的・ねらい

研修会や情報交換・共有を通して、教職員の教育的スキルや資質の向上を図り、特別な支援を必要とする生徒に対する理解ときめ細やかな支援・指導の充実に繋げる。

#### 2 内容

自尊感情・自己肯定感について正しく理解し自尊感情の育て方について考える。

#### 3 取組

◇7月 自尊感情アンケートの選別と実施

東京都教職員研修センター紀要 「自尊感情測定尺度」を用いて調査

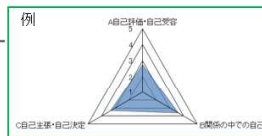
◇1月 教育相談職員研修会「いろいろな考え方を知ろう」

講師：スクールカウンセラー 國見 由紀 氏

#### 「自尊感情に関するアンケート」について

- 計22問
- 5段階の自己評価「あてはまる」5点～「あてはまらない」1点
- 結果
  - ・三角形のグラフで表示
  - ・養護教諭・スクールカウンセラーと分析

※アンケートと合わせて  
日頃の生徒の観察が大切



#### アンケート内容

設問	
A 自己評価 ・自己受容	私は今の自分に満足している。
	私は自分のことが好きである。
	自分はダメな人間だと思うことがある。 ※反転項目
	私は自分という存在を大切に思える。
	私は今の自分は嫌いだ。 ※反転項目
	自分には良いところがある。
	自分は誰の役にも立っていないと思う。 ※反転項目
私は人と同じくらい価値のある人間である。	

#### アンケート結果（R1.7月とR2.7月比較）

項目	R1(1・2・3年)7月平均	R2(2・3・4年)7月平均
A 自己評価・自己受容	43.03	48.28
B 関係の中での自己	58.97	57.96
C 自己主張・自己決定	53.68	53.87

#### 4 成果

生徒の自尊感情を育てるために研修会で、いろいろな考えを持っている生徒がいるが、その生徒とどのように関わって、自尊感情を育ててやることのできるかということについて知識が広がった。また自尊感情アンケートをR1に新規に導入し、R1.7月（1・2・3年生）とR2.7月（2・3・4年生）の同集団を追跡調査し、時間経過とともにどのようにするかという点で生徒理解に繋がった。

### **【3】令和2年度までの成果**

## **成果**

### ○就労・ソーシャルスキル向上・学力向上等の指導方法の確立

#### 1 就労指導

- ・ 昨年は、就業体験に関する内容、職場でのスキルに関する内容、就職活動に関する内容等の取組を実施した結果、就業意識が高まり、昼間の仕事（アルバイト等を含む）を経験した生徒の割合が85%（一昨年80%）となった。（本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け63%）（徳島中央高校定時制課程夜間部）
- ・ 「職業」で実施している実習体験活動が、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、参加率が20%（前年度100%）となったが、企業研究や進学先研究をすることで、就職や進学に対する具体的な準備をすることができ、進路の実現に向けて前進することができた。（徳島中央高校定時制課程夜間部）
- ・ 各種資格・検定試験参考図書を用いた補習により、資格の取得に成果があり、就労意欲を高めることに繋がった。（徳島科学技術高校）
- ・ 「職業的発達にかかわる諸能力」に関するルーブリック評価を実施することにより、生徒は諸能力の伸長を認識していることが分かった。また、生徒に自由記述アンケートを実施することにより、評価内で問われている「自己理解」、「自己の成長」、「自己の進路や生き方」といった抽象的な概念を具体化させ、省察することができたと捉えている。（富岡東高校）
- ・ 地元会社の社長の進路講演会により、進路決定や勤労意欲向上に役立った（役に立ったと回答した生徒の割合94%）。ルーブリック評価から、生徒自身もそのことを実感していることが分かる。（鳴門高校）
- ・ 「インターンシップモデル授業」として、様々な職種の仕事を体験し、プロの技術を間近で見ることによって、各仕事を具体的にイメージさせることができた。（名西高校）
- ・ 昨年は職場体験、職場見学、ビジネスマナー講座等を実施し、生徒の肯定的評価が90%を超え、働くことに対する意欲向上に繋がった。今年度については、職業体験や職場見学は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、ビジネスマナー教室では社会人としてのマナーや心得について意識させることができた（生徒の肯定的評価は100%）。（池田高校）

#### 2 ソーシャルスキル向上指導

- ・ 「とくしま中央一座」における活動、「読み聞かせ絵本探究授業」、「創作絵本授業」の各取組において、「自己肯定感（自尊感情）測定尺度」等を活用し、生徒の自己肯定感の変容を可視化し、結果を活動や授業の改善に繋げることで、効果が上がり、自己肯定・有用感の向上がみられた。（徳島中央高校定時制課程昼間部）
- ・ 「絵本の読み聞かせ授業」では、ルーブリック評価を取り入れ、読み聞かせの前



後や経年の比較から生徒理解が深まった。また、授業により、生徒の気持ちが安定し、落ち着いた学校生活に取り組むための土台を築けた。(徳島中央高校定時制課程夜間部)

- ・「自己肯定感(自尊感情)測定尺度」を毎学期実施し、個々の生徒の傾向を分析し、指導方法を教職員間で確認することができた。(富岡東高校)
- ・講師派遣制度を活用し、ソーシャルスキル向上につながる教育活動に取り組み、振り返りシートで、自己評価を行い、指導の効果を確認することができた。また、行事の自己評価を経年比較することにより、学校行事への効果的な配置を考えることができた。(名西高校)
- ・ホームルーム活動等での協働的な活動を通して、様々な意見をまとめたり共感したりする中でコミュニケーション能力等の育成を図ることができた。また、「道徳的行動アンケート」で結果を数値化し、経年比較したことで、効果が可視化でき、活動の改善点を考えることができた。(池田高校)

### 3 学力向上指導

- ・大学院生や支援相談員による学習支援で、学び直しをスムーズかつ効果的に行うことができた。ルーブリック評価では各評価項目の平均値が年度当初より年度末が向上しており、一昨年の年度当初から年度末までの平均値の伸長率と比較しても大幅な向上がみられる。また、授業評価では、「授業内容に満足している」、「授業内容が理解できた」という問いに対して肯定的な回答の割合が80%を超えている。(徳島中央高校定時制課程夜間部)
- ・各種資格検定に合格し、勤労意欲向上に役立った。ルーブリック評価を実施し、その成果を検証することができた。(鳴門高校、富岡東高校、名西高校)

## ○特別な支援を必要とする生徒への指導方法の確立

### 1 支援相談員の活用

特に発達障害等何らかの支援を必要とする生徒に対し、支援相談員の指導・助言を受け、教職員とともに教科学習、総合的な学習/探究の時間、特別活動、放課後支援等を総合的に組み合わせた指導を行った。これまでと同様に支援が就職に繋がった例、資格取得への意欲向上に繋がった例等が認められた。特別な支援を必要とする生徒に対し、HR担任、教科担任、管理職、スクールカウンセラーを交えたケース会議を開き、各授業での様子を確認するとともに、今後の支援について共通理解を図ることにより、一貫した指導を行うことができた。

### 2 特別な支援を必要とする生徒に対する指導

- ・特に発達障害等何らかの支援を必要とする生徒に対し、HR担任、教科担任によるケース会議を開催した。事案に応じて県立特別支援学校の巡回相談員に相談し、生徒の実態に即した支援方法の検討をした。昨年度に引き続き、大阪樟蔭大学の先生や巡回相談員の適切なアドバイスにより、生徒の認知の歪みや考え方のくせに気付くことができた。これらの取組により、生徒の行動が積極的な方向に変容

するなど望ましい行動が増えた。(徳島中央高校定時制課程昼間部)

- ・体験活動に前向きに取り組むことができ、自らの考えを発表・質問することで、精神的な成長がみられた。(名西高校)
- ・自尊感情アンケートにより、集団を追跡調査することで、時間経過とともに、生徒とどのように関わっていくべきかという点で生徒理解が深まり、PDCAサイクルの特にC(チェック)をより充実させることができた。(池田高校)

## ○支援・相談体制の充実

教頭による連絡会と委員による検討会議で役割を分担し、情報共有と事例検討、事業執行に係る指導評価を行った。連絡会は教頭会を活用することで5回開催し、緊密な情報交換を図ることができた。検討会議では、委員から具体的な指導助言をいただき、計画検討・見直し及び実施評価を行うことができた。

## ○本県独自調査「生徒の意識等に関わる調査」の3年間の推移

※対象：県内定時制課程在籍者

調査項目	目標値	H30	R1	R2
自分にはよいところがある	65%	55%	65%	65%
将来の夢や目標を持っている	65%	60%	65%	66%

## 今後の取組に向けて

各学校での指導は、アンケート結果やルーブリック評価などにより、成果が可視化できしており、評価方法がより充実し、「どういう指導をするとどうよくなるのか」なども検証することができた。今後は、指導方法を他の学校においても実施し、学校の実態に合わせて深化・充実を図りたい。また、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、やむを得ず中止した取組が多かったが、ICTの活用し、方法を変更して実施できたものもあった。GIGAスクール構想により一人一台端末が整備される来年度以降については、対面とオンラインをハイブリッドした取組を実施し、ニューノーマル時代に対応できる指導方法として、各学校で研究を進めたい。